

## 添付資料リスト

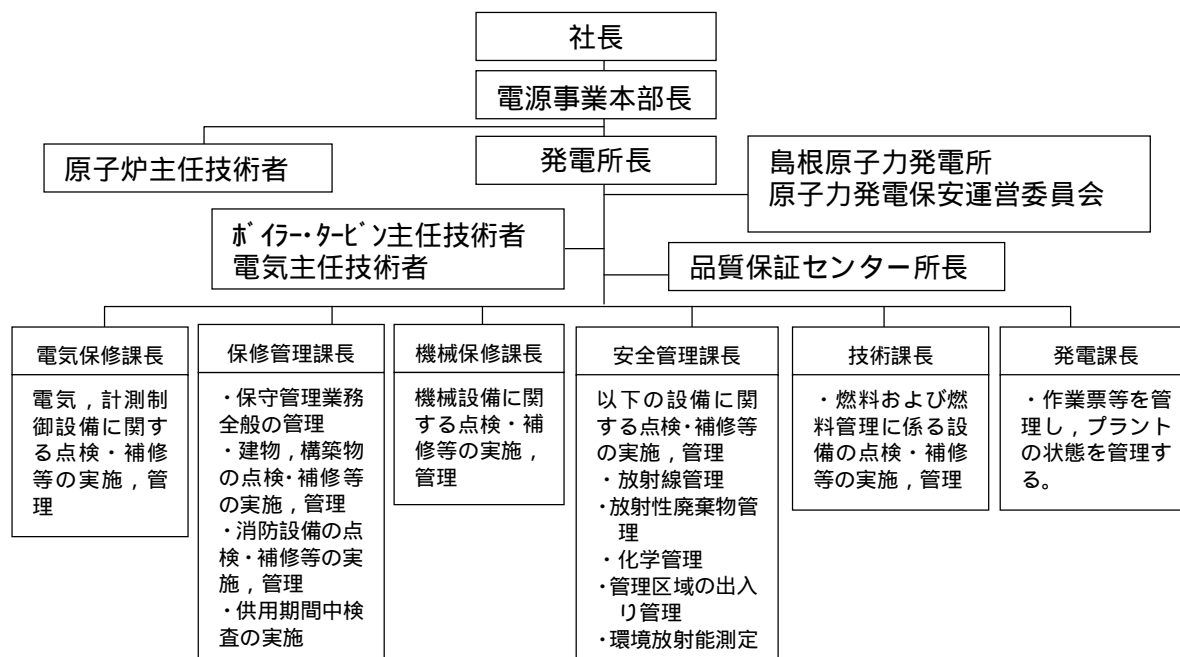
- 添付 - 1 保守管理の体制及び役割分担
- 添付 - 2 保守管理の実施フロー
- 添付 - 3 保守管理の各段階における実施事項及び責任者
- 添付 - 4 MV24 - 2 電動機に係る事象関連図
- 添付 - 5 MV24 - 2 電動機に係る要因分析シート
- 添付 - 6 123 機器の安全機能への影響度確認結果
- 添付 - 7 122 事案の事象関連図
- 添付 - 8 122 事案の要因分析シート
- 添付 - 9 点検時期超過及び定期事業者検査時期超過に係る事象関連図
- 添付 - 10 点検時期超過及び定期事業者検査時期超過に係る要因分析シート
- 添付 - 11 保守管理の不備に係る詳細時系列
- 添付 - 12 保守管理の不備に係る問題点と分析対象行為の整理表
- 添付 - 13 根本原因分析を踏まえた直接原因/再発防止対策整理表
- 添付 - 14 根本原因分析結果
- 添付 - 15 根本原因分析の過程で抽出された直接原因に係る対策のアクションプラン
- 添付 - 16 保守管理の実施状況の総点検で確認された事案の直接原因に係る対策のアクションプラン
- 添付 - 17 根本原因に係る対策のアクションプラン
- 添付 - 18 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果
- 添付 - 19 定期事業者検査と「点検計画表」との整合性確認結果
- 添付 - 20 保守管理の実施状況に係る点検結果
- 添付 - 21 点検保守管理関係要領類の点検（人的エラー要因抽出）結果
- 添付 - 22 511 機器の点検評価状況

## 保守管理の体制及び役割分担

(「島根原子力発電所 保守管理要領」抜粋)

### (2) 体制

保守管理の実施における体制及び業務分担は以下に示す。



原子炉主任技術者及びその他の主任技術者の役割分担については「原子炉主任技術者の選任・解任および職務等に関する基本要領」，「電気主任技術者，ボイラー・タービン主任技術者の職務等に関する運用要領」に定める。

### 保守管理の実施フロー

(「島根原子力発電所 保守管理要領」抜粋)

#### 5. 保守管理

##### (1) 保守管理 (MC - 4)

保守管理の実施フロー(図2)に示すとおり、保守管理の実施方針および保守管理目標に基づき保全を計画、実施し、その結果の確認・評価結果から不適合管理、是正処置および予防処置を行う他、保全活動管理指標の監視結果と合わせて保全の有効性評価、更には保守管理の有効性評価を行い、継続的な改善を図る。

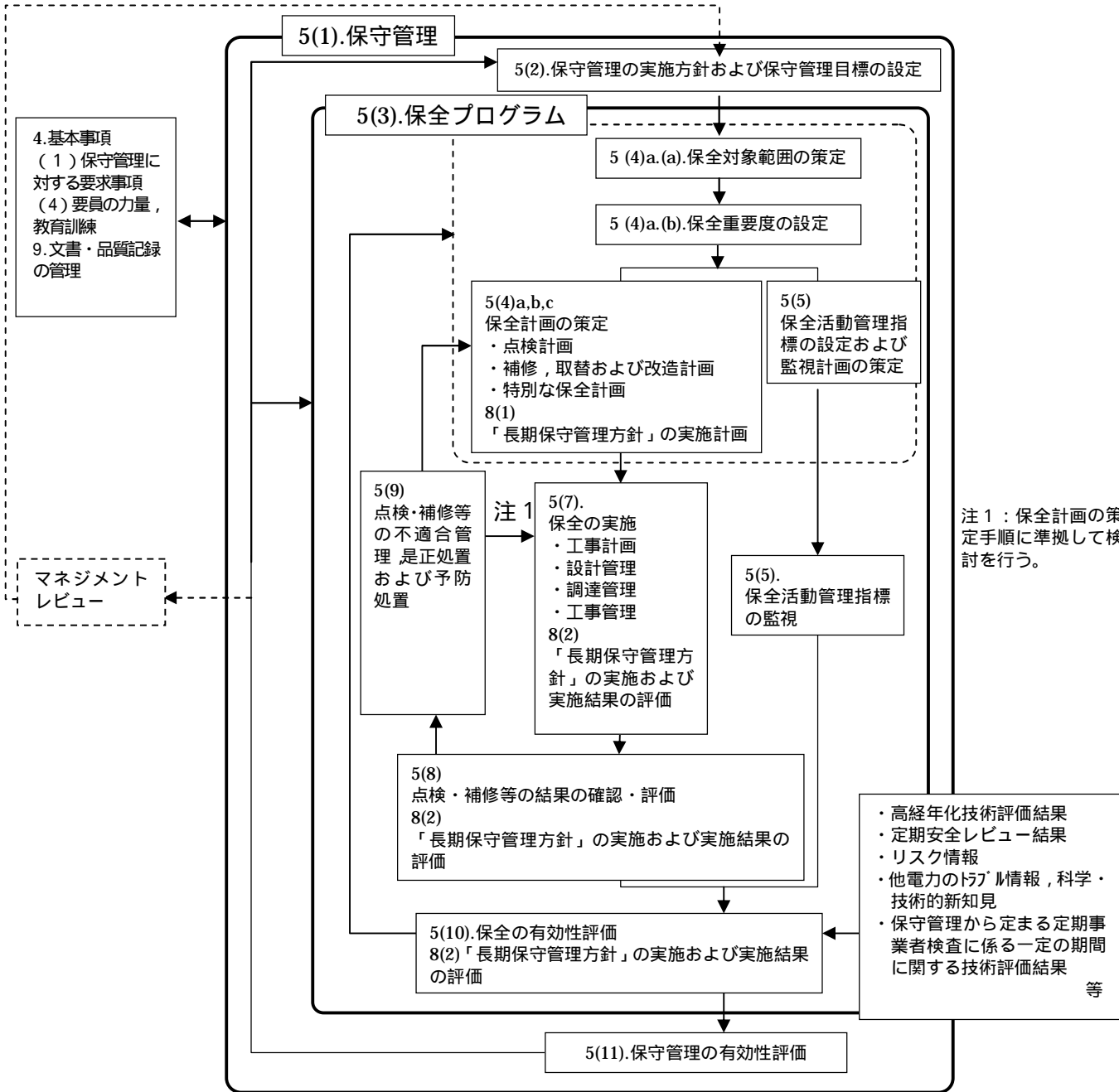


図2. 保守管理の実施フロー

保守管理の各段階における実施事項及び責任者

No	項目	実施事項			責任者		
		作成	確認	承認(決定)	通知	周知・報告	
	保守管理の実施方針の決定	同左		社長		社長 保安の組織	
	保守管理目標の設定	保守管理の実施方針に基づき、保安活動に係る品質目標として「保守管理目標」を定める。				発電所長 保安の組織	
-	保守プログラムの策定	保守管理目標を達成するため、以下の保全プログラムを策定する。				発電所長 保安の組織	
	保全対象範囲の策定	保全を行うべき対象範囲の構築物、系統および設備を選定し「保全対象範囲(Sheet1)」を作成。		発電所長		発電所長 保安の組織 設備管理課長 備主管課	
	保全重要度の設定	「保全対象範囲(Sheet1)」について系統ごとの範囲と機能を明確にした上で、安全機能に与える影響度を考慮し、「系統機能および系統の保全重要度決定表(Sheet2)」及び「機器影響度決定表(Sheet3)」により、系統・機器の保全重要度「高・低」を設定。		発電所長			
	保全活動管理指標の設定及び監視計画	上記を踏まえ、保全重要度をさらにA, B, C, Dに分類・設定し、「保全内容決定表(Sheet4)」を作成。 保全の有効性を客観的に監視・評価することにより、継続的に保全を改善していく手段として活用するため、保全重要度を踏まえて、プラント毎にプラントレベル、システムレベルの保全活動管理指標及びその目標値を設定。 プラント毎に監視サイクル毎の保全活動管理指標の監視項目、監視方法及び算出周期を具体的に定めた監視計画を策定。		発電所長		発電所長 備主管課長 設備管理課長 備主管課長	
	保全計画の策定			発電所長		発電所長 備主管課長 設備管理課長 備主管課長	
	「点検計画」の策定	「保全内容決定表(Sheet4)」をもとに、保全の重要度、保全方式、保全内容、実施頻度、実施時期を定めた「点検計画」を策定。	設備主管課長	発電所長	各課長 理課長	設備管理課長 電所員	
	補修、取替及び改造計画の策定	「保全内容決定表(Sheet4)」をもとに「点検計画」の具体的な点検内容、実施計画及び定期事業者検査の対象範囲を定めた「点検計画表」を策定。 保全の有効性評価を踏まえて、実施内容、実施時期を含めた補修、取替及び改造計画を策定。 補修、取替及び改造計画を参考に「中計工事計画表」を作成。	設備主管課長	設備主管課長	各課長 理課長	設備管理課長 電所員	
	特別な保全計画の策定	地震や事故等により長期停止(概ね1年以上)となった場合等、設備の機能を継続的に維持するため及び長期保管のための点検の具体的方法、実施時期を定める「保全計画(長期停止時)」を作成。	設備主管課長	設備主管課長		設備管理課長 備主管課長	
	保全計画書の作成	定期検査開始日の1箇月前までに、プラント毎、保全サイクル毎に保安規程の別紙「保全計画」を作成。	設備主管課長	発電所長	発電所長	設備管理課長 備主管課長	
	長期保守管理方針の実施計画の策定	長期保守管理方針に基づき実施計画を策定(保全の有効性評価に基づき、見直しを実施)	設備管理課長	発電所長	発電所長	電源事業本部(原子力)へ提出 設備管理課長 実施主管箇所	

No	項目	実施事項	責任者			
			作成	確認	承認(決定)	周知・報告
	保全の実施	<p>具体的な方策、指標及び業務の実施計画を定めた「年度業務実施計画書」を作成。 必要なプロセスにより、点検・補修等を実施、記録。工程管理においては、点検・補修等を実施する前までに保全計画に従い、作業要領書を作成。 「長期保守管理方針の実施計画」に基づき各保全策を実施。 監視計画に従い、保全活動管理指標に関する情報の採取、監視を実施し、結果を記録。</p>	各課長 各課長	発電所長		
	保全活動管理指標の監視	実施した点検・補修等の結果について、所定の機能を発揮している状態にあることを確認・評価し、その結果を記録(ただし、漏えい試験等最終的な試験結果では十分確認できない場合は、チェックシート、記録等により、定められたプロセスに基づき点検・補修等が行われていることを確認・評価し、記録)。	各実施主管箇所 各課長が実施、保守管理課長が取りまとめ	発電所長		保守管理課長 課長
	点検・補修等の結果の確認・評価	点検・補修等の終了後から保全の有効性評価実施までに実績を「点検計画表」に入力し、「点検計画」に基づき漏れなく保全が実施されていることを確認するとともに、過去の点検履歴が確認できるようにするため、実績を管理。	各課長	品質保証センター所長 及び副所長または関係課長他(1)	発電所長 または各課長(1)	
	点検・補修等の不適合管理及び是正処置	点検・補修等を実施した機器等が所定の機能を発揮していることを確認・評価できない場合には、不適合管理を行った上で、点検等の方法、実施頻度及び時期については是正処置及び予防処置を行い、記録。	保守管理課長			
	保全の有効性評価	保全サイクル中の保全活動により得られた情報をもとに保全活動の有効性評価を行い、評価結果とその根拠及び必要な改善内容を記録し、報告。	保守管理課長の依頼により設備主管課長が報告、保守管理課長が取りまとめ	品質保証センター所長 及び副所長または関係課長他(1)	発電所長 または各課長(1)	保守管理課長 備主管課
	保守管理の有効性評価	各保全策の妥当性を評価し、必要により「長期保守管理方針」及び「長期保守管理方針の実施計画」を見直し。	保守管理課長の依頼により各実施主管箇所が検討、保守管理課長が取りまとめ	品質保証センター所長 及び副所長または関係課長他(1)	発電所長	電源事業本部(原子力)
	マネジメントレビュー	組織の品質マネジメントシステムが、引き続き、適切、妥当かつ有効であることを確実にするために、社内規定に基づき、あらかじめ定められた間隔で品質マネジメントシステムをレビュー(システム改善の機会の評価、品質方針・品質目標を含むシステム変更の必要性の評価)。	保守管理課長の依頼により各課長が報告、保守管理課長が取りまとめ 電源事業本部長	品質保証センター所長 及び副所長または関係課長他(1)	発電所長	保守管理課長 課長 各部所長

MV24 - 2 電動機に係る事象関連図

[件名: 1号機高圧注水水系蒸気外側隔離弁 (MV24-2) 電動機の第26回定期検査時点検内容の不備について。]  
 [分析対象事象: 1号機第28回定期検査後の不適管理検討会において、MV24-2電動機が前回点検周期(第26回定期検査)で取り替えられていないことが判明した。]

年月	設備	作業項目		保修理課	電気必修課		工事施工管理 (A社)	工事請負 (B社)	D社の代理店 (C社)	電動弁メーカー (D社)	問題点
		主要作業項目	担当者		管理者	担当者					
H18/3 以前	1号機 MV24-2 電動機	1号機 第26回 定期検査 定検準備					取替予定のMV24-2電動機は拉鉤線量の高い直入制御区画にあるため、現物のシリアル番号を確認せず。			取替予定のMV24-2電動機の現物のシリアル番号についてA社に確認を依頼。	
H18/4		定検資料発注			MV24-2電動機をD社に発注。		当社が定期検査工事の管理資料として用いていた「7カブエ-7点検周期表」に基づき、MV24-2電動機の購入仕様書(案)を作成し、当社に提出。				1. 電気必修課は、MV24-2電動機について適切な部品仕様管理ができていなかった。
H18/8		定検資料受入			MV24-2電動機を検収処理。		MV24-2電動機を受入れ検査。			経由	
H18/9	1号機 第26回 定検 (H18/9 ~ H19/4)	リミットルック点検 (電動機取替) 作業			右記の経緯について、当社とA社の間で意思疎通が不十分であった。		第26回定期検査では、MV24-2電動機を取替えず、次回定期検査で取替えることとした。	取替作業を開始したところ、MV24-2電動機の当社社給物品(#60)と現物(#80)のサイズに相違があったため、A社に連絡。			2. ENTは、当社の不適管理の手順に沿って処理しなかった。
H18/10					工事報告書の特記事項欄に電動機の未取替が記載されなかった。		A社は次回定期検査である第27回定期検査での取替予定と認識し、D社が早急に作り替えるものとして理解。			D社は次回リミットルック点検となる第31回定期検査までの取替予定と認識。	
H18/12		作業終了			MV24-2電動機の取替は計画どおり実施されたものと考え、(点検計画表)の変更手続きは行われなかった。		既設のMV24-2電動機の機能を確認(動作良好)。				3. 電気必修課は、工事報告書でMV24-2電動機が取替未実施である旨確認できなかった。
H19/1					点検計画表で、MV24-2電動機を、第26回定期検査で分解点検済と登録。		確認	工事報告書 (MV24-2電動機) について「取替」とは記載していないをA社経由で当社に提出。			
					点検計画表では分解点検が要求事項となっていたが、分解点検を行わず取替により対応していた。		A社解散。				



## MV24 - 2 電動機に係る要因分析シート

【件名：「1号機高圧注水系蒸気外側隔離弁（MV24-2）電動機の第26回定期検査時点検内容の不備について。」】

（1）問題点の絞り込み（「事象関連図」参照）

	分析対象事象に関する問題点
【分析対象事象】	1号機第28回定期検査後の不適合管理検討会において、MV24-2電動機が前回点検周期（第26回定期検査）で取り替えられていないことが判明した。
1	電気保修課は、MV24-2電動機について適切な部品仕様管理ができていなかった。
2	ENTは、当社の不適合管理の手順に沿って処理しなかった。
3	電気保修課は、工事報告書でMV24-2電動機が取替え未実施である旨確認できなかった。
4	電気保修課は、MV24-2電動機を第26回定期検査で取り替えていないことが判明した時点で、直ちに不適合管理を行わなかった。
5	電気保修課は、特別採用の手続きを実施せず、不適合管理を実施する時期が遅れた。



(2) 要因分析 対策(案)

[分析対象事象] 1号機第28回定期検査後の不適合管理検討会において、MV24-2電動機が前回点検周期(第26回定期検査)で取り替えられていないことが判明した。

	分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
1	電気係修課は、MV24-2電動機について適切な部品仕様管理ができていなかった。	電気係修課は、「電動弁点検周期表」の部品仕様を最新版に管理する仕組み及び修正する手続き(版管理・配付管理も含む)を明確にしていなかった。また、点検周期表のQMSでの位置付け、管理責任と権限が明確でなかった	点検工事において調運時に必要な機器仕様に関する電動弁点検周期表がQMS文書として管理されていないかった。	【 <b>文書管理プロセスの改善</b> 】 「電動弁点検周期表」の周期表部分を削除し、機器仕様リストをQMS文書として位置付け、管理責任者を明確にし、更新管理を行い、誤りのない文書とする。  (完了期限：平成22年6月末 担当課：電気係修課 フォローアップ：品質保証センター)
2	ENTは、当社の不適合管理の手順に沿って処理しなかった。	工書管理を委託されていたENTは、当社の不適合管理手順を理解していなかった。	ENTの担当者(当社保修部門出身者)に対する不適合の判定に関する教育が不足していた。	【 <b>教育の充実</b> 】 保修部門において、事例に基づく不適合の判定に関する教育を行う。  (完了期限：平成22年5月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)
3	電気係修課は、工事報告書でMV24-2電動機が取替え未実施である旨確認できなかった。	協力会社は、工事報告書に、取替え未実施を明確に記載していなかった	当社の要求(工事仕様書)に対する実施結果を工事報告書で明確にするよう協力会社に求めていなかった。	【 <b>調達製品の検証プロセスの改善</b> 】 「工事業務管理手順書」に以下の事項を規定する。 (1)工事仕様書で要求した内容とその実施結果が工事報告書で併記等により対比した形で確認できるよう工事仕様書で要求することともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (2)工事仕様書の要求事項に対して変更が生じた場合には、その変更点を工事報告書に明記することを工事仕様書で要求するとともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (特記事項及び懸案事項の欄への記載項目の明確化)  (完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)
4	電気係修課は、MV24-2電動機を第26回定期検査で取り替えていないことが判明した時点で、直ちに不適合管理を行わなかった。	電気係修課は、MV24-2電動機取替えは予防保全のために実施するものであり、第26回定期検査でMV24-2電動機を除く電動弁の分解点検を実施し、機能確認により機能に影響しないことを確認していたため、直ちに不適合管理をしなくても良かった。	保修部門に対する不適合の判定に関する教育が不足していた。	【 <b>教育の充実</b> 】 保修部門において、事例に基づく不適合の判定に関する教育を行う。  (完了期限：平成22年5月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)
5	電気係修課は、特別採用の手続きを実施せず、不適合管理を実施する時期が遅れた。	電気係修課は、第28回定期検査で当該弁の実施可能な作業(機能確認)は実施しており、これ以上の対応は不要だと判断し、不適合管理は定期検査後で良いと考えたため特別採用の手続きも遅れた。	保修部門に対する不適合の判定に関する教育が不足していた。	【 <b>教育の充実</b> 】 保修部門において、事例に基づく不適合の判定に関する教育を行う。  (完了期限：平成22年5月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)

これらの対策については、教育も合わせて実施する。

123機器の安全機能への影響度確認結果(島根1号機)

No	分類	系統	重要度分類	照会結果			安全機能への影響							
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画に記録されている全ての点検項目(取りあがった記録)	至近の点検/取替実績	定期事業者検査対象	運転時及び安全機能要求時の状態	内容	原子炉安全への影響	
1	ポンプ	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	原子炉浄化補助ポンプ(P13-2)	メカニカルシール冷却器	清掃、目視検査、目視検査、空圧試験	52M	25回定検	22回定検(冷却器交換)	-	-	運転時"使用せず"(冷却水は過水状態)	原子炉浄化補助ポンプは、原子炉の起動、停止過程における原子炉圧力(0.5MPa以下)の降下を抑制するポンプであり、全期間ポンプは稼働しているため、安全機能に影響はない。	無
2	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス3	RV13-3(逆止弁)	CUW循環ポンプ入口逆止弁	分解点検	130M	23回定検	13回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
3	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス3	RV13-5(逆止弁)	CV13-2出口逆止弁(CV13-2:CUWフィルタ流量調節弁)	分解点検	130M	26回定検	16回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
4	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	RV14-8(A)(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	26回定検	16回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
5	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	RV14-8(C)(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	26回定検	16回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
6	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	RV14-8(B)(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	27回定検	17回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
7	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	RV14-8(D)(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	27回定検	17回定検	-	-	常時"閉"	逆止弁が閉鎖し、逆止弁が閉鎖しているため、また、逆止弁は故障保護の観点から取り除かれているため、原子炉の安全機能に影響はない。	無
8	弁	原子炉補機冷却系(RSW)	クラス1	RV15-32(A)(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第25回定検(取替)	-	-	常時"閉"	非常用DEG冷却油冷却器冷却水出口弁で、常時閉であり、DEG起動時にも動作することはないため、安全機能に影響はない。	無
9	弁	原子炉補機冷却系(RSW)	クラス1	RV15-32(B)(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第23回定検	-	-	常時"閉"	非常用DEG冷却油冷却器冷却水出口弁で、常時閉であり、DEG起動時にも動作することはないため、安全機能に影響はない。	無
10	弁	原子炉補機冷却系(RSW)	ノンクラス	RV15-88(A)(手動弁)	冷却水熱交換器入口配管ブロー弁(RCW熱交換器入口のトレン弁)	分解点検	65M	24回定検	第22回定検(取替)	-	-	常時"閉"	RCW熱交換器入口配管ブロー弁で、常時閉であり、RCWポンプ起動時にも動作することはないため、安全機能に影響はない。	無
11	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(I)(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ入口圧力計元弁(ROICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
12	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(II)(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ入口圧力計元弁(ROICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
13	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(III)(手動弁)	潤滑油冷却器出口圧力計元弁(ROICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
14	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(IV)(手動弁)	配管エアイベント弁(ROIC油系のエアイベント弁)	分解点検	130M	17回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
15	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(A)(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ差圧スイッチ元弁	分解点検	130M	25回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
16	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	ノンクラス	RV21-50(B)(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ差圧スイッチ元弁	分解点検	130M	25回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
17	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	クラス3	RV21-50(I)(安全弁)	主油ポンプ出口安全弁(ROICタービン油系の安全弁)	分解点検	130M	16回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
18	弁	原子炉隔離時冷却系(ROIC)	クラス3	RV21-50(II)(安全弁)	潤滑油冷却器出口安全弁(ROICタービン油系の安全弁)	分解点検	130M	16回定検	-	-	-	常時"閉"	ROIC系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。ROIC系の潤滑油ラインの計器元弁で、常時閉であり、ROICポンプ起動時にも動作することはない。機能喪失する可能性がある。なお、機能喪失した場合には潤滑油圧力の低下が生じ、潤滑油圧力の低下によるROIC系の運転に支障はない。安全機能に影響はない。	無
19	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-105(A)(手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
20	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-105(B)(手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
21	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-112(A)(手動弁)	メカシールラジエーター元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
22	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-112(B)(手動弁)	メカシールラジエーター元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
23	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-113(A)(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
24	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	RV23-113(B)(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検(漏えい確認)	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
25	弁	炉心スプレイ系(RCS)	ノンクラス	RV23-114(B)(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検	-	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
26	弁	炉心スプレイ系(RCS)	ノンクラス	RV23-115(A)(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検	-	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
27	弁	炉心スプレイ系(RCS)	ノンクラス	RV23-115(B)(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検	-	-	-	常時"閉"	RCS系は毎月定期試験で起動しており機能を確認している。RCS系の潤滑水ラインの計器元弁で、常時閉であり、RCSポンプ起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無

123機器の安全機能への影響度確認結果(島根1号機)

No	分類	系統	重要度分類	照会結果			安全機能への影響					
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画(履歴)に記録されている点検履歴(取りあつた記録)	至近の点検/取替実績	定明事業者検査対象	通常時及び安全機能要求時の状態	内容
28	弁	高圧注水系(HPC)	クラス1	V24-138(手動弁)	潤滑油弁	分解点検	130M	22回定検	-	常時"開"	HPCI系は毎月定期試験で起動しており機能を確保している。HPCI系の潤滑油ラインの弁弁で、常時閉であり、HPCIが起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
29	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	AV26-1A(空気作動弁)	SGT連絡弁(R/B連絡弁)	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	12年度(22回定検)	通常時"閉" 機能要求時"開"	(健全性) 当該空気作動弁に想定される経年劣化事象としては、弁駆動部のスプリングのへたりがあるが、スプリングは使用時のねじり応力が許容ねじり応力以下になるように設定されている。さらに、実際の使用温度はスプリングの材料に対する使用限界温度より十分に低いため、へたりが進行する可能性は小さく、同系統の空気作動弁の交換点検時の目視確認でも、スプリングのへたりは認められていない。 [健全性] 非常用ガス処理系起動信号で当該空気作動弁の機能要求があり、当該連絡弁が開かない場合、1B連絡弁が開けばSGT系は同系統起動できる。	小
30	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	AV26-2A(空気作動弁)	SGT処理装置(ファン)入口弁	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	12年度(22回定検)	常時"閉"	SGT系の入口弁は、通常全開で待機しており、制御空気が発生しても全開状態が維持されるため、SGT系の運転は可能であり、安全機能に影響はない。なお、定期試験(1回/月)で閉鎖機能の確認を行っている。	無
31	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	AV26-3A(空気作動弁)	SGT処理装置(ファン)出口弁	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	12年度(22回定検)	通常時"閉" 機能要求時"開"	(健全性) 当該空気作動弁に想定される経年劣化事象としては、弁駆動部のスプリングのへたりがあるが、スプリングは使用時のねじり応力が許容ねじり応力以下になるように設定されている。さらに、実際の使用温度はスプリングの材料に対する使用限界温度より十分に低いため、へたりが進行する可能性は小さく、同系統の空気作動弁の交換点検時の目視確認でも、スプリングのへたりは認められていない。 [健全性] 非常用ガス処理系起動信号で当該空気作動弁の機能要求があり、当該出口弁が開かない場合、A系非常用ガス処理系が起動できないが、非常用ガス処理系は多重性を持たせており、A系が起動しない場合、B系を起動する。	小
32	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス3	V26-4B(手動弁)	DOP第1注入弁	分解点検	6Y	18年度(26回定検)	19回定検	常時"閉"	SGT系のDOP注入弁及び採取弁は、定検中の非常用処理フィルタ性能試験時のみ閉で、それ以外は閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
33	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス3	V26-7A(手動弁)	DOP第2注入弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のDOP注入弁及び採取弁は、定検中の非常用処理フィルタ性能試験時のみ閉で、それ以外は閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
34	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス3	V26-8A(手動弁)	DOP第2上流採取弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のDOP注入弁及び採取弁は、定検中の非常用処理フィルタ性能試験時のみ閉で、それ以外は閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
35	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス3	V26-9A(手動弁)	DOP第2下流採取弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のDOP注入弁及び採取弁は、定検中の非常用処理フィルタ性能試験時のみ閉で、それ以外は閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
36	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス3	V26-9B(手動弁)	DOP第2下流採取弁	分解点検	6Y	18年度(28回定検)	19回定検	常時"閉"	SGT系のDOP注入弁及び採取弁は、定検中の非常用処理フィルタ性能試験時のみ閉で、それ以外は閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
37	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-11B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	分解点検	6Y	18年度(28回定検)	19回定検	常時"開"	SGT系のフィルタユニット差圧発信器元弁は、常時開であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
38	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-12B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	分解点検	6Y	18年度(28回定検)	19回定検	常時"開"	SGT系のフィルタユニット差圧発信器元弁は、常時開であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
39	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-13A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のデミスタ差圧計器元弁は、常時閉であり、機能要求時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
40	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-14A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のデミスタ差圧計器元弁は、常時閉であり、機能要求時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
41	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-17B(手動弁)	前置高性能フィルタ差圧計元弁	分解点検	6Y	18年度(26回定検)	19回定検	常時"閉"	SGT系の前置高性能フィルタ差圧計元弁及び活性炭フィルタ差圧計元弁は常時閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
42	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-18A(手動弁)	活性炭フィルタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系の前置高性能フィルタ差圧計元弁及び活性炭フィルタ差圧計元弁は常時閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
43	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	V26-23A(手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	-	常時"開"	SGT系の出口ガス流量計元弁は、常時開であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
44	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	V26-23B(手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系の出口ガス流量計元弁は、常時閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
45	弁	非常用ガス処理系(SGT)	ノンクラス	V26-24(手動弁)	ドレン弁	分解点検	6Y	16年度(25回定検)	-	常時"閉"	SGT系のドレン弁は、常時閉であり、SGT起動時にも動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無



123機器の安全機能への影響度確認結果(島根1号機)

No	分類	系統	重要度分類	照合結果			安全機能への影響								
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画通り に記録された 結果(記録が あったら記載)	至近の 点検/取替実績	定期検査者 検査対象	通電時及び 安全機能要求時 の状態	内容	原子が安全 への影響		
69	電源盤	中性子計装系(NIMS)	クラス2	中性子源領域計測装置(IRM)		ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	-	常時"通電"	SRMは起動領域での出力を監視するものであり、1チャンネルハイパス可能である。また、IRM、APRMは常時通電しており、機能要求時に機能喪失する可能性は十分小さい。RW、APRMの計測装置は、機能喪失した場合、スクラム信号を発生するため、安全機能に影響はない。	無		
70	電源盤	中性子計装系(NIMS)	クラス1	中間領域計測装置	盤(IRM)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	-	常時"通電"				
71	電源盤	中性子計装系(NIMS)	クラス1	出力領域計測装置	盤(APRM, RBM, FLOW)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	-	常時"通電"				
72	計器類	プロセス放射線モニタ系(PRM)	クラス1	電離室型モニタ(主蒸気モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	27回定検	23回定検	-	常時"通電"	当該モニタは、機能喪失した場合、フェールセーフで信号を発生するため、安全機能の影響はない。 主蒸気モニタ、主蒸気隔離弁開、スクラム、原子炉建物流排気系モニタ、原子炉建物流排気系、SGT系起動	無		
73	計器類	プロセス放射線モニタ系(PRM)	クラス1	電離室型モニタ(原子炉建物流排気モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	28回定検	24回定検	-	常時"通電"				
74	その他	燃料プール冷却系(FPC)	クラス2	使用済燃料貯蔵プール(TK16-3)(プールゲート)	プールゲート	バックアップ	3C	28回定検	25回定検(取替)	-	閉鎖			プールゲートは大小1個でかつ各々2重シールド構造をもち、建物のシールドは大ゲートの1段のみで、他はバックアップと大ゲートの2重シールドが1つが機能喪失した場合、中央制御室に警報が発生する。	無

123機器の安全機能への影響度確認結果(高根2号機)

No	分類	系統	重要度分類	照会結果			安全機能への影響						
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画書に記載されている点検頻度(取りかかった記録)	至近の点検/取替実績	定期事業者検査対象	通常時及び安全機能要求時の状態	内容	原子炉安全への影響
1	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	A-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマカレット・ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時" (系/系で交互に切替運転)	(健全性) ダイヤフラムカップリングのリーマカレット・ナットは、ダイヤフラムの取扱説明書ではポンプの分解・締付け10回程度で交換を推奨しているが、当該ポンプのリーマカレット・ナットは現状2~3回の分解・締付け回数であること、および至近で分解・締付けを実施した第13、14回定期検査において外観検査を実施し異常のないことを確認していることから健全性は保たれている。 [健全性] 当該ポンプは、系/系で交互に切替運転をして、いずれかの系統が常時運転していることから、事故等により非常用の冷却水が必要となった時に機能を喪失している可能性は十分小さい。	無
2	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	B-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマカレット・ナット取替	52M	14回定検	15回定検(取替)	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	ダイヤフラムカップリングのリーマカレット・ナットは、ダイヤフラムの取扱説明書ではポンプの分解・締付け10回程度で交換を推奨しているが、当該ポンプのリーマカレット・ナットは現状2~3回の分解・締付け回数であること、および至近で分解・締付けを実施した第13、14回定期検査において外観検査を実施し異常のないことを確認していることから健全性は保たれている。 [健全性] 当該ポンプは、系/系で交互に切替運転をして、いずれかの系統が常時運転していることから、事故等により非常用の冷却水が必要となった時に機能を喪失している可能性は十分小さい。	無
3	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	C-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマカレット・ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	ダイヤフラムカップリングのリーマカレット・ナットは、ダイヤフラムの取扱説明書ではポンプの分解・締付け10回程度で交換を推奨しているが、当該ポンプのリーマカレット・ナットは現状2~3回の分解・締付け回数であること、および至近で分解・締付けを実施した第13、14回定期検査において外観検査を実施し異常のないことを確認していることから健全性は保たれている。 [健全性] 当該ポンプは、系/系で交互に切替運転をして、いずれかの系統が常時運転していることから、事故等により非常用の冷却水が必要となった時に機能を喪失している可能性は十分小さい。	無
4	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	D-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマカレット・ナット取替	52M	14回定検	10回定検(取替)	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	ダイヤフラムカップリングのリーマカレット・ナットは、ダイヤフラムの取扱説明書ではポンプの分解・締付け10回程度で交換を推奨しているが、当該ポンプのリーマカレット・ナットは現状2~3回の分解・締付け回数であること、および至近で分解・締付けを実施した第13、14回定期検査において外観検査を実施し異常のないことを確認していることから健全性は保たれている。 [健全性] 当該ポンプは、系/系で交互に切替運転をして、いずれかの系統が常時運転していることから、事故等により非常用の冷却水が必要となった時に機能を喪失している可能性は十分小さい。	無
5	弁	原子炉浄化系(CUW)	1ランク	V213-1003A (手動弁)	A-CUWフイタ出口ストレーナーナロー弁	分解点検	130M	11回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	プロロー弁は、常時閉であり、CUW系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
6	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス3	AV213-1060B (空動作動弁)	B-デミ蒸餾出口弁	分解点検	130M	12回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	デミ蒸餾出口弁は、常時閉であり、CUW系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
7	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-1061A (手動弁)	A-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	脱塩器出口弁は、常時閉であり、CUW系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
8	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-1061B (手動弁)	B-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	脱塩器出口弁は、常時閉であり、CUW系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
9	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	1ランク	V214-3001A (手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交入口)	分解点検	130M	6回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	FPC熱交換器出入口ベント弁は、常時閉であり、FPC系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
10	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	1ランク	V214-3001B (手動弁)	RCW ベント弁(B-FPC熱交入口)	分解点検	130M	6回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	FPC熱交換器出入口ベント弁は、常時閉であり、FPC系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
11	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	1ランク	V214-3002A (手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交出口)	分解点検	130M	6回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	FPC熱交換器出入口ベント弁は、常時閉であり、FPC系運転時に動作することはない。したがって機能喪失する可能性はなく、安全機能に影響はない。	無
12	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738A (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
13	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738B (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
14	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738C (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
15	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738D (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
16	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738E (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
17	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738F (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
18	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738G (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
19	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738H (空動作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	真空破壊弁は、第14回定検で弁座のシリコンゴムパッキンを取替える。また、毎定検時に、目視検査、閉バルブの確認、開閉動作の確認等を行い、健全性を確認しているため、真空破壊弁機能を維持するため、保全活動は実施しており、自主的に定めた点検後、一部実施していない150の、安全機能に影響はない。	無
20	弁	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	CV221-82(調整弁)	油圧調整弁	分解点検	78M	7回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	RC系は月1回のポンプ起動試験により異常なく運転していることを確認している。 油圧調整弁は油戻りラインに設置されており、これが不調の場合にも潤滑油の供給は継続されるため、安全機能に影響はない。	無
21	弁	残留熱除去系(RHR)	クラス3	RV222-1B(逃し弁)	B-RHR注水配管逃し弁	分解点検	130M	8回定検	-	-	通常時"常時" 安全機能要求時"常時"	逃し弁は設備保護の観点から設置されているものであり、安全機能に影響はない。なお、RHR系は月1回のポンプ起動試験により異常なく運転していることを確認している。	無

123機器の安全機能への影響度確認結果(高根2号機)

No	分類	系統	重要度分類	照合結果			安全機能への影響						
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度 または定回(記録) (取りがなかった記録)	至近の 点検/取替実績	定期事業者 検査対象	通常時及び 安全機能要求時 の状態	内容	原子炉安全 への影響	
22	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-705(安全弁)	原子炉排気外側隔離弁(AV261-1)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
23	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-713(安全弁)	原子炉排気外側隔離弁(AV261-2)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
24	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-737(安全弁)	原子炉排気外側隔離弁(AV261-5)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
25	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-745(安全弁)	原子炉排気外側隔離弁(AV261-6)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
26	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-721(安全弁)	燃料取替排気内側隔離弁(AV261-3)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
27	弁	原子炉炉床空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-729(安全弁)	燃料取替排気外側隔離弁(AV261-4)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	-	-	-	常時"閉"	安全弁は取替保護の観点から設置されているものであり安全機能に影響はない。なお、HVR系隔離弁用アキュムレータは、HVRの給排気隔離弁を全開するための駆動空気源であり、当該安全弁が機能喪失すればフェールセーフ機能で隔離弁が全閉となり、安全側にR/B主給排気系は停止し、R/Bは隔離される。	無
28	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス2	V280-98A(手動弁)	A-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	3回定検	-	-	通常時"閉" DEG使用時"開"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
29	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス2	V280-98H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	3回定検	-	-	通常時"閉" DEG使用時"開"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
30	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス2	V280-150B(手動弁)	B-ディーゼル燃料タンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
31	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス2	V280-150H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料タンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
32	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス1	V280-151B(手動弁)	B-ディーゼル燃料タンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
33	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス1	V280-151H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料タンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
34	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-541A(手動弁)	A-ディーゼル燃料タンクドレン弁	分解点検	130M	4回定検	3回定検	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
35	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-541B(手動弁)	B-ディーゼル燃料タンクドレン弁	分解点検	130M	3回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
36	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-546B(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	分解点検	130M	3回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
37	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-546H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	分解点検	130M	11回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
38	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-547H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
39	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-558(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	3回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
40	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-560(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
41	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-562(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
42	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-564(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
43	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-611B(手動弁)	ドレン弁(潤滑油フィルタ出口)	分解点検	130M	15回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
44	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-614B(手動弁)	ドレン弁(シンタダ油フィルタ出口)	分解点検	130M	15回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無
45	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	1ンクラス	V280-615B(手動弁)	ドレン弁(発電機軸受給油配管)	分解点検	130M	15回定検	-	-	常時"閉"	DEG系は毎月定期試験で起動しており、逆止弁が正常に作動していることを確認している。また万一反止弁の機能を喪失しても燃料タンクを有しており、直接安全機能に影響はない。	無

123機器の安全機能への影響度確認結果(島根2号機)

No	分類	系統	重要度分類	照合結果				安全機能への影響		原子炉安全 への影響			
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度 (取りがあたり記録)	(点検計画書)に記載 されている点検項目 (取りがあたり記録)	至近の 点検/取替実績		定期事業者 検査対象	通電時及び 安全機能要求時 の状態	内容
46	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用ロードセンタ 母線(2C-1/C)	母線支持がよい 箱体 外箱	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	-	常時"通電" 常時"通電"	常時通電して使用しており、絶縁性が低下した場合に は、中央制御室に警報が発報する。したがって、事故 等により非常用電源が必要となった時に機能が喪失 している可能性は十分小さい。	無
47	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用コントロールセ ンタ母線 (2A-DG-C/C)	母線支持がよい 箱体 外箱	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	-	常時"通電" 常時"通電"	常時通電して使用しており、絶縁性が低下した場合に は、中央制御室に警報が発報する。したがって、事故 等により非常用電源が必要となった時に機能が喪失 している可能性は十分小さい。	無
48	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用コントロールセ ンタユニット一面 (2A-DG-C/C)	盤他	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	-	常時"通電"	常時通電して使用しており、絶縁性が低下した場合に は、中央制御室に警報が発報する。したがって、事故 等により非常用電源が必要となった時に機能が喪失 している可能性は十分小さい。	無
49	その他	原子炉隔離時冷却系 (ROIC)	クラス1	入口塞ドレンボット (T221-2)	ドレンボット	目視検査	78M	14回定検	-	-	通電時"待機" 非常時"使用"	【健全性】 ドレンボットは炭素鋼であるが、内部流体である蒸気 は通常時流れはなく、運転開始後60年の推定腐食量 は小さいため、有意な腐食が発生する可能性は小 さい。代替点検の結果でも有意な腐食は認められてい ない。 【安全性】 原子炉隔離時冷却系は、毎月定期試験を行い機能 確認しており、ドレンボットは動的試験ではないこと から、原子炉隔離時冷却系がノブ起動時に、当該ドレ ンボットが機能を喪失している可能性は十分小さい	無



122 專案の專案関連図

【件名：「島根原子力発電所 1, 2 号」点検計画表』と点検実績との不整合事象」】

- 分析対象事象 1：「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある
- 分析対象事象 2：「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない
- 分析対象事象 3：点検していない機器を「点検計画表」に記載した

日時	設備	作業段階	作業項目	本店・発電所長	保修理課	設備主管課	資材部門	ENT・協力会社	代理店	問題点・聞き取り及び事実等からの標準プロセスとの差異 【分析対象事象】
H16.5		点検計画	点検計画の策定			点検周回リストなどデータ提出	[ENT設立] H15.7 [ENT解散] H19.1			
H17.10/ H18.4		立案	点検計画表の策定			「点検計画」を策定する ↓ 「点検計画」を制定登録する ↓ 「点検計画表」を受領する ↓ 「点検計画表」を制定・登録する	「点検計画表」を作成する ↓ 「点検計画」に基づき「点検計画表」を作成する	「点検計画表」作成の考え方 「設備主管課」が作成していた「点検周回リスト」を基に、それ以前に点検実績のない機器も「点検計画」に記載。 更新なる高品質を目指し、点検の都度データ整備を行っていくこととした。		1.設備主管課は、機器の構造や機能上の理由により点検できない内容を「点検計画表」に記載した。 2.設備主管課は、「点検計画表」策定時に過去の点検実績を十分に踏まえずに設定し、一部を誤って記入した。 【分析対象事象 1】 「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある
H17.10 以降		工事計画書作成 定検工事立案	工事計画書作成 定検工事立案			登録された「点検計画表」を基に工事計画書を作成する ↓ 工事計画書を承認する ↓ 定検の実施を立案する ↓ 定検の実施を作成し、提出する	[工事計画書の記載内容] ・品質保証ランクの決定 ・工事目的 ・工事内容 ・工事内容の妥当性 ・工事期間・時期の妥当性 ・添付資料 (工事内容、定期事業者検査項目等)			3.設備主管課は「点検計画表」どおり工事を発注しなかった。 設備主管課は「点検計画表」の認識性が悪いため、点検項目の一部を「点検計画表」から見落とす。 設備主管課は「点検計画表」ではなく、過去から使っていた「点検周回リスト」を使用することがあった。
		工事仕様書、購入仕様書作成	工事仕様書、購入仕様書作成			「工事・購入仕様書の内容」 ・設計条件 ・適用する関係法令、基準、規格等の遵守 ・試験・検査 ・工事旅行体制、範囲 ・提出図書 ・設計変更 ・品質保証計画書 ・監査 ・協力会社および外注先 ・工場立会 ・不適合の報告 ・共通仕様書の遵守	発注を受け見積依頼額を提出する ↓ 見積依頼額を受領する ↓ 社給資材を受領する	見積依頼額を受け「見積額」を提出する ↓ 見積額を受領する ↓ 社給資材を納品する		4.設備主管課は「点検計画表」どおり工事は発注したが、部品の手配ができず「工事が実施できなかった」。 設備主管課は「点検工事」が必要となる一部交換部品の発注を見落とす。 設備主管課は、メーカーの製造中止により部品の調達ができず、点検を中止したが、その後の処置をしない。 設備主管課は、取扱説明書、構造図等の部品仕様に関する図書がなく部品の調達ができず点検を中止したが、その後の処置をしない。

日時	設備	作業項目	作業段階	主要作業項目	本店・発電所長	保修管理課	行為・コミュニケーションの内容(標準プロセス)	資材部門	ENT・協力会社	代理店	問題点(聞き取り及び事務等からの標準プロセスとの差異) 【分析対象事象】
		発注	発注	工事発注		<p>工事仕様書で工事を請求する(協力会社)</p> <p>現場説明会にて仕様書の不明点を相互で確認する</p> <p>相違点確認書を設備主管課に確認する</p> <p>相違点確認書を受領し、資材部門へ回答する</p>	<p>工事請求を受け見積依頼書を作成する</p> <p>現場説明会にて仕様書の不明点を相互で確認する</p> <p>相違点確認書を受領し、保修管理課に確認する</p> <p>相違点確認書を受領し、現場説明会にて仕様書の不明点を相互で確認する</p> <p>相違点確認書の提出</p>	ENT・協力会社	代理店		
		契約	契約	工事契約							
		実施	実施	作業要領書作成、承認							
				工事施行							
				工事完了							
定検完了後 1ヵ月以内		実績整理	実績整理	点検工事の実績記入			「点検計画表、実績確認プロセス」				
定検完了後 2ヵ月以内											

※表中に記載している行為、コミュニケーションの内容は、事実ではなく標準プロセスである。

5.設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部が、協力会社から提出される作業要領書に反映されていないのを見落とした。

【分析対象事象2】  
「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない

6.設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。

【分析対象事象3】  
点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した

## 122專案の要因分析シート

【姓名：直根原子力発電所 1, 2 号機 「点検計画表」と点検実績との不整合事象】

(1) 問題点の絞り込み (「事象関連図」参照)

分析対象事象に関する問題点	
【分析対象事象 1】点検計画表の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある	
1	設備主管課は、機器の構造や機能上の理由により点検できない内容を「点検計画表」に記載した。
2	設備主管課は、「点検計画表」策定時に過去の点検実績を十分に踏まえずに設定し、一部を誤って記入した。
【分析対象事象 2】点検計画表の要求に対し、一部の点検が実施されていない	
3	設備主管課は、「点検計画表」とおり工事を発注しなかった。
3-	設備主管課は、「点検計画表」の視認性が悪いいため、過去から使っていた「点検周期リスト」から見落とした。
3-	設備主管課は、「点検計画表」ではなく、過去から使っていた「点検周期リスト」を使用することがあった。
4	設備主管課は、「点検計画表」とおり工事は発注したが、部品の手配ができず、工事が実施できなかった。
4-	設備主管課は、点検工事に必要となる一部交換部品の発注を見落とした。
4-	設備主管課は、メーカーの製造中止により部品の調達ができず、点検を中止したが、その後の処置をしなかった。
4-	設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図画がなく部品の調達ができず点検を中止したが、その後の処置をしなかった。
5	設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部が、協力会社から提出される作業要請書に反映されていないのを見落とした。
【分析対象事象 3】点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した	
6	設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。

(2) 要因分析 対策 (案)

【分析対象事象 1】「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある

分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策 (案)
1	設備主管課は、機器の構造や機能上の理由により点検できない内容を「点検計画表」に記載した。 設備主管課は、「点検計画表」策定時、点検内容の確認を行っていないなかった。	「点検計画表」策定当時平成17年10月、平成18年4月、点検内容の妥当性確認の計画を定めていなかった。	【業務プロセスの改善】 「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。 完了期限：平成22年6月末 担当課：設備管理課 フォローアップ：品質保証センター
2	設備主管課は、「点検計画表」策定時に過去の点検実績を十分に踏まえずに設定し、一部を誤って記入した。 設備主管課は、「点検計画表」の視認性が悪いいため、過去から使っていた「点検周期リスト」から見落とした。	「点検計画表」策定当時平成17年10月、平成18年4月、点検実績を入力後、その入力結果を確認するルールがなかった。	【業務プロセスの改善】 「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。 完了期限：平成22年6月末 担当課：設備管理課 フォローアップ：品質保証センター

【分析対象事象 2】「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない

分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策 (案)
3	設備主管課は、「点検計画表」から使っていた「点検周期リスト」を使用することがあった。 設備主管課は、「点検計画表」の視認性が悪いいため、過去から使っていた「点検周期リスト」から見落とした。	機器の点検項目の中に、他の項目と点検周期が異なるものがあり、視認性が悪く、「点検計画表」から見落とした。	【重要事項の明確化に係るプロセスの改善】 「点検計画表」の当該機器の間違った項目を、強調または着色することにより識別し、視認性を向上させる。 完了期限：平成22年5月末 担当課：設備管理課 フォローアップ：品質保証センター
3	設備主管課は、「点検計画表」とおり工事を発注しなかった。	工事仕様書を作成する際に「点検計画表」に基づき工事仕様書を作成するルールが明確になっていなかった。	【「点検計画」に係る業務プロセスの改善】 「点検計画表」に基づき、工事仕様書を作成する旨を「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：設備管理課 フォローアップ：品質保証センター

	分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
4	<p>設備主管課は、点検工事に必要となる一部交換部品の発注を見落とした。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により部品の調達ができず、点検を中止したが、その後の処置をできなかった。</p> <p>設備主管課は、「点検計画表」とおり工事が発注されたが、部品の発注ができず、工事が実施できなかった。</p>	<p>設備主管課は、メーカーの製造中止により部品が入手できず、点検工事ができなかった。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により点検工事ができなかったが、適切な計画変更の手続きをできなかった。</p> <p>設備主管課は、部品仕様が不明のため点検工事ができなかった。</p>	<p>点検工事に必要な交換部品を、交換部品のリストから購入仕様書(購入品明細)に記載する際に見落とした。</p> <p>メーカーからの情報を適宜入手していた。</p> <p>メーカーの製造中止により点検工事を中止した場合には、当該点検工場の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p> <p>取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書が整備されていなかった。</p>	<p><b>【調達プロセスの改善】</b> 交換部品リストから購入仕様書(購入品明細)へ転記する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p><b>【文書管理プロセスの改善】</b> 部品仕様に関する図書をQMS文書として位置づけ、管理責任者を明確にし、変更・更新管理を行い継続的にメンテナンスを行う仕組みを作る。 完了期限：平成22年7月末 担当課：品質保証センター、保修管理課 フォローアップ：原力品質保証</p> <p><b>【計画変更プロセスの明確化】</b> 点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p><b>【文書管理プロセスの改善】</b> 部品仕様に関する図書をQMS文書として位置づけ、管理責任者を明確にし、変更・更新管理を行い継続的にメンテナンスを行う仕組みを作る。 完了期限：平成22年7月末 担当課：品質保証センター、保修管理課 フォローアップ：原力品質保証</p>
5	<p>設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書の調達ができず点検を中止したが、その後の処置をできなかった。</p> <p>設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部が、協力会社から提出される作業要領書に反映されていないのを見落とした。</p>	<p>設備主管課は、部品仕様が不明のため点検工事ができなかったが、適切な計画変更の手続きをできなかった。</p> <p>設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書の調達ができなかった。</p> <p>設備主管課は、当社要求内容が不明に記載されている点検作業要領書を見落とした。</p>	<p>部品仕様が不明のため点検工事を中止した場合には、当該点検工場の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p> <p>当社要求内容が不明に記載されている点検作業要領書を見落とした。</p>	<p><b>【調達製品の検証に係る改善】</b> 受注者から提出される作業要領書には、当社要求内容を明確に記載することを工事仕様書により要求するとともに、当社が工事仕様書と作業要領書の内容を確認する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p><b>【計画変更プロセスの明確化】</b> 点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p>

【分析対象事象3】点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した

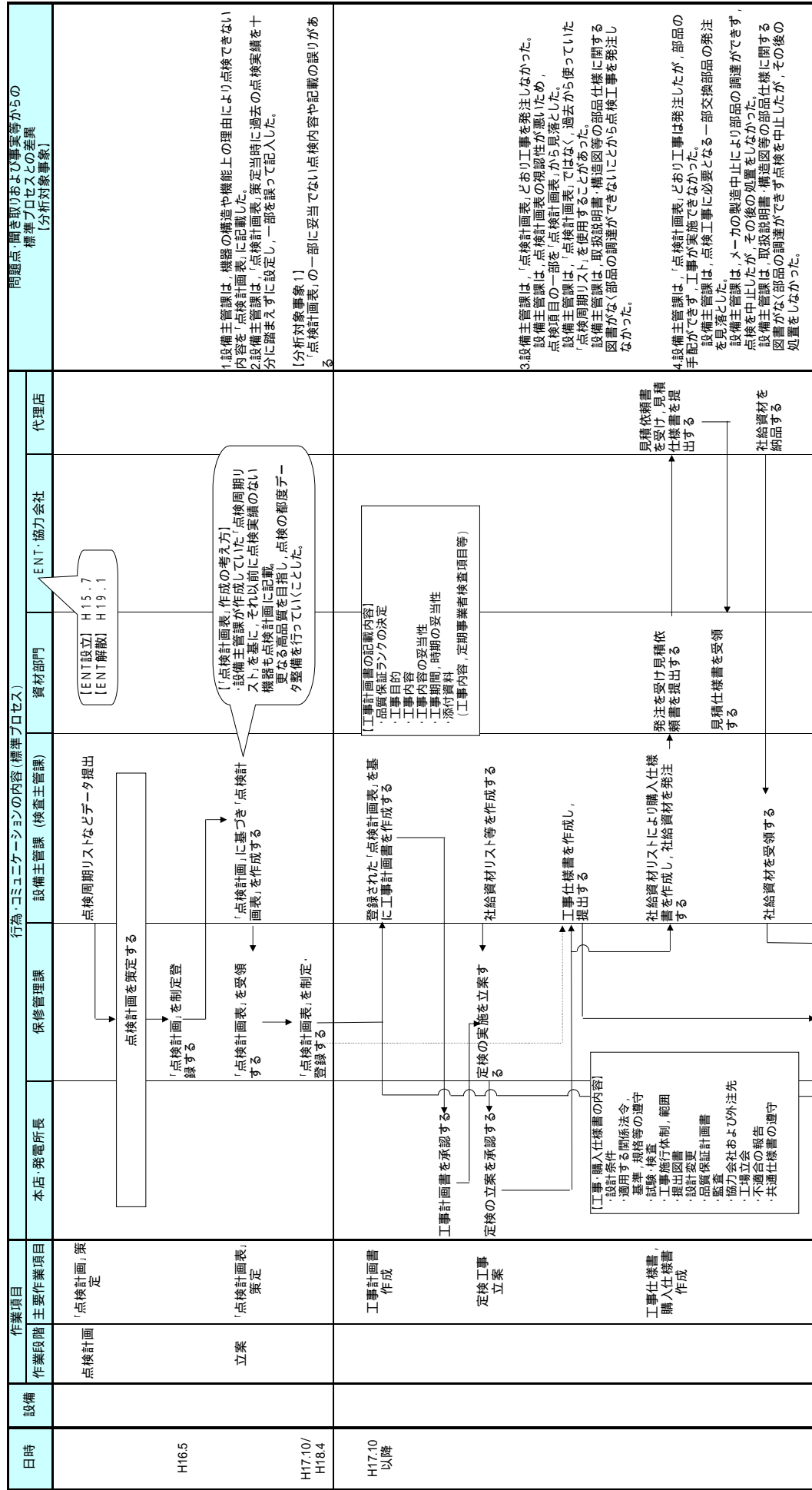
	分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
6	<p>設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。</p>	<p>設備主管課は、定期検査工事中は繁忙であり、かつ点検実績の報告まで期間がいたたため、記憶が曖昧になり、報告しなかった。</p>	<p>工事報告書には点検ができなかったことが明確に記載されていない場合があり、当社は工事未実施の認識がなかった。</p> <p>当社の要求(工事仕様書)に対して実施できなかった結果を工事報告書の特記事項で明確にするよう協力会社に求めていなかった。</p>	<p><b>【調達製品の検証プロセスの改善】</b> 「工事業務管理手順書」に以下の事項を規定する。 (1)工事仕様書で要求した内容と当社の実施結果が工事報告書で併記等により対比した形で確認できるように工事仕様書で要求するとともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (2)工事仕様書の要求事項に対して変更が生じた場合には、その変更点を工事報告書に明記することを工事仕様書で要求するとともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (特記事項及び懸念事項の欄への記載項目の明確化) 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p><b>【対策済】</b> 定期検査で計画した点検の実績をすべて保修管理課へ報告し、保修管理課の実績入力結果は設備主管課が確認する仕組みに変更した。 (平成22年3月27日暫定運用開始、「点検計画作成・運用手順書」平成22年4月28日施行)</p>

これらの対策については、教育も合わせて実施する。

点検時期超過及び定期事業者検査時期超過に係る事象関連図

【件名：「島根原子力発電所1,2号」点検計画表』と点検表編及び定期事業者検査との不整合事象」】

分析対象事象1：「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある  
 分析対象事象2：「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない  
 分析対象事象3：点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した  
 分析対象事象4：「点検計画表」に従って定期事業者検査を実施しなかった



日時	設備	作業段階	作業項目	本店・発電所長	保修管理課	設備主管課 (検査主管課)	資材部門	ENI・協力会社	代理店	問題点・聞き取りおよび事業書からの標準プロセスとの差異 【分析対象事象】
定検完了後 1ヵ月以内		発注	工事発注		工事仕様書で工事を 請求する (協力会社)	現場説明会にて仕様書の不明 点を相互で確認する	工事請求を受け見 積依頼書を提出す る	見積依頼書を受領する		
定検完了後 2ヵ月以内		契約	工事契約	定検工事 契約手続き	相連点確認書を設備 主管課に確認	相連点確認書を 確認し、保修管理課 に確認する	相連点確認書を受 領し、保修管理課 に確認する	現場説明会 → 相連点確認書の提出		
		実施	作業要領書 作成、承認	検査要領書を承認する	相連点確認書を受領し 資材部門へ回答する	登録された「点検計画表」を基 に定期事業者検査要領書を作 成する	相連点確認書を受 領し回答する	相連点確認書を受領する → 合意、契約		8.設備主管課は「点検計画表」の記載どおりに定期事業者検査 の対象項目を選定しなかった 【分析対象事象4】 「点検計画表」に従って、定期事業者検査を実施しなかった
			工事施行	検査総括責任者:審査 主任技術者:確認 検査実施責任者:承認	作業要領書を承認する	作業要領書を承認する	作業要領書を作成する	作業要領書を承認する → 社給資材を受領する		5.設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部 が、協力会社から提出される作業要領書に反映されていないのを 見落とした。
			工事完了	検査総括責任者:審査 主任技術者:確認 検査実施責任者:承認	検査成績書を承認する	検査成績書を作成する	検査成績書を作成する	社給資材を渡す → 定期事業者検査要領書を基に 検査を実施する → 検査成績書を作成する		6.設備主管課は、作業要領書で要求する工事が実施できなかった 設備主管課は、工程調整が不十分ため工事を中止した。 設備主管課は、適切な部品を調達したが機器との調整が十分 できず工事を中止した。
		実績整理	点検工事の 実績記入		「点検計画表」の実績 の報告を依頼する	「点検計画表」の点検 内容に変更があった機 器を把握する	「点検計画表」の実績 確認プロセス	工事報告書を受領、承認し、工 事完了		7.設備主管課は、「点検計画表」に「点検済み」と記載した 点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した 【分析対象事象3】

1: 表中に記載している行為、コミュニケーションの内容は、事実ではなく標準プロセスである。

2: 新たな問題点を確認したことから中間報告書における問題点番号6は7に繰り下げ



## 点検時期超過及び定期事業者検査時期超過に係る要因分析シート

【姓名：島根原子力発電所 1、2号機 「点検計画表」と点検実績及び定期事業者検査との不整合事象】

### (1) 問題点の絞り込み（「事象関連図」参照）

分析対象事象に関する問題点	
【分析対象事象1】「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある	
1	設備主管課は、機器の構造や機能上の理由により点検できない内容を「点検計画表」に記載した。
2	設備主管課は、「点検計画表」策定時に過去の点検実績を十分に踏まえずに設定し、一部を誤って記入した。
【分析対象事象2】「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない	
3	設備主管課は、「点検計画表」とおり工事を発注しなかった。
3-	設備主管課は、「点検計画表」の預認性が悪いため、点検項目の一部を「点検計画表」から見落とした。
3-	設備主管課は、「点検計画表」ではなく、過去から使っていた「点検周期リスト」を使用することがあった。
3-	設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書がなく部品の調達ができないことから点検工事を発注しなかった。
4	設備主管課は、「点検計画表」どおり工事は発注したが、部品の手配ができず、工事が実施できなかった。
4-	設備主管課は、点検工事に必要となる一部交換部品の発注を見落とした。
4-	設備主管課は、メーカーの製造中止により部品の調達ができず、点検を中止したが、その後の処置をしなかった。
4-	設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書がなく部品の調達ができず点検を中止したが、その後の処置をしなかった。
5	設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部が、協力会社から提出される作業要領書に反映されていないのを見落とした。
6	設備主管課は、作業要領書で要求する工事が実施できなかった。
6-	設備主管課は、工程調整が不十分なため工事を中止した。
6-	設備主管課は、適切な部品を調達したが機器との調整が十分できず工事を中止した。
【分析対象事象3】点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した	
7	1 設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。
【分析対象事象4】「点検計画表」に従って、定期事業者検査を実施しなかった	
8	設備主管課は、「点検計画表」の記載どおりに定期事業者検査の対象項目を選定しなかった。
【分析対象事象5】保守管理の実施状況の総点検で確認した事案	
9	保守管理課は、「点検計画」承認時に「保安運営委員会」に付議しなかった。
10	保守管理課は、「点検計画表」から保全計画に転記する際、転記ミスした。
11	設備主管課は、「点検計画表」から工事仕様書に反映しなかった。
12	設備主管課は、物品購入時の検収を行う際に、物品検収報告書の作成等をしなかった。

1：新たな問題点6を確認したことから中間報告書における問題点番号6は7に繰り下げ

### (2) 要因分析 対策（案）

【分析対象事象1】「点検計画表」の一部に妥当でない点検内容や記載の誤りがある

分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策（案）
1	設備主管課は、機器の構造や機能上の理由により点検できない内容を「点検計画表」に記載した。	設備主管課は、「点検計画表」策定当時、点検内容の確認が行っていなかった。	「点検計画表」策定当時(平成17年10月、平成18年4月)、点検内容の妥当性確認の計画を定めていなかった。
2	設備主管課は、「点検計画表」策定時に過去の点検実績を十分に踏まえずに設定し、一部を誤って記入した。	設備主管課は、「点検計画表」の策定当時、点検実績まで確認していなかった。	「業務プロセスの改善」 <sup>3</sup> 「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保守管理課 フォローアップ：品質保証センター
			「業務プロセスの改善」 <sup>3</sup> 「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保守管理課 フォローアップ：品質保証センター

【分析対象事象2】「点検計画表」の要求に対し、一部の点検が実施されていない

	分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策（案）
3	<p>設備主管課は、「点検計画表」どおり工事を発注しなかった。</p> <p>設備主管課は、「点検計画表」ではなく、過去「点検計画表」から使用していた「点検周期リスト」を使用したことがあった。</p> <p>設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書がなく、部品の調達ができなかったことから点検工事を発注しなかった。</p>	<p>_____</p> <p>_____</p>	<p>機器の点検項目の中に、他の項目と点検周期が異なるものがあり、視認性が悪く、「点検計画表」から見落とされた。</p> <p>工事仕様書を作成する際に「点検計画表」に基づき工事仕様書を作成するルールが明確になっていなかった。</p>	<p>【調達要求事項の明確化に係るプロセスの改善】<sup>3</sup> 「点検計画表」の当該機器の関連しやすい点検項目を、強調または着色することにより識別し、視認性を向上させる。 完了期限：平成22年5月末 担当課：保修管理課・設備主管課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p>【「点検計画」に係る業務プロセスの改善】<sup>3</sup> 「点検計画表」に基づき、工事仕様書を作成する旨を「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p>
4	<p>設備主管課は、「点検計画表」どおり工事が実施できなかった。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により点検工事ができなくなったが、適切な計画変更の手続きをできなかった。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により部品が入手できず、点検を中止したが、その後の処置をできなかった。</p> <p>設備主管課は、取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書がなく、部品の調達ができず、点検を中止したが、その後の処置をできなかった。</p>	<p>_____</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により部品が入手できず、点検工事ができなかった。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により点検工事ができなくなったが、適切な計画変更の手続きをできなかった。</p> <p>設備主管課は、メーカーの製造中止により点検工事を中止した場合に、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p>	<p>点検工事に必要な交換部品を、交換部リストから購入仕様書（購入品明細）に転記する際に見落とされた。</p> <p>メーカーからの情報を適宜入手していなかった。</p> <p>メーカーの製造中止により点検工事を中止した場合に、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p>	<p>【調達管理プロセスの改善】<sup>3</sup> 交換部リストから購入仕様書（購入品明細）へ転記をする際には、ダブルチェックをし見落としを防止する旨「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p>【文書管理プロセスの改善】<sup>3</sup> 部品仕様に関する図書をOMS文書として位置付け、管理責任者を明確にし、変更・更新管理を行い継続的にメンテナンスを行う仕組みを作る。 完了期限：平成22年7月末 担当課：品質保証センター、保修管理課 フォローアップ：原子力品質保証</p> <p>【計画変更プロセスの明確化】<sup>3</sup> 点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合は、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p>【文書管理プロセスの改善】<sup>3</sup> 部品仕様に関する図書をOMS文書として位置付け、管理責任者を明確にし、変更・更新管理を行い継続的にメンテナンスを行う仕組みを作る。 完了期限：平成22年7月末 担当課：品質保証センター、保修管理課 フォローアップ：原子力品質保証</p>
5	<p>設備主管課は、工事仕様書により要求している点検内容の一部が、協力的会社から提出される作業要領書に反映されていないのを見落とし、当該作業要領書を見落とした。</p>	<p>作業要領書を見ただけでは、当社が工事仕様書で要求している点検内容が確認できない。</p>	<p>部品仕様が不明のため点検工事を中止した場合に、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p> <p>作業要領書がわかる記載になるような作業要領書を協力的会社に求めた。</p>	<p>【計画変更プロセスの明確化】<sup>3</sup> 点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合は、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p> <p>【調達製品の検証に係る改善】<sup>3</sup> 当社要求内容を明確に記載することを工事仕様書により要求する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p>

左記要因は 4 - の要因と同じであり、原因の特定、対策（案）は 4 - のと同じである



分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
<p>設備主管課は、作業要領書で要求する工事が実施できなかった。</p> <p>設備主管課は、工程調整が不十分なため工事を中止した。</p> <p>設備主管課は、適切な部品を調達したが機器との調整が十分できず工事を中止した。</p>	<p>設備主管課は、工事を中止した際、適切な計画変更の手続きがなかった。</p> <p>2</p>	<p>点検工事を中止した場合、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった。</p> <p>4 - の原因の特定、対策(案)に同じである</p>	<p>【計画変更プロセスの明確化】<sup>3</sup> 点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合は、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。</p> <p>完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p>

【分析対象事象3】点検していない機器を「点検計画表」に「点検済み」と記載した

分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
<p>設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。</p>	<p>工事報告書には点検ができなかったことが明確に記載されていない場合があり、当社は工事未実施の認識がなかった。</p> <p>設備主管課は、定期検査工事中は繁忙であり、かつ点検実績の報告まで期間があったため、記憶があいまいになり、報告しなかった。</p>	<p>【調達製品の検証プロセスの改善】<sup>3</sup> 「工事業務管理手順書」に以下の事項を規定する。 (1)工事仕様書で要求した内容とその他の実施結果が工事報告書で併記等により対比した形で確認できるような工事仕様書で要求すると共に、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (2)工事仕様書の要求事項に対して変更が生じた場合には、その変更点を工事報告書に明記することを工事仕様書で要求すると共に、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (特記事項および懸案事項の欄への記載項目の明確化)</p> <p>完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター</p>	
<p>設備主管課は、点検が実施できなかったことについて、連絡しなかった。</p>	<p>未点検の報告がなければ保修管理課は点検されたものとして業務が進むような仕組みとなっていた。</p>	<p>【対策済】<sup>3</sup> 定期検査で計画した点検の実績をすべて保修管理課へ報告し、保修管理課の実績入力結果は設備主管課が確認する仕組みに変更した。 (平成22年3月27日暫定運用開始、「点検計画作成・運用手順書」平成22年4月28日施行)</p>	

1：新たな問題点6を確認したことから中間報告書における問題点番号6は7に繰り下げ

【分析対象事象4】「点検計画表」に従って、定期事業者検査を実施しなかった

分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
<p>設備主管課は、「点検計画表」の記載どおりに定期事業者検査の対象項目を選定しなかった。</p>	<p>設備主管課は、定期事業者検査要領書を作成する際、対象項目を「点検計画表」から見落した。</p>	<p>定期事業者検査要領書を作成する際に「点検計画表」に基づき作成するルールや、チェックの仕組みが明確になっていなかった。</p>	<p>【対策済】 (定期事業者検査プロセスの改善) (1)「点検計画表」に基づき、定期事業者検査要領書を作成する旨を明記する。 (2)定期事業者検査要領書を作成する際には、「点検計画表」と対象項目の整合性をチェックする仕組みを明確にする。 (「定期事業者検査要領書作成の手引き」平成21年12月24日施行済)</p>

【分析対象事象5】保守管理の実施状況の総点検で確認した事案

	分析対象要因	原因の追究	原因の特定	対策(案)
9	<p>保修管理課は、「点検計画」承認時に「保安運営委員会」に付議しなかった。</p>	<p>保修管理課は、保安運営委員会に付議したかどうか確認せず、手続きを完了とした。</p>	<p>「点検計画・点検計画表」策定・変更書が、保安運営委員会での審議が終了していること及び審議の必要性の判断基準が分からない様式であった。</p>	<p><b>【保全計画の策定プロセスの改善】 3【一部対策済】</b> 「点検計画」点検計画表「策定・変更書」の様式に「点検計画変更承認フロー」を追加し、保安運営委員会が開機済であることを確認してから所長が承認できるように変更した。 (「点検計画作成」運用手順書、平成22年4月23日施行済) 上記に加え、保安運営委員会の審議が終了していることを確認できること及び判断基準を明確にするよう、「点検計画」点検計画表「策定・変更書」の様式を見直す。 (完了期限：平成22年7月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)</p>
10	<p>保修管理課は、「点検計画表」から保全計画に転記する際、転記ミスした。</p>	<p>「点検計画表」から保全計画に当該点検実施の有無と過去の点検実績を転記する際、入力ミスした。</p>	<p>4 - の原因の特定、対策(案)に同様である</p>	<p><b>【保全計画書の作成プロセスの改善】 3</b> 「点検計画表」から保全計画へ転記をする際には、「ダブルチェックをし見落としを防止する旨」QMS文書に明記する。 (完了期限：平成22年7月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)</p>
11	<p>設備主管課は、「点検計画表」から工事仕様書に反映しなかった。</p>	<p>工事仕様書を作成する際に「点検計画表」に基づき工事仕様書を作成するルールが明確になっていなかった。</p>	<p>3 - の原因の特定、対策(案)に同じである</p>	<p><b>【保全の実施プロセスの改善】 3</b> 「点検計画表」に基づき、工事仕様書を作成する旨を「工事業務管理手順書」に明記する。 (完了期限：平成22年6月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)</p>
12	<p>設備主管課は、物品購入時の検収を行う際に、物品検収報告書の作成等をしなかった。</p>	<p>設備主管課は、受入検査の押印、納品書の受領及び物品購入時の検収を行う際に、物品検収報告書の作成をしなかった。</p>	<p><b>【保全の実施プロセスの改善】 3</b> 物品検収時に行う、受入検査完了の押印、納品書の受領及び物品検収報告書の作成に落ちがないようチェックシートにより確認する旨「工事業務管理手順書」に明記する。 (完了期限：平成22年7月末 担当課：保修管理課 フォローアップ：品質保証センター)</p>	<p>3:これらの対策については、教育も合わせて実施する。</p>

2:計画していた点検工事の未実施が判明した時点で  
不適合管理を実施しなかった問題については、根本原因  
分析にて対策を検討する。

保守管理の不備に係る詳細時系列

年	月	規制変更・定期検査等 主要イベント	内 容	問題点	
平成15年	7月	【組織変更】 7/1 (株) エネルギア・ ニューテック (ENT) 設立	ENT 設立 ENT 体制: 16名 (当社: 9名, メーカ: 4名, その他: 3名) 必修3課体制: 84名		
	10月	【実用発電用原子炉の設置、 運転等に関する規則改正】 【定期事業者検査個別検査要 領書作成開始】	・電源事業本部 (原子力運営) は、電力大で作成した標準定期事 業者検査要領書を基に島根原子力発電所の設備を反映した標準版定期 事業者検査要領書を作成するよう ENT へ依頼。		
平成16年	3月		2号機第12回定期検査準備作業 (主な作業項目: 工事計画書作成, 工事仕様書作成, 工事発注, 部 品等購入仕様書作成, 部品等発注, 部品等受入れ検査)	・保守管理課は、一般工事に関する業務手順は定めてい るが、定検工事の業務実施手順については明確に定めて いなかった ・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記す る際に発注部品を見落とした	1 2
			標準版定期事業者検査要領書作成完了・引渡し。 ( ENT 電源事業本部 (原子力運営) )		
	4月	【ENT体制の強化】	ENT 体制: 63名 (当社: 50名, メーカ: 10名, その他: 3名) 必修3課体制: 55名 ・技術課は、ENT が作成した1, 2号機標準版定期事業者検査要 領書から2号機第12回定期事業者検査要領書の作成を設備主管課 へ依頼 (所内政省令改正検討会作業分科会)。 ・設備主管課は、技術課 (所内政省令改正検討会作業分科会) の依 頼に基づき、指定期日までに作成 (H16.6月末 (クラス1,2), H16.7月末 (クラス3), 1号機第2.5回定期事業者検査要領書の作 成H16.9月~12月)。	・当社は、技術伝承を目的としてENTを設立 (H15.7)した が、保守部門の人員を2分することになり、検査制度導入 直前にもかかわらず組織としての力量が分散されていた ため、「点検計画表」を作成する時間が十分なかった	3
	5月	5/21 【定期事業者検査制度導入】	定期事業者検査制度導入を織り込んだ「保安規定」の施行。		
	9月	9/7 ・2号機第12回定期検査開始 【定期安全管理審査指摘】	・2号機第12回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・定期安全管理審査の実施。 9/8 原子力安全基盤機構 (JNES) より、「『点検計画表』の管 理」について指摘 (注1) あり。	・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不 適合管理をしなかった	4
	10月		10/12 保守管理課は、「安全管理審査・実地審査時の気付き事項に伴う保 修管理要領別冊「点検計画」の見直しスケジュールについて」に基 づき、「点検計画表」を新たに作成することとした。		
	11月		11/1 保守管理課は、「保守管理要領」を改正 (第3.2次改正) した。 (「点検計画表」をQMS文書の中に位置づけた)	・保守管理課は、「点検計画表」の運用は決めていたが、 「点検計画表」が定期事業者検査等の基礎資料としての 位置づけを明確にしていなかった	5
平成17年	1月		1/14 保守管理課は、「安全管理審査・実地審査時の気付き事項に伴う保 修管理要領別冊「点検計画」の見直しスケジュールの見直しにつ いて」に基づき、作成スケジュールを見直した。 ・2号機第12回定期事業者検査との並行作業及び1号機第25回定期検 査申請業務との輻輳により11月上旬完了を目指した1号機点検周期 リストの見直しが遅れた。	・保守管理課及び設備主管課は、2号機第12回定期事 業者検査の実施、1号機第25回定期事業者検査要領書の作 成及び定期検査準備等の業務が輻輳していたため、「点 検計画表」を作成する時間が十分なかった	6
			1/26 保守管理課は、「保守管理要領」を改正 (第3.4次改正) した。 (「点検計画」及び「点検計画表」の作成者は各課長であることの 明確化)		
			1号機第25回定期検査準備作業 (主な作業項目: 工事計画書作成, 工事仕様書作成, 工事発注, 部 品等購入仕様書作成, 部品等発注, 部品等受入れ検査)	・工事仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあっ たが、要求内容を確認するための資料を参照することにつ いてのルールが明確でなかった	7
				・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記す る際に発注部品を見落とした	8
				・一部機器について、構造図がないものがあった	9
				・購入仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあっ たが、要求内容を確認するための資料を参照することにつ いてのルールが明確でなかった	10
				・設備主管課は、ENTが行った業務に対する確認が不十分 だった	11
	2月	2/20 1号機第25回定期検査開始	・1号機第25回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・定期安全管理審査の実施。	・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不 適合管理をしなかった	12
	3月	3/3 ・2号機第12回定期検査終了	2号機第12回定期検査実績管理 3/31 保守管理課は、H16.9月定期安全管理審査でJNESより、指摘の あった「『点検計画表』の管理」について、是正処置を実施。 ・「点検計画表」が組織として管理された状態でないことの原因は 「ルールが不明確」 ・即時処置: 保守管理要領の見直し (H17.1.7) (「点検計画表」 のルールを明確化)	・組織は、定期安全管理審査での指摘を表面的に捉えて しまった	13
	4月		4/8 保守管理課は、「『点検計画』の見直し詳細スケジュール」を策 定。 ・「点検計画表」策定の具体的な作業についての工程を作成。 ・作業完了予定の9月末には1, 2号機両方の「点検計画表」を制 定する計画とした。保守管理課は、「島根原子力発電所点検計画表 作成手順書」を作成。	・保守管理課は、「島根原子力発電所点検計画表作成手 順書」(H17.4)をQMS文書に位置づけなかった	14
4/18 保守管理課は、「点検計画見直しスケジュールの関係者打合せを行 い、「島根原子力発電所点検計画表作成手順書」により5月から 「点検計画表」の点検項目及び「×表」のチェック作業を行ってほし い旨、設備主管課に依頼。			・保守管理課は、「島根原子力発電所点検計画表作成手 順書」(H17.4)に、体制・責任・権限・妥当性確認等の主要 な確認項目を定めていなかった	15	
		4/18 保守管理課は、点検計画見直しスケジュールの関係者打合せを行 い、「島根原子力発電所点検計画表作成手順書」により5月から 「点検計画表」の点検項目及び「×表」のチェック作業を行ってほし い旨、設備主管課に依頼。	・保守管理課は、より実効的な保守管理にしたいとの思い から、手動弁等について劣化要因を考慮せず、暫定的に 一律で点検周期を設定する等、可能な限りの機器を管理 するよう「点検計画表」を作成した(H17.4) (現実には、管理 が困難な過剰な「点検計画表」となっていた)	16	
		【「点検計画表」作成開始】 保守管理課は、「点検計画表」(ドラフト版)を派遣社員にて作成 開始。 (聞き取り) ・「点検計画」に新規に追加した手動弁は、点検周期を最長 (1 0年)とし、平成16年を起点とし、最長となる年度に計画するよ う記載した。 ・新規に追加した弁は設備主管課が最長で計画された年度までに 順次計画的に点検を実施することで問題ないと考えていた。(現実 には、管理が困難な過剰な「点検計画表」となっていた。) ・新規に追加した弁については、設備担当課の弁リスト及び系統 図 (基本図面集) を参考に可能な限り抽出した。保守管理課は、基 本図面集からの弁の抽出は抽出方法を示し、派遣社員が実施した。	・経験ある社員でなかったため、「点検計画表」作成作業 は、十分に管理されなかった	17	

年	月	規制変更・定期検査等 主要イベント	内 容	問題点		
平成17年	8月	8/10 1号機第25回定期検査終了	1号機第25回定期検査実績管理 ・設備管理課は、設備主管課がチェックした「点検計画表」をとりまとめを実施。	・設備主管課は、作成時に「点検計画表」の全項目について確認せず、抜取り確認とした(H17.8)	18	
			2号機第13回定期検査準備作業 (「2号機第13回定期点検工事計画書」は、ENTが当社が制定した「点検計画表」に基づき「2号機第13回定期点検工事計画書」(案)を作成し、設備主管課に提出。)			
	9月		9/29 発電所 第203回 保安運営委員会開催 (・設備管理要領の改正審議、・「点検計画表」制定の報告) ・設備管理課は、「点検計画表」の制定について、保安運営委員会において報告した。(聞き取り) ・今後は個人管理の点検周期リストは使用しないように口頭周知した。(聞き取り)	・設備管理課から、点検周期リストを使用せず「点検計画表」を使用することの口頭通知が設備主管課に徹底されていなかった	19	
			設備管理課は、1号機「点検計画表」作成作業開始。			
	10月	【2号機「点検計画表」制定】	10/7 設備管理課は、「2号機点検計画表」を制定した。			
				2号機第13回定期検査準備作業 (主な作業項目：工事計画書作成、工事仕様書作成、工事発注、部品等購入仕様書作成、部品等発注、部品等受入れ検査)	・設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した	20
				・設備主管課の一部の者は、「点検計画表」を使用しなければならぬことを知らなかった	21	
				・工事仕様書を作成する際に、「点検計画表」に基づき仕様書を作成するルールが明確になっていなかった	22	
				・設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした	23	
				・「点検計画表」の視認性が悪い	24	
・購入仕様書を作成する際の交換部品リスト等の部品仕様に関する図書がQMS文書として位置づけられていない				25		
・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした				26		
・設備主管課は、協力会社から提出された作業要領書に当社の要求事項が反映されていないことを見落とした。	27					
平成18年	2月	2/28 2号機第13回定期検査開始	・2号機第13回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・定期安全管理審査の実施。	・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった	28	
	3月	【定期安全管理審査指摘】	3/15、3/30 JNESより、「『点検計画表』の管理」について指摘(注2)あり。	・組織は、定期安全管理審査中の処置対応で対応が終了と考えた	29	
	4月	【1号機「点検計画表」制定】 【定期安全管理審査指摘】	4/28 設備管理課は、「1号機点検計画表」を制定した。  4/18 JNESより、「『点検計画』及び『点検計画表』作成漏れ」について指摘(注3)あり。	・不適合管理の社内基準において、複数の課にまたがる場合の不適合管理の所管があいまいであった	30	
	6月	6/28 2号機第13回定期検査終了	2号機第13回定期検査実績管理	・設備主管課の一部の者は、設備管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった	31	
	7月		設備管理課は、JNESの指摘「『点検計画表』の管理」(2号機第13回定期事業者検査安全管理審査指摘事項)を受け、「点検計画作成・運用手順書」の第2次改正を実施した。(「点検計画」の策定・変更の手順を明確化した。)	・設備管理課は、点検実績の報告に関するルールを明文化した際に、ヒューマンエラーの発生を考慮していなかった	32	
				1号機第26回定期検査準備作業 (主な作業項目：工事計画書作成、工事仕様書作成、工事発注、部品等購入仕様書作成、部品等発注、部品等受入れ検査)	・購入仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあったが、要求内容を確認するための資料を参照することについてのルールが明確でなかった	33
				・設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした	34	
				・設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した	35	
				・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした	36	
				・一部機器について、構造図がないものがあった	37	
・設備主管課は、当社の要求事項(工事仕様書)が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めていなかった				38		
・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった				39		
・設備主管課は、定期事業者検査要領書を作成する際、対象項目を「点検計画表」から見落とした	40					
9月	9/9 1号機第26回定期検査開始 【定期安全管理審査指摘】	・1号機第26回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・定期安全管理審査の実施 9/12 JNESより、「『点検計画』」、「『点検計画表』の管理」について指摘(注4)あり。	(注)平成19年3月「定期安全管理審査指摘に対する対応」の問題点41として記載。			
10月	【QMS高度化開始】  【定期安全管理審査指摘】		当社は、H18年度第2回保安検査での以下の指摘を受け、QMS高度化の取り組みを開始した。 ・「ECCSストレナ閉塞事象に対する暫定措置の実施状況、及びECCSポンプ停止判断値の不適合について(抜き打ち検査として実施)」 ・「品質マネジメントシステムの構築及び実施、並びにその有効性を継続的に改善することにおける不適合」			
			10/11 JNESより、「『点検計画』」、「『点検計画表』の管理」について指摘(注5)あり。	(注)平成19年3月「定期安全管理審査指摘に対する対応」の問題点41として記載。		
11月	【発電設備総点検指示】	当社は、国より、平成18・11・30厚院第1号(H18.11.30)「発電設備に係る点検について」を受領。				



年	月	規制変更・定期検査等 主要イベント	内 容	問題点
平成19年	1月		H18.9にJNESから指摘を受けて「工事管理品質保証要領」を改正（定期点検工事については、工事計画書に「点検計画表」を添付し、工事内容が「点検計画表」と相違がないことを確認する。）	
		【ENT解散】	・ENT解散	
	2月	【組織変更】	・ 保修社員増員 ・ 保修管理課に新検査プロジェクトチームを設置 ・ 機械保修課に弁・配管担当を設置 （ENT解散人員に加え、20名程度保修要員の増員を図るとともに、ENTが行っていた「工事計画（案）・工事仕様（案）・購入仕様（案）」作成、工事結果の保全計画への反映、中長期の工事計画の作成）業務を当社に取り込んだ。）	
	3月	【定期安全管理審査指摘に対する対応】	保修管理課及び設備主管課は、H18.9.12とH18.10.11のJNESの指摘を受け、定期事業者検査に係る「点検計画」「点検計画表」「検査要領書」の水平展開調査を実施した。その結果、「点検計画表」に点検時期の記載漏れの不整合があることを確認した。	・ 保修管理課、設備主管課は、1号機での不備が確認されているにもかかわらず、2号機への水平展開をしなかった（H19.3）
	4月	【総点検を踏まえた再発防止対策を開始】 4/27 1号機第26回定期検査終了	【国より総点検を踏まえた対応に係る文書受領】 平成19-04-18原第42号（H19.04.20）発電設備に係る総点検の結果を踏まえた今後の対応について（厳重注意および指示） 国の総点検の結果を踏まえ再発防止対策を開始 1号機第26回定期検査実績管理	・ 設備主管課の一部の者は、保修管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった
			2号機第14回定期検査準備作業 （主な作業項目：工事計画書作成、工事仕様書作成、工事発注、部品等購入仕様書作成、部品等発注、部品等受入れ検査）	・ 設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした
				・ 設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した
				・ 設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした
				・ 一部機器について、構造図がないものがあった
				・ 設備主管課は、当社の要求事項（工事仕様書）が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めているなかった
			・ 設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった	
	5/8	2号機第14回定期検査開始	・ 2号機第14回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・ 定期安全管理審査の実施。	
	8/10	2号機第14回定期検査終了	2号機第14回定期検査実績管理	・ 設備主管課の一部の者は、保修管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった
			1号機第27回定期検査準備作業 （主な作業項目：工事計画書作成、工事仕様書作成、工事発注、部品等購入仕様書作成、部品等発注、部品等受入れ検査）	・ 設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした
				・ 購入仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあったが、要求内容を確認するための資料を参照することについてのルールが明確でなかった
				・ メーカー製造中止で部品がなくなっていた
				・ 一部機器について、構造図がないものがあった
				・ 設備主管課は、当社の要求事項（工事仕様書）が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めているなかった
				・ 設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった
	12/5	1号機第27回定期検査開始	・ 1号機第27回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・ 定期安全管理審査の実施。	
平成20年	2月	【組織変更】	電源事業本部において、各組織を横断的に総括する仕組みとして、組織全体としてのQMSの取組みの改善、組織全体が整合性を持って活動できる仕組みを構築するため、「電源事業本部（原子力）」から独立した「電源事業本部（原子力品質保証）」を設置した。	
		【QMS高度化完了】	・ 発電所において、不適合管理・是正処置プロセスの改善を図るため、「不適合管理検討会」及び「是正処置検討会」を設置した。	
			・ 保修管理課は、QMS文書・文書体系の変更、スリム化の一環として、「点検計画作成・運用手順書」を新規制定した。	
	3月	【QMS高度化活動におけるアクションプラン（AP）2完了】	発電所において、QMS高度化活動の一環として、18年度に発生したCSTの腐食事象等の保守に関するトラブル、及び平成20年度から導入される新検査制度を踏まえ、適切な保全計画に見直しを実施した。 ・ 新検査制度の保全対象範囲（sheet1）を作成。 ・ 系統毎の範囲・機能を明確化し、重要な系統を選定（sheet2）。 ・ 2号機第14回定期検査の「点検計画」と「点検計画表」の整合をチェック。 ・ 「保守管理要領」の見直し（JEAC4209-2007版の反映）。 次年度以降は、新検査プロジェクトによる新検査制度対応業務の中で継続的改善を行うこととした。	・ 保修管理課、設備主管課は、アクションプラン2の当初の目的に対し活動が十分でなかったため「点検計画表」の不備にまで到達しなかった（H20.3月末）
	5月	5/14 1号機第27回定期検査終了	1号機第27回定期検査実績管理	・ 設備主管課の一部の者は、保修管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった
			2号機第15回定期検査準備作業 （主な作業項目：工事計画書作成、工事仕様書作成、工事発注、部品等購入仕様書作成、部品等発注、部品等受入れ検査）	・ 設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした
				・ 設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した
				・ 設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした
				・ 設備主管課は、当社の要求事項（工事仕様書）が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めているなかった
				・ 設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった
			・ 設備主管課は、定期事業者検査要領書を作成する際、対象項目を「点検計画表」から見落とした	
	9/7	2号機第15回定期検査開始	・ 2号機第15回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・ 定期安全管理審査の実施。	

年	月	規制変更・定期検査等 主要イベント	内 容	問題点
平成21年	1月	【1/1 新検査制度導入】 (省令及びJEAC4209改正に伴う適正化)	新検査制度を織り込んだ「保安規定」の施行。	
	4月	4/17 2号機第15回定期検査終了	2号機第15回定期検査実績管理	・設備主管課の一部の者は、保修管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった 65
			1号機第28回定期検査準備作業 (主な作業項目：工事計画書作成，工事仕様書作成，工事発注，部品等購入仕様書作成，部品等発注，部品等受入れ検査)	・設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした 66
				・設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した 67
				・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした 68
				・一部機器について、構造図がないものがあった 69
				・設備主管課は、当社の要求事項(工事仕様書)が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めていなかった 70
			・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった 71	
	5月	5/7 1号機第28回定期検査開始	・1号機第28回定期点検工事及び定期事業者検査の実施。 ・定期安全管理審査の実施。	
	10月	10/9 1号機第28回定期検査終了	1号機第28回定期検査実績管理	・設備主管課の一部の者は、保修管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった 72
平成22年	1月	1/22 MV24-2電動弁不具合を不適合管理検討会へ報告	発電所，1号機第28回定期検査後の不適合管理検討会において，MV24-2電動機が前回点検周期(第26回定期検査)で取り替えられていないことが判明した。	

【定期安全管理審査におけるJNESからの指摘内容】

- 注1：H16.9.8 点検周期リストの管理が課単位に任せられており，承認行為，保管及び記載内容が体系的かつ網羅的でなく，管理の仕組みが構築されていない。  
 注2：H18.3.15.30「保修管理要領」から分冊した際，「点検計画作成・運用手順書」に「点検計画表」の承認者，位置付け，様式等が同手順書に記載されていない。  
 注3：H18.4.18「中央制御室非常用再循環処理装置」の「点検計画」による素除去効率検査の実施頻度の記載がない。また，「点検計画表」に要素除去効率検査の記載がない。  
 「非常用ガス処理系フィルタ性能検査」も同様。  
 注4：H18.9.12「制御棒駆動機構分解検査」の対象座標が「検査要領書」と「点検計画表」で不整合。  
 注5：H18.10.11「ステンレス製配管検査(塩分測定等)」の目視検査の実施頻度が「点検計画」と「点検計画表」で不整合。

保守管理の不備に係る問題点と分析対象行為の整理表

詳細時系列表		不具合状態	分析対象行為				
問題点	問題点番号						
・当社は、技術伝承を目的として ENT を設立(H15.7)したが、保守部門の人員を2分することになり、検査制度導入直前にもかかわらず組織としての力量が分散されていたため、「点検計画表」を作成する時間が十分なかった	3	A. 「点検計画表」に不備があった	A 1	保守管理課は、「点検計画表」の策定時に入力不備があり、管理が困難な「点検計画表」を制定した			
・保守管理課および設備主管課は、2号機第12回定期事業者検査の実施、1号機第25回定期事業者検査要領書の作成および定期検査準備等の業務が輻輳していたため、「点検計画表」を作成する時間が十分なかった	6						
・保守管理課は、「島根原子力発電所点検計画表作成手順書」(H17.4)をQMS文書に位置付けなかった	14						
・保守管理課は、「島根原子力発電所点検計画表作成手順書」(H17.4)に、体制・責任・権限・妥当性確認等の主要な確認項目を定めていなかった	15						
・保守管理課は、より実効的な保守管理にしたいとの思いから、手動弁等について劣化要因を考慮せず、暫定的に一律で点検周期を設定する等、可能な限りの機器を管理するよう「点検計画表」を作成した(H17.4)(現実には、管理が困難な過剰な「点検計画表」となっていた)	16						
・経験ある社員でなかったため、「点検計画表」作成作業は、十分に管理されていなかった	17						
・設備主管課は、作成時に「点検計画表」の全項目について確認せず、抜取り確認とした(H17.8)	18						
・保守管理課、設備主管課は、1号機での不備が確認されているにもかかわらず、2号機への水平展開をしなかった(H19.3)	41						
・保守管理課、設備主管課は、アクションプラン2の当初の目的に対し活動が十分でなかったため「点検計画表」の不備にまで到達しなかった(H20.3月末)	57						
・保守管理課は、一般工事に関する業務手順は定めているが、定検工事の業務実施手順については明確に定めていなかった	1				B. 保守管理業務又は定期事業者検査を「点検計画表」どおりに実施していない	B 1	設備主管課は、「点検計画表」どおり工事を発注しなかった
・保守管理課は、「点検計画表」の運用は決めていたが、「点検計画表」が定期事業者検査等の基礎資料としての位置づけを明確にしていなかった	5						
・工事仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあったが、要求内容を確認するための資料を参照することについてのルールが明確でなかった	7						
・保守管理課から、点検周期リストを使用せず「点検計画表」を使用することの口頭通知が設備主管課に徹底されていなかった	19						
・設備主管課の一部の者は、従来の点検周期リストを使用した	20,35,44,60,67						
・設備主管課の一部の者は、「点検計画表」を使用しなければならないことを知らなかった	21						
・工事仕様書を作成する際に、「点検計画表」に基づき仕様書を作成するルールが明確になっていなかった	22						
・設備主管課は、「点検計画表」から点検項目の一部を見落とした	23,34,43,51,59,66						
・「点検計画表」の視認性が悪い	24						
・設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品を見落とした	2,8,26,36,45,61,68						
・一部機器について、構造図がないものがあった	9,37,46,54,69	B 2	設備主管課は、「点検計画表」どおり工事は発注したが、部品の手配等ができず、工事が実施できなかった				
・購入仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあったが、要求内容を確認するための資料を参照することについてのルールが明確でなかった	10,33,52						
・設備主管課は、ENTが行った業務に対する確認が不十分だった	11						
・購入仕様書を作成する際の交換部品リスト等の部品仕様に関する図書がQMS文書として位置づけられていない	25						
・メーカー製造中止で部品がなくなっていた	53						
・設備主管課は、協力会社から提出された作業要領書に当社の要求事項が反映されていないことを見落とした	27						
・設備主管課は、当社の要求事項(工事仕様書)が対比できるような作業要領書の記載様式を協力会社に求めているなかった	38,47,55,62,70						
・設備主管課は、定期事業者検査要領書を作成する際、対象項目を「点検計画表」から見落とした	40,64						
・設備主管課の一部の者は、保守管理課に「点検計画表」に対する変更点を報告しなかった	31,42,50,58,65,72						
・保守管理課は、点検実績の報告に関するルールを明文化した際に、ヒューマンエラーの発生を考慮していなかった	32			C. 点検実績を「点検計画表」へ反映していない	C 1	設備主管課は、正確な実績を「点検計画表」へ反映できなかった	
・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった	4,12,28,39,48,56,63,71						
・組織は、定期安全管理審査での指摘を表面的に捉えてしまった	13						
・組織は、定期安全管理審査の中の処置対応で対応が終了と考えた	29						
・不適合管理の社内基準において、複数の課にまたがる場合の不適合管理の所管があいまいであった	30						
・定期安全管理審査で指摘を受けた工事計画書と「点検計画表」の相違について、H19.1に制定した「点検計画表」を工事計画書に添付する是正処置が機能していなかった	49						
・設備主管課は、計画していた工事が実施できなくても不適合管理をしなかった	4,12,28,39,48,56,63,71	D. 不適合管理を適切に実施していない	D 1				設備主管課は、不適合管理を適切に実施しなかった
・組織は、定期安全管理審査での指摘を表面的に捉えてしまった	13						
・組織は、定期安全管理審査の中の処置対応で対応が終了と考えた	29						
・不適合管理の社内基準において、複数の課にまたがる場合の不適合管理の所管があいまいであった	30						
・定期安全管理審査で指摘を受けた工事計画書と「点検計画表」の相違について、H19.1に制定した「点検計画表」を工事計画書に添付する是正処置が機能していなかった	49						

根本原因分析を踏まえた直接原因 / 再発防止対策整理表

分析対象行為	項番 (注2)	直接原因(注3)	再発防止対策	完了予定 実施箇所
A 1 保修管理課は、「点検計画表」の策定時に入力不備があり、管理が困難な「点検計画表」を制定した		保修管理課は、「島根原子力発電所点検計画表作成手順書」(H17.4)に、体制・責任・権限・妥当性確認等の主要な確認項目を定めていなかった 保修管理課は、より実効的な保守管理にしたいとの思いから、手動弁等について劣化要因を考慮せず、暫定的に一律で点検周期を設定する等、可能な限りの機器を管理するよう「点検計画表」を作成した(H17.4)(現実には、管理が困難な過剰な「点検計画表」となっていた)	1. 「点検計画作成・運用手順書」の業務プロセスの改善【中間報告】 「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。	平成22年6月末 保修管理課 フォロー：品質保証センター
A 2(注1) 設備主管課及び設備主管課は、「点検計画表」制定後に見直す機会を逸した	-	・設備主管課は、定期事業者検査の実施、定期事業者検査要領書の作成及び定期点検業務の実施で業務負荷が恒常的に大きかった ・保修管理課は、設備主管課以外の保守関係業務も管理しており、多くの管理業務を担っていることから業務負荷が恒常的に大きかった	<b>根本原因 に対する対策対応</b>	-
B 1 設備主管課は、「点検計画表」とおり工事を発注しなかった	㉒	保修管理課は、一般工事に関する業務手順は定められているが、定検工事の業務実施手順については明確に定めていなかった 機器の点検項目の中に、他の項目と点検周期が異なるものがあり、視認性が悪く、「点検計画表」から見落とされた	2. 定期点検工事業務プロセスのQMS文書化 定期点検工事の業務プロセスをQMS文書化し、業務における要求事項を明確にし、業務を確実に実施する。 <b>【対策済】</b> 3. 「点検計画表」の視認性向上【中間報告】 「点検計画表」の当該機器の間違いやすい点検項目を、強調または着色することにより識別し、視認性を向上させた。 (H22.5.31)	平成22年7月末 保修管理課 品質保証センター フォロー：品質保証センター
B 2 設備主管課は、「点検計画表」とおり工事は発注したが、部品の手配等できなかった 工事が実施できなかった	㉓	工事仕様書を作成する際に、標準仕様書の様式はあったが、要求内容を確認するための資料を参照するためのルールが明確でなかった 定期検査準備作業の限られた時間の中で、交換部品の抽出ばかりに時間が割けない 設備主管課は、交換部品リストから購入仕様書へ転記する際に発注部品の見落とし	4. 「点検計画」に係る業務プロセスの改善【中間報告】 「点検計画表」に基づき、工事仕様書を作成する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 5. 交換部品発注方法の見直し 部品調達において、当社発注の必要性を再検証し、発注方法を見直すことにより業務負荷を軽減する。	平成22年6月末 保修管理課 フォロー：品質保証センター
B 3 設備主管課は、協力会社から提出される作業要領書において、工事仕様書により要求している点検内容の一部が見落とされていた		メーカーからの情報を適宜入手していなかった 取扱説明書・構造図等の部品仕様に関する図書が整備されていないかった 点検工事において調達時に必要な機器仕様に関する「電動弁点検周期表」がQMS文書として管理されていないかった 設備主管課は、協力会社から提出された作業要領書に当社の要求事項が反映されていないことを見落とし	6. 調達管理プロセスの改善【中間報告】 調達部品リストから購入仕様書(購入品明細)へ転記をする際に、ダブルチェックをし、見落としを防止する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。 7. 部品仕様に関する図書のQMS文書化【中間報告】 ・部品仕様に関する図書をQMS文書として位置づけ、管理責任者を明確にし、更新管理を行う。	平成22年7月末 品質保証センター 保修管理課 フォロー：原子力品質保証 平成22年7月末 電気保修課 フォロー：品質保証センター
			8. 調達製品の検証に係る改善【中間報告】 受注者から提出される作業要領書には、当社要求内容を明確に記載することを工事仕様書により要求するとともに、当社が工事仕様書と作業要領書の内容を確認する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。	平成22年6月末 保修管理課 フォロー：品質保証センター



分析対象行為	項番 (注2)	直接原因(注3)	再発防止対策	完了予定 実施箇所
B4 設備主管課は、「点検計画表」の記載どおり定期事業者検査の対象項目を選定しなかった		定期事業者検査要領書を作成する際に「点検計画表」に基づき作成するルールや、チェックの仕組みが明確になっていなかった	【対策済】 9. 定期事業者検査要領書を作成する際は、「点検計画表」に基づき作成すること、また「点検計画表」と点検項目の整合性についてダブルチェックすることを「定期事業者検査要領書作成の手引き」に明記した。 【対策済】 10. 「点検計画作成・運用手順書」の見直し【中間報告】定期検査で計画した点検の実績をすべて保修管理課へ報告し、保修管理課の実績入力結果は設備主管課が確認する仕組みに変更した。(H22.4.28)	要領書作成プロセスを改善し、至近の保全サイクルにおいて不適合は発生していない
C1 設備主管課は、正確な実績を「点検計画表」へ反映できなかった		保修管理課は、点検実績の報告に関するルールを明文化した際に、ヒューマンエラーの発生を考慮していなかった 当社の要求(工事仕様書)に対して実施できなかった結果を工事報告書の特記事項で明確にするよう協力会社に求めていなかった 当社の要求(工事仕様書)に対する実施結果を工事報告書で明確にするよう協力会社に求めていなかった	11. 調達製品の検証プロセスの改善【中間報告】 工事仕様書で要求した内容とその実施結果が工事報告書で併記等により対比した形で確認できるよう工事仕様書で要求することともに、当社は要求事項と実施結果(変更した場合も含む)について工事報告書により確認することを「工事業務管理手順書」に明記する。 12. 不適合管理・是正処置プロセスの改善 不適合管理検討会への持込時期について、速やかに報告することをプロセスに追加する。 13. 定期点検工事業務プロセスのQMS文書化 計画変更プロセスの明確化【中間報告】(一部を中間報告で対応) (1)定期点検工事の業務プロセスをQMS文書化し、業務における要求事項を明確にし、業務を確実に実施する。 (2)点検工事の変更に伴い点検計画表を変更する場合は、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。	平成22年6月末 保修管理課 フォロー：品質保証センター
D1 設備主管課は、不適合管理を適切に実施しなかった	24	「不適合管理・是正処置手順書」において不適合管理検討会への持込時期が不明確であった メーカーの製造中止により点検工事を中止した場合に、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった 部品仕様が不明のため点検工事を中止した場合に、当該点検工事の変更及び次回点検工事を計画する手順が明確でなかった E N Tの担当者(当社保修部門出身者)に対する不適合の判定に関する教育が不足していた 保修部門に対する不適合に関する業務に即した教育が不足していた	【対策済】 14. 不適合に関する業務に即した教育の実施 【中間報告】 保修部門において、事例に基づく不適合の判定に関する教育を行った。(教育実施：H22.5.28, 31; 手順書改正：H22.5.31) 【対策済】 15. 不適合管理に係る手順を見直し、不適合管理検討会にて審議するプロセスを追加(H20.2.1)	平成22年7月末 品質保証センター フォロー：原子力品質保証 保修管理課 フォロー：品質保証センター (2)平成22年6月末 保修管理課 フォロー：品質保証センター
25		複数の課にまたがる場合の不適合管理の所管があいまいであった	当面の処置として教育を実施した。また、定期的に教育する旨手順書に反映した	
26		当時、品質保証センターが不適合管理に関する仕組みが十分でなかった	【対策済】 16. 不適合管理、是正処置の検討の仕組みを見直し、不適合管理検討会、是正処置検討会を設置(H20.2.1)	
27		原因分析及び是正処置に係る手順が明確になっていなかった	【対策済】 17. 不適合管理、是正処置に係る手順を見直し、是正処置のレビューのプロセスを明確化(H20.2.1)、直接原因分析に係るプロセスを明確化(H20.6.1)	QMS高度化活動により不適合の判断、不適合の処理、是正処置の改善を行い、有効性が向上してきた
28		当時、不適合管理手順書において不適合管理の対象が不明確だった	【対策済】 18. QMS高度化活動において、不適合管理対象を明確化した手順書に改正(H20.2.1)	

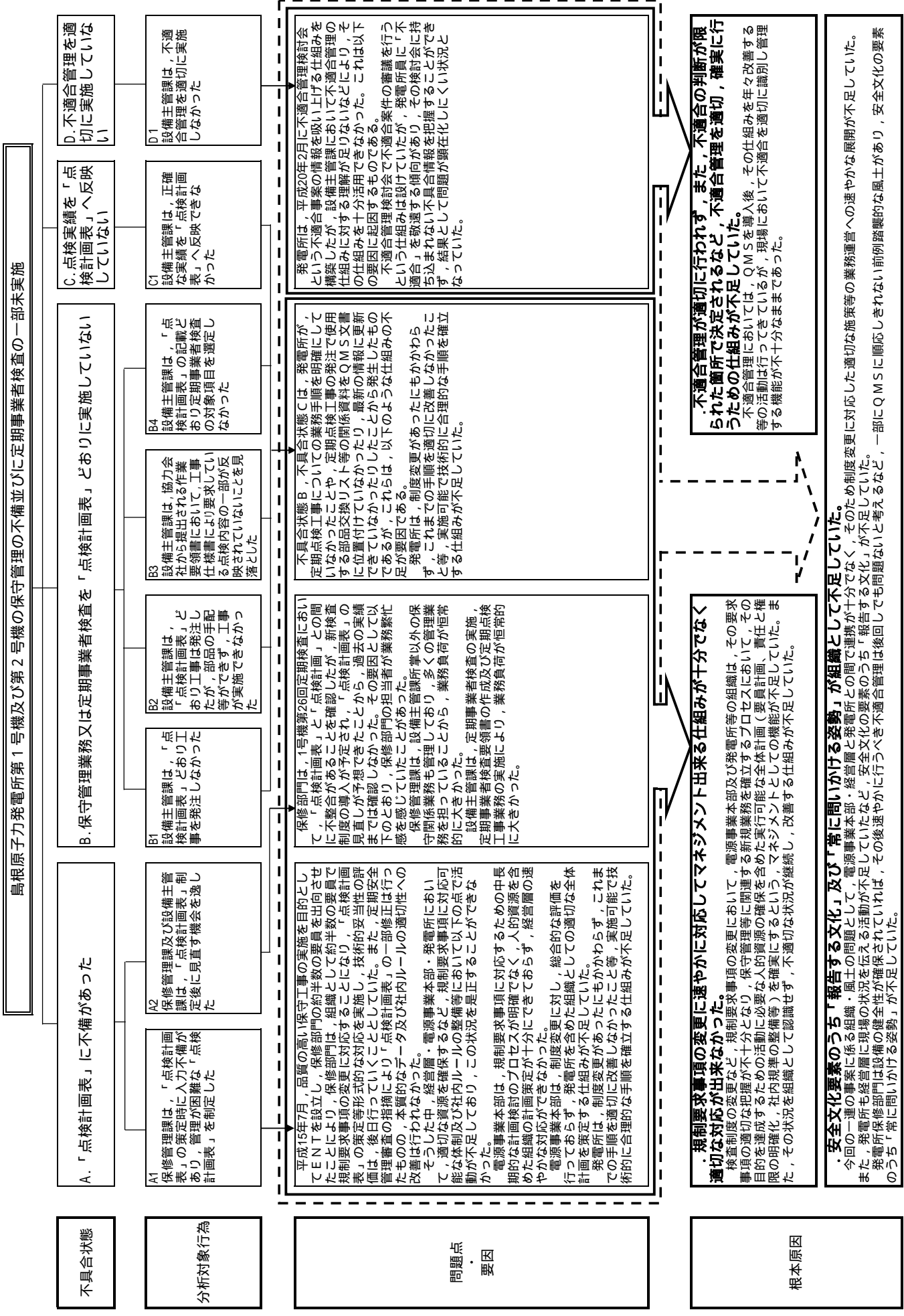
(注1)分析対象行為A2については、該当する直接原因はなく根本原因により再発防止対策を検討する。

(注2)丸数字の項番は中間報告の直接原因(原因の特定)からの通し番号としている。

(注3)直接原因の記載は根本原因分析を実施する過程で表現の適正化を実施したものがあ

根本原因分析結果

「島根原子力発電所第1号機及び第2号機の保守管理の不備並びに定期事業者検査の一部未実施」に係る事実関係を整理し、根本原因分析を実施した結果、以下の根本原因を特定した。



根本原因分析の過程で抽出された直接原因に係る対策のアクションプラン

項目	具体的内容	実施		平成22年					
		担当課	フォロー	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 点検計画作成・運用手順書の業務プロセスの改善 (中間報告)	「点検計画表」の追加・変更時は、点検内容の妥当性確認の手順をより充実するよう「点検計画作成・運用手順書」を見直す。	保修管理課	品質保証センター	完了予定	H22.6未	手順書作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
2. 定期点検工事業務プロセスのQMS文書化	定期点検工事の業務プロセスをQMS文書化し、業務における要求事項を明確にし、業務を確実に実施する。(定期点検工事の業務手順の明確化)	保修管理課 品質保証センター	品質保証センター	H22.7未		手順書改正案作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
【完了】 3. 「点検計画表」の視認性向上 (中間報告)	「点検計画表」の当該機器の間違いやすい点検項目を、強調または着色することにより識別し、殆認性を向上させた。	保修管理課 設備主管課	品質保証センター	H22.5未 完了		方法検討 各課着色実施 5/31まとめ 完了フォロー <sup>1</sup>			
4. 「点検計画」に係る業務プロセスの改善 (中間報告)	「点検計画表」に基づき、工事仕様書を作成する旨、「工業業務管理手順書」に明記する。	保修管理課	品質保証センター	H22.6未		手順書改正案作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
5. 交換部品発注方法の見直し	部品調達において、当社発注の必要性を再検証し、発注方法を見直すことにより業務負荷を軽減する。	保修管理課	品質保証センター	H22.7未		見直し案作成 レビュー		完了フォロー <sup>1</sup>	
6. 調達管理プロセスの改善 (中間報告)	調達部品リストから購入仕様書(購入品細目)へ転記をする際には、ダブルチェックをし、見落としを防止する旨、「工業業務管理手順書」に明記する。	保修管理課	品質保証センター	H22.6未		手順書作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
7. 部品仕様に関する図書のQMS文書化 (中間報告)	「電動弁点検周期表」の周期表部分を削除し、機器仕様リストをQMS文書として位置づけ、管理責任者を明確にし、更新管理を行い、誤りのない文書とする。  部品仕様に関する図書をQMS文書として位置づけ、管理責任者を明確にし、変更・更新管理を行い、継続的にメンテナンスを行う仕組みを作る。	電気 保修課	品質保証センター	H22.7未		周期表修正 QMS位置 つけ検討 関連文書改正案作成 レビュー	施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
		品質保証センター 保修管理課	原子力 品質保証	H22.7未		仕様対 象範囲検討 QMS位置 つけ検討 関連文書改正案作成 レビュー	施行 完了フォロー <sup>1</sup>		

1 教育も合わせて実施する

凡例 ■ : 実績 □ : 予定

項目	具体的内容	実施		平成22年						
		担当課	フォロー	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
8. 調達製品の検証に係る改善 (中間報告)	(1)受注者から提出される作業要領書には、当社要求内容を明確に記載することを工事仕様書により要求する。 (2)当社が工事仕様書と作業要領書の内容を確認する旨、「工事業務管理手順書」に明記する。	保修 管理課	品質保証 センター	完了 予定						
【対策済】 10.「点検計画作成・運用手順書」の見直し	定期検査で計画した点検の準備をすべて保修管理課へ報告し、保修管理課の実績入力結果は設備主管課が確認する仕組みに変更した。(平成22年3月27日暫定運用開始、「点検計画作成・運用手順書」平成22年4月28日施行)		対策済		4/28 手順書施行					
11. 調達製品の検証プロセス の改善 (中間報告)	「工事業務管理手順書」に以下の事項を規定する。 (1)工事仕様書で要求した内容とその実施結果が工事報告書で併記等により対比した形で確認できるよう工事仕様書で要求するとともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。 (2)工事仕様書の要求事項に対して変更が生じた場合には、その変更点を工事報告書に明記することを工事仕様書で要求するとともに、当社は要求事項と実施結果について工事報告書により確認する。(特記事項及び懸案事項の欄への記載項目の明確化)	保修 管理課	品質保証 センター	H22.6 未		手順書 修正案作成 協力会社 との調整 レビュー	手順書施行			
12. 不適合管理・是正処置プロセスの改善	不適合管理検討会への持込時期について、速やかに報告することをプロセスに追加する。	品質保証 センター	原子力 品質保証	H22.7 未		手順書 修正案作成 レビュー	手順書施行			
13. 定期点検工事業務プロセス のOMS文書化 [計画変更プロセスの明確化] (一部を中間報告で対応)	(1)定期点検工事の業務プロセスをOMS文書化し、業務を中止した場合の明確化を明確にし、業務を確実に実施する。(工事を中止した場合の手順の明確化) (2)点検工事の変更に伴い「点検計画表」を変更する場合、「点検計画作成・運用手順書」に従う旨、「工事業務管理手順書」に明記する。(中間報告対応分)	保修 管理課	品質保証 センター	(1) H22.7 未  (2) H22.6 未		手順書 修正案作成 レビュー	手順書施行			
【完了】 14. 不適合に関する業務に即 した教育の実施 (中間報告)	保修部門において、事例に基づく不適合の判定に関する教育を行った。	保修 管理課	品質保証 センター	H22.5 未 完了		計画 策定 実施 5/28 \$/31 完了	完了 フォロー			

1 教育も合わせて実施する  
凡例 ■ : 実績 □ : 予定

保守管理の実施状況の総点検で確認された事案の直接原因に係る対策のアクションプラン

項目	具体的内容	実施		完了予定	平成22年					
		担当課	フォロー		4月	5月	6月	7月	8月	9月
19. 保全計画の策定プロセスの改善	保安運営委員会の審議が終了していることを確認できること及び判断基準を明確にするよう、「点検計画・点検計画表策定・変更書」の様式を見直す。	保修管理課	品質保証センター	H22.7未			手順書改正案作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
20. 保全計画書の作成プロセスの改善	「点検計画表」から保全計画へ転記をする際には、ダブルチェックをし、見落としを防止する旨QMS文書に明記する。	保修管理課	品質保証センター	H22.7未			手順書改正案作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		
21. 保全の実施プロセスの改善	物品検収時に行う、受入検査完了の押印、納品書の受領及び物品検収報告書の作成に落ちがないようチェックシートにより確認する旨「工事業務管理手順書」に明記する。	保修管理課	品質保証センター	H22.7未			手順書改正案作成 レビュー	手順書施行 完了フォロー <sup>1</sup>		

1 教育も合わせて実施する

根本原因に係る対策のアクションプラン

根本原因	目的	取組み内容	主管箇所	実施時期	H22年度												H23年度
					6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度		
<p>規制要求事項の変更に速やかに対応してマネジメントで適切な対応が出来なかった。</p>	<p>【原子力部門の業務運営の仕組み強化】</p> <p>規制要求等の状況変化に速やかに対応し、適切にマネジメントできる仕組みを強化する。</p>	<p>1. 経営層・電源事業本部のマネジメント機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子力部門の重要課題を統括し計画を検討する組織として、部長（原子力）を主筆とする「課題検討会議（仮称）」を設置し、人的資源も考慮して組織として計画策定を行う。計画策定にあたっては、現状の保安活動における課題・問題点を把握し、その適切な処置についても検討を行う。</li> <li>重要課題毎のワーキンググループを設置し、活動計画を年度の業務運営方針に反映させるとともに、定期的に活動の有効性を評価する。活動状況は電源事業本部運営会議に報告するとともに、必要に応じて経営会議に対して報告を行い、その指示を各ワーキンググループの活動に反映する。</li> <li>原子力安全情報については、別途設置する原子力安全情報検討会（仮称）からの情報を統括し、原子力部門全体の課題を把握し計画を検討する。</li> </ul> <p>2. 電源事業本部と発電所が連携してマネジメントする機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制度変更に対しては、電源事業本部が総合的な評価を行い、発電所を含めた組織としての適切な全体計画を作成するとともに、発電所が十分に実行可能で技術的に合理的な手順を確立するよう、電源事業本部マネージャー（原子力運営担当）を主筆とする「原子力安全情報検討会（仮称）」を設置し、個別の検討課題に応じて、電源事業本部と発電所が連携してPDCAを廻す。</li> <li>活動状況は、定期的に課題検討会議へ報告する。</li> <li>発電所の統括機能を強化し責任体制を明確にするため、品質保証部門及び保修部門の各関係課を統括する「部」を平成22年10月1日までに新設し、部長を設置する。</li> </ul>	<p>電源事業本部 原子力総括担当</p> <p>平成22年8月 運用開始予定</p>	<p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>原子力安全文化醸成懇談会への インプット</p> <p>詳細プロセスの検討 マニキュアル改正 (運用開始)</p> <p>原子力安全情報検討会の活動展開</p> <p>課題検討会議の活動展開</p> <p>品質保証部門及び保修部門の 各関係課を統括する「部」を新設</p>	<p>活動レビュー</p>											
<p>不適合管理が適切に行われず、また、不適合の判断が限られた箇所で行ったため、不適合管理プロセスを改善する。</p>	<p>【不適合管理プロセスの改善】</p> <p>不適合管理が適切に行われ、また、不適合の判断が限られた箇所で行ったため、不適合管理プロセスを改善する。</p>	<p>不適合管理プロセスの改善</p> <p>ステップ1</p> <p>不適合管理は、既存の懸案管理システムからの情報や工事中の不具合速報について、全てを「不適合判定検討会（現行の不適合管理係検討会）に変えて設置（仮称）」に持ち込み、品質保証センターを含む関係各課のメンバーにより処置（不適合管理の要否、不適合管理グレード等）を決定する仕組みに変更する。なお、不適合を担当者が迷うことなく適切に不適合判定検討会に持ち込むことが出来るよう、発電所の要員に対し、平成22年7月末を目途に、不適合管理の必要性や基準について実務に即した教育を実施する。</p> <p>また、より確実な業務管理を行うため、平成22年6月末を目途に、発電所の品質保証センター内に不適合管理業務を専任で行う担当を設置する。なお、全ての不適合情報を公開する。</p> <p>ステップ2</p> <p>開発中の「統合型保全システム」を活用して、担当者が迷うことなくシステム登録する運用に変更する。（平成23年度運用変更予定）</p>	<p>発電所 品質保証センター 電源事業本部 原子力品質保証</p> <p>平成22年8月 運用開始予定</p> <p>平成23年度 運用変更予定</p>	<p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>不適合管理教育</p> <p>不適合管理システム検討 (運用開始(試行))</p> <p>マニキュアル改正</p> <p>正式運用開始・統合型保全システムを活用した運用検討</p> <p>マニキュアル改正 (運用変更)</p> <p>活動レビュー</p>												
<p>【原子力安全文化醸成活動の推進】</p> <p>「報告する文化」や「常に問いかける姿勢」の浸透が十分でなかったことと着目し、具体的な活動を推進していく。</p> <p>また、経営における原子力の重要性や地域社会の視点からの安全文化の大切さを全社（関係会社・協力会社を含む。）で醸成する活動を推進する。</p>	<p>【原子力安全文化醸成活動の推進】</p> <p>「報告する文化」や「常に問いかける姿勢」の浸透が十分でなかったことと着目し、具体的な活動を推進していく。</p> <p>また、経営における原子力の重要性や地域社会の視点からの安全文化の大切さを全社（関係会社・協力会社を含む。）で醸成する活動を推進する。</p>	<p>「原子力強化プロジェクト」</p> <p>「報告する文化」や「常に問いかける姿勢」を中心に、原子力安全文化を一層醸成する施策を検討し、今後の活動計画を策定の上、安全文化醸成活動を推進する。</p> <p>「原子力安全文化醸成懇談会（仮称）」</p> <p>原子力強化プロジェクトからの報告を受け、第三者の視点から原子力強化プロジェクトの施策の検討事項に対する提言を行う。</p> <p>「原子力安全文化の日」の制定</p> <p>このたびの事態を厳粛に受け止め、今後二度と同じことを繰り返さないため、経営における原子力の重要性や地域社会の視点に立った安全文化の大切さを全社で共有し、再確認する。</p> <p>地元の方々との対話活動の充実</p> <p>地元の方々と直接対話することにより、「地域に対し一人ひとりが約束を果たし続ける」という地域視点意識の向上</p>	<p>原子力強化プロジェクト</p> <p>原子力強化プロジェクト</p> <p>原子力強化プロジェクト</p> <p>鳥根 原子力本部</p> <p>平成22年 6月末設置 予定</p> <p>平成22年 6月末設置 予定</p> <p>毎年 6月3日 (最終報告書 提出日)</p> <p>平成22年 7月活動開始 予定</p>	<p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>プロジェクト 設置</p> <p>活動計画確定</p> <p>安全文化醸成活動の展開</p> <p>懇談会設置 (時期未定)</p> <p>懇談会開催 (時期未定)</p> <p>懇談会開催 (時期未定)</p> <p>行事の実施 (毎年)</p> <p>「見学会」の対応・同席、「地元戸別訪問」等への参加</p>												

# 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根1号機】 クラス1

(注)No. 26までは、平成22年3月30日報告分

No	分類	系統	重要度分類	機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	照合結果		備考
								「点検計画表」に記載された至近の点検(誤りがあった記載)	至近の点検/取替実績	
1	弁	原子炉補機海水系 (RSW)	クラス1	V15-32A (手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁 (冷却油冷却器冷却水/海水) 出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第25回定検 (取替)	
2	弁	原子炉補機海水系 (RSW)	クラス1	V15-32B (手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁 (冷却油冷却器冷却水/海水) 出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第23回定検	
3	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-105A (手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
4	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-105B (手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
5	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-112A (手動弁)	メカシールラッシュング水元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
6	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-112B (手動弁)	メカシールラッシュング水元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
7	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-113A (手動弁)	潤滑水調整弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
8	弁	炉心スプレイ系 (RCS)	クラス1	V23-113B (手動弁)	潤滑水調整弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (漏えい確認)	
9	弁	高圧注水系 (HPCI)	クラス1	V24-138 (手動弁)	潤滑油元弁	分解点検	130M	22回定検	-	
10	弁	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス1	AV26-1A (空気作動弁)	SGT連絡弁 (R/B連絡弁)	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)	12年度 (22回定検)	
11	弁	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス1	AV26-2A (空気作動弁)	SGT処理装置 (ファン) 入口弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)	12年度 (22回定検)	
12	弁	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス1	AV26-3A (空気作動弁)	SGT処理装置 (ファン) 出口弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)	12年度 (22回定検)	
13	弁	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス1	V26-23A (手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)	-	
14	弁	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス1	V26-23B (手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)	-	
15	弁	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス1	V64-3 (手動弁)	C-冷凍機冷却水入口弁	分解点検	10Y	15年度	-	
16	弁	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス1	V64-4 (手動弁)	C-冷凍機冷却水出口弁	分解点検	10Y	15年度	-	
17	弁	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス1	V64-20 (手動弁)	B-冷凍機補給水元弁	分解点検	10Y	15年度	-	
18	弁	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス1	V64-21 (手動弁)	C-冷凍機補給水元弁	分解点検	10Y	15年度	-	
19	弁	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	クラス1	V80-8A (手動弁)	一次水空気抜弁 (DEG-一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	分解点検	130M	22回定検	13回定検	
20	弁	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	クラス1	V80-8B (手動弁)	一次水空気抜弁 (DEG-一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	分解点検	130M	22回定検	15回定検 (取替)	
21	弁	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	クラス1	V80-308B (手動弁)	自動始動系手動始動系連絡弁 (自動始動用空気槽からの手動始動弁)	分解点検	130M	22回定検	17回定検 (取替)	
22	弁	高圧注水系 (HPCI)	クラス1	IMV24-2(M) (電動弁)	HPCI蒸気外側隔離弁用電動機	駆動用電動機の分解点検	130M	26回定検	16回定検	

## 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

## 【島根1号機】クラス1

(注)No. 26までは、平成22年3月30日報告分

No	分類	系統	重要度分類	照合結果				至近の点検/取替実績	備考
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度		
23	電源盤	中性子計装系 (NMS)	クラス1	中間領域計測装置	強 (RM)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検
24	電源盤	中性子計装系 (NMS)	クラス1	出力領域計測装置	強 (APRM, RBM, FLOW)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検
25	計器類	プロセス放射線モニタ系 (PRM)	クラス1	電離箱型モニタ (主蒸気モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	27回定検	23回定検
26	計器類	プロセス放射線モニタ系 (PRM)	クラス1	電離箱型モニタ (原子炉建物排気モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	28回定検	24回定検
27	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用ロードセントラ母線 (1C-L/C)	導体	絶縁抵抗測定	2C	28回定検	26回定検
28	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用ロードセントラ母線 (1D-L/C)	導体	絶縁抵抗測定	2C	27回定検	26回定検



## 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根1号機】クラス2

(注)No.3までは、平成22年3月30日報告分

No	分類	系統	重要度分類	照会結果				至近の点検/取替実績	備考
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度		
1	ポンプ	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	原子炉浄化補助ポンプ(P13-2)	メカニカルシール/冷却器	清掃・目視検査 パッキン取替 空圧試験	52M	25回定検 (冷却器交換)	22回定検 (冷却器交換)
2	電源盤	中性子計装系(NMS)	クラス2	中性子源領域計測装置	盤(SRM)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検
3	その他	燃料プール冷却系(FPC)	クラス2	使用済燃料貯蔵プール(TK16-3)(プールゲート)	プールゲート	パッキン取替	3C	28回定検	25回定検(取替)
4	計器類	残留熱除去系(RHR)	クラス2	電源箱 (E/S22-1)	電源ユニット	ヒューズ取替	39M	25回定検	22回定検
5	計器類	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	クラス2	電源箱 (E/S29-1,2)	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検	19回定検
6	計器類	原子炉圧力容器系(RVS)	クラス2	電源箱 (E/S38-1,2)	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検	18回定検
7	計器類	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	クラス2	電子式変換器 (H21/129-107/O21/129-108)	電子式変換器	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検	19回定検

## 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは,平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
1	原子炉浄化系 (CUW)	クラス3	RV13-3(逃し弁)	CUW循環ポンプ入口逃し弁	分解点検	130M	23回定検
2	原子炉浄化系 (CUW)	クラス3	RV13-5(逃し弁)	CV13-2出口逃し弁 (CV13-2:CUWフィルタ流量調節弁)	分解点検	130M	26回定検
3	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	クラス3	RV21-501(安全弁)	主油ポンプ出口安全弁 (RCICタービンの油系統の安全弁)	分解点検	130M	16回定検
4	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	クラス3	RV21-502(安全弁)	潤滑油油冷却器出口安全弁 (RCICタービンの油系統の安全弁)	分解点検	130M	16回定検
5	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-4B(手動弁)	DOP第1注入弁	分解点検	6Y	18年度 (26回定検)
6	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-7A(手動弁)	DOP第2注入弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
7	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-8A(手動弁)	DOP第2上流採取弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
8	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-9A(手動弁)	DOP第2下流採取弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
9	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-9B(手動弁)	DOP第2下流採取弁	分解点検	6Y	18年度 (26回定検)
10	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	RV61-1A(安全弁)	A-R/B給気隔離弁 (AV61-1A)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	24回定検
11	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	RV61-1B(安全弁)	B-R/B給気隔離弁 (AV61-1B)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	24回定検
12	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	RV61-2A(安全弁)	A-R/B排気隔離弁 (AV61-3A)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	24回定検
13	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	RV61-2B(安全弁)	B-R/B排気隔離弁 (AV61-3B)用アキュムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	24回定検
14	原子炉補機冷却系 (RCW)	ノンクラス	V14-81A(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁 (仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	26回定検
15	原子炉補機冷却系 (RCW)	ノンクラス	V14-81C(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁 (仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	26回定検
16	原子炉補機冷却系 (RCW)	ノンクラス	V14-81B(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁 (仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	27回定検
17	原子炉補機冷却系 (RCW)	ノンクラス	V14-81D(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁 (仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	分解点検	130M	27回定検
18	原子炉補機海水系 (RSW)	ノンクラス	V15-89A(手動弁)	冷却水熱交換器入口配管ブロー弁 (RCW熱交換器入口のドレン弁)	分解点検	65M	24回定検
19	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-501(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ入口圧力計元弁 (RCICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検
20	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-502(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ入口圧力計元弁 (RCICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検
21	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-503(手動弁)	潤滑油油冷却器出口圧力計元弁 (RCICタービン油系の圧力計元弁)	分解点検	130M	17回定検
22	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-505B(手動弁)	配管エアバント弁 (RCIC油系のエアバント弁)	分解点検	130M	17回定検
23	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-506A(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ差圧スイッチ元弁	分解点検	130M	25回定検
24	原子炉隔離時冷却系 (RCIC)	ノンクラス	V21-506B(手動弁)	潤滑油ダブルストレーナ差圧スイッチ元弁	分解点検	130M	25回定検
25	炉心スプレイ系 (RCS)	ノンクラス	V23-114B(手動弁)	潤滑水圧力計元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検
26	炉心スプレイ系 (RCS)	ノンクラス	V23-115A(手動弁)	潤滑水圧力計元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検
27	炉心スプレイ系 (RCS)	ノンクラス	V23-115B(手動弁)	潤滑水圧力計元弁 (RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	分解点検	130M	28回定検
28	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-11B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	分解点検	6Y	18年度 (26回定検)
29	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-12B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	分解点検	6Y	18年度 (26回定検)
30	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-13A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
31	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-14A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
32	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-17B(手動弁)	前置高性能フィルタ差圧計元弁	分解点検	6Y	18年度 (26回定検)
33	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-18A(手動弁)	活性炭フィルタ差圧計元弁	分解点検	6Y	17年度 (25回定検)
34	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-24(手動弁)	ドレン弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)
35	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-200A(手動弁)	排風機ドレン弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)
36	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-200B(手動弁)	排風機ドレン弁	分解点検	6Y	16年度 (25回定検)
37	可燃性ガス濃度制御系 (CAD)	ノンクラス	V29-59(手動弁)	真空排気弁 (CADコールドエバポレータ真空排気弁)	分解点検	130M	28回定検

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
38	可燃性ガス濃度制御系 (CAD)	ノンクラス	V29-60(手動弁)	真空計元弁	分解点検	130M	28回定検
39	制御建物空調換気系 (HVC)	ノンクラス	V64-1002(手動弁)	B-冷凍機冷却水入口ベント弁	分解点検	10Y	15年度
40	制御建物空調換気系 (HVC)	ノンクラス	V64-1003(手動弁)	C-冷凍機冷却水入口ベント弁	分解点検	10Y	15年度
41	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	ノンクラス	V80-1004B(手動弁)	一次水冷却器出口ドレン弁	分解点検	130M	28回定検
42	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	ノンクラス	V80-1006A(手動弁)	一次水冷却器ドレン弁	分解点検	130M	28回定検
43	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	ノンクラス	V80-1006B(手動弁)	一次水冷却器ドレン弁	分解点検	130M	28回定検
44	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	ノンクラス	V80-1009A(手動弁)	潤滑油冷却器ドレン弁	分解点検	130M	28回定検
45	非常用ディーゼル発電機系 (DEG)	ノンクラス	V80-1009B(手動弁)	潤滑油冷却器ドレン弁	分解点検	130M	27回定検
46	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-1A	デミスタドレン弁	分解点検	6Y	17年度
47	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-2A	復水元弁	分解点検	6Y	17年度
48	非常用ガス処理系 (SGT)	クラス3	V26-2B	復水元弁	分解点検	6Y	16年度
49	排ガス処理系 (OFG)	クラス3	V51-14A	A-排ガスフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
50	排ガス処理系 (OFG)	クラス3	V51-14B	B-排ガスフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
51	排ガス処理系 (OFG)	クラス3	V51-23A	A-排ガスフィルタ入口弁	分解点検	6Y	16年度
52	排ガス処理系 (OFG)	クラス3	V51-23B	B-排ガスフィルタ入口弁	分解点検	6Y	16年度
53	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	BL57-1A	A-排ガスパロウ	液体浸透探傷検査(歯車)	39M	28回定検
54	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	BL57-1B	B-排ガスパロウ	液体浸透探傷検査(歯車)	39M	28回定検
55	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-12	吸着塔出口弁	分解点検	6Y	16年度
56	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-6	吸着塔入口弁	分解点検	6Y	16年度
57	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-7A	A-ブロウフィルタ入口弁	分解点検	6Y	16年度
58	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-7B	B-ブロウフィルタ入口弁	分解点検	6Y	16年度
59	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-8A	A-ブロウフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
60	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-8B	B-ブロウフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
61	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-9A	A-排ガスパロウ入口弁	分解点検	6Y	16年度
62	希ガスホールドアップ系 (RGH)	クラス3	V57-9B	B-排ガスパロウ入口弁	分解点検	6Y	16年度
63	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-112	RW/B OA処理ヒータ調節弁前弁	分解点検	6Y	19年度
64	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-113	RW/B OA処理ヒータ調節弁後弁	分解点検	6Y	19年度
65	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-115	RW/B外気処理ヒータドレントラップ入口弁	分解点検	6Y	19年度
66	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-116	RW/B外気処理ヒータドレントラップ出口弁	分解点検	6Y	19年度
67	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-144	ドレントラップ出口弁	分解点検	6Y	20年度
68	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-155	蒸気ヘッドトラップ入口弁	分解点検	6Y	20年度
69	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-173	RW/B1FLドレントラップ入口弁	分解点検	6Y	16年度
70	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-174	RW/B1FLドレントラップ出口弁	分解点検	6Y	18年度
71	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-241	RW/B中央空調器入口弁	分解点検	6Y	20年度
72	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-242	R/B外気処理ヒータ入口弁1	分解点検	6Y	19年度
73	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-243	R/B外気処理ヒータ入口弁2	分解点検	6Y	19年度
74	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-244	凝縮ドレン逆止弁	分解点検	6Y	19年度
75	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-260	RW/B OA処理ヒータ入口弁2	分解点検	6Y	19年度
76	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-267B	B空調器ヒータ入口弁1	分解点検	6Y	19年度

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
77	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-267C	C空調器ヒータ入口弁1	分解点検	6Y	19年度
78	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-268B	B空調器ヒータ入口弁2	分解点検	6Y	19年度
79	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-268C	C空調器ヒータ入口弁2	分解点検	6Y	19年度
80	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-271	空調器ヒータ入口弁1	分解点検	6Y	19年度
81	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-272	空調器ヒータ入口弁2	分解点検	6Y	19年度
82	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-286	ヒータドレントラップ出口逆止弁	分解点検	6Y	19年度
83	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-2B	B所内蒸気ヘッド入口減圧弁後弁	分解点検	6Y	18年度
84	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-38	RW/B空調器蒸気減圧弁前弁	分解点検	6Y	17年度
85	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-61A	A-RW/Bドレン回収ポンプ出口逆止弁	分解点検	6Y	18年度
86	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-61B	B-RW/Bドレン回収ポンプ出口逆止弁	分解点検	6Y	16年度
87	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-62A	RW/Bドレンポンプ回収ポンプA出口弁	分解点検	6Y	16年度
88	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-62B	RW/Bドレン回収ポンプB出口弁	分解点検	6Y	16年度
89	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-80B	B空調器ヒータ調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
90	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-80C	C空調器ヒータ調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
91	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-81B	B空調器ヒータ調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
92	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-81C	C空調器ヒータ調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
93	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-83B	空調器ヒータドレントラップ前弁	分解点検	6Y	19年度
94	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-83C	空調器ヒータドレントラップ前弁	分解点検	6Y	19年度
95	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-84B	空調器ヒータドレントラップ後弁	分解点検	6Y	19年度
96	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-84C	空調器ヒータドレントラップ後弁	分解点検	6Y	19年度
97	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-86B	B空調器加湿調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
98	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-86C	C空調器加湿調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
99	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-87	空調器ヒータ調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
100	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-87B	B空調器加湿調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
101	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-87C	C空調器加湿調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
102	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-88	空調器ヒータ調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
103	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-90	ドレントラップ後弁	分解点検	6Y	19年度
104	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-93	空調器加湿調整弁前弁	分解点検	6Y	19年度
105	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-94	空調器加湿調整弁後弁	分解点検	6Y	19年度
106	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-94-1	R/B外気処理ヒータ調節弁前弁	分解点検	6Y	19年度
107	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-95-1	R/B外気処理ヒータ調節弁後弁	分解点検	6Y	19年度
108	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-97	R/B外気処理ヒータ出口ドレントラップ前弁	分解点検	6Y	19年度
109	所内蒸気系 (HS)	クラス3	V75-98	R/B外気処理ヒータ出口ドレントラップ後弁	分解点検	6Y	19年度
110	所内蒸気系 (HS)	クラス3	AV175-012	ストブロー主塞止弁	分解点検	78M	13年度
111	所内蒸気系 (HS)	クラス3	AV175-005	オーバーフロー弁	分解点検	78M	13年度
112	所内蒸気系 (HS)	クラス3	RV75-1100	H5蒸気加熱コイル入口安全弁	分解点検	6Y	17年度
113	所内蒸気系 (HS)	クラス3	TK175-2	蒸気だめ	開放点検	2Y	20年度
114	所内蒸気系 (HS)	クラス3	配管継手部(ガンバクト)	配管・サポート	漏えい確認	5Y	21年度

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
115	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用ロードセンタ母線 (1A-L/C)	導体	絶縁抵抗測定	2C	28回定検
116	消火系 (FP)	クラス3	変圧器消火装置	自動ピストン弁 電磁弁 変圧器消火装置制御盤	スペースヒータ絶縁抵抗の確認, 断線有無の確認	1C	28回定検
117	発電機密封油系 (GSO)	クラス3	密封油制御装置電磁弁SV32-1	電磁弁	絶縁抵抗の確認, 電磁弁動作の確認	1C	28回定検
118	燃料プール冷却系 (FPC)	クラス3	電源箱	電源ユニット	ヒューズ取替	39M	25回定検
119	プロセス放射線モニタ系 (PRM)	クラス3	電子式記録計	打点式(HB)	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 8Y	26回定検 28回定検
120	原子炉圧力容器系 (RVS)	クラス3	電子式記録計	ペン書式	モータベアリング1取替 モータベアリング2取替	39M	26回定検
121	中性子計装系 (NMS)	クラス3	移動型計測装置	駆動装置	ヒューズ取替 電磁弁・減圧弁・逃し弁取替	52M 5C	27回定検 28回定検
122	サンプリング系 (SAM)	クラス3	電子式記録計	ハイブリッド記録計	紙送りモータ取替 プロッタキャリッジ取替 プロッタモータ取替 レバー取替 ペンサー取替 ヒューズ取替	65M 65M 65M 65M 65M 65M 26M	27回定検
123	サンプリング系 (SAM)	クラス3	電子式記録計	ハイブリッド記録計	チャートモータ取替	65M	26回定検
124	プロセス放射線モニタ系 (PRM)	クラス3	プロセスモニタサンプリング ラック	サンプリング装置	真空ポンプ・モーター取替 サンプリングポンプ・モーター取替 電磁弁取替 シーケンサ本体取替 冷却ファン	15C 15C 5C 8Y 5C	26回定検
125	エリア放射線モニタ系 (ARM)	クラス3	エリア放射線モニタ	対数線量率計	検出器及び前置増幅器電解コンデンサ・リレー 直流電源ユニットヒューズ シーケンサヒューズ 現場補助ユニットランプ	8Y 4C 4C 3C	26回定検 26回定検 27回定検 27回定検
126	計装用圧縮空気系 (IA)	クラス3	空気除湿器制御盤	空気除湿器	タイマ取替	8Y	26回定検
127	固体廃棄物処理系 (RWS)	クラス3	スラッジ貯蔵タンクセクタ水圧力調節弁	調節弁	パイロトリレーの取替 ダイヤフラム取替, シール用Oリング取替	52M	26回定検
128	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	R/B排風機出口調節ダンパ	調節弁	パイロトリレーの取替	65M	26回定検
129	原子炉建物空調換気設備系 (HVR)	クラス3	R/B排風機出口調節ダンパ	調節弁	パイロトリレーの取替	65M	26回定検
130	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス3	制御室入口調節ダンパ	調節弁	開閉時間測定 ストローク調整 異音点検 開始圧力 弁動作試験 動作試験 調整	1C	28回定検
131	制御建物空調換気系 (HVC)	クラス3	制御室入口調節ダンパ	調節弁	開閉時間測定 ストローク調整 異音点検 開始圧力 弁動作試験 動作試験 調整	1C	28回定検
132	野外放射線モニタ系 (ERM)	クラス3	電力ケーブル	ケーブル	絶縁抵抗測定	2C	27回定検
133	野外放射線モニタ系 (ERM)	クラス3	電源変圧器盤	変圧器盤	絶縁抵抗測定	2C	25回定検
134	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-3A	フロン注入弁	分解点検	6Y	17年度
135	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-4A	DOP第1注入弁	分解点検	6Y	17年度
136	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-5A	DOP第1上流採取弁	分解点検	6Y	17年度
137	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-6A	DOP第1下流採取弁	分解点検	6Y	17年度
138	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-11A	差圧発信器(dpx26-1A)元弁	分解点検	6Y	17年度
139	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-12A	差圧発信器(dpx26-1A)元弁	分解点検	6Y	17年度
140	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-16A	差圧計(dpl26-2A)元弁	分解点検	6Y	17年度
141	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-17A	差圧計(dpl26-3A)元弁	分解点検	6Y	17年度
142	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-21A	差圧計(dpl26-5A)元弁	分解点検	6Y	17年度
143	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	V26-22A	差圧計(dp26-5A)元弁	分解点検	6Y	17年度
144	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	FZ57-1A	希ガス冷凍機(A)	圧力計, 温度計校正	52M	28回定検
145	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	FZ57-1B	希ガス冷凍機(B)	圧力計, 温度計校正	52M	28回定検
146	液体廃棄物処理系 (RWL)	ノンクラス	海水ビット	海水ビット	内面確認	5C	26回定検

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
147	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	屋外配管ダクト内配管およびサポート	配管・サポート	漏えい確認	5Y	21年度
148	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	AV51-14A	A-排ガス貯蔵タンク出口弁	分解点検	6Y	16年度
149	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	AV51-14B	B-排ガス貯蔵タンク出口弁	分解点検	6Y	16年度
150	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	AV51-8A	A-排ガス貯蔵タンク入口弁	分解点検	6Y	16年度
151	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	AV51-8B	B-排ガス貯蔵タンク入口弁	分解点検	6Y	16年度
152	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	AV51-8D	D-排ガス貯蔵タンク入口弁	分解点検	6Y	16年度
153	希ガスホールドアップ系(RGH)	ノンクラス	BL57-1C	C-排ガスブロウ(起動用)	液体浸透探傷検査(歯車)	65M	28回定検
154	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	BL59-1	燃焼用送気ブロウ	液体浸透探傷検査(軸)	6Y	17年度
155	水ろ過・純水設備系(OTB)	ノンクラス	CM83-3B	B-純水装置用空気圧縮機	分解点検	4Y	18年度
156	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	CV76-2102	C/F逆洗空気減圧弁	分解点検	2Y	20年度
157	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	DM59-1	使用済樹脂入口バルブ	分解点検(エアシリンダ)	6Y	19年度
158	タービン建物空調換気系(HVT)	ノンクラス	HVRF-621A	A-タービン建物冷凍機	蒸発器膨張弁取替	4Y	18年度
159	タービン建物空調換気系(HVT)	ノンクラス	HVRF-621B	B-タービン建物冷凍機	蒸発器膨張弁取替	5Y	18年度
160	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	OT59-3	雑固体破砕機	フィンリロー取替	6Y	19年度
161	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	OT59-31	使用済樹脂供給機	分解点検	6Y	17年度
162	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	OT59-8	焼却炉灰冷却ボックス	分解点検(エアシリンダ)	2Y	21年度
163	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	OT59-9	焼却炉グローブボックス	分解点検(エアシリンダ)	2Y	21年度
164	復水系(CW)	ノンクラス	RV03-1902	デミネ混合用空気槽安全弁	分解点検	13M	28回定検
165	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	TK59-1	廃油タンク	パッキン取替	4Y	21年度
166	復水系(CW)	ノンクラス	V03-96A	第2Aヒータ水室ベント弁	分解点検	78M	27回定検
167	燃料プール冷却系(FPC)	ノンクラス	V16-1052	フィルタ出口サンプリング元弁	分解点検	6Y	27回定検
168	タービンヒータドレン系(THD)	ノンクラス	V44-45A	第3Aヒータ常用水位調節弁後ドレン弁	分解点検	78M	28回定検
169	タービンヒータドレン系(THD)	ノンクラス	V44-45B	第3Bヒータ常用水位調節弁後ドレン弁	分解点検	78M	28回定検
170	タービンヒータドレン系(THD)	ノンクラス	V44-46A	第2Aヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	分解点検	78M	28回定検
171	タービンヒータドレン系(THD)	ノンクラス	V44-46B	第2Bヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	分解点検	78M	28回定検
172	タービンヒータドレン系(THD)	ノンクラス	V44-48B	第1Bヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	分解点検	78M	28回定検
173	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-84A	貯蔵タンクドレンポット出口弁	分解点検	6Y	17年度
174	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-84B	貯蔵タンクドレンポット出口弁	分解点検	6Y	17年度
175	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-84C	貯蔵タンクドレンポット出口弁	分解点検	6Y	17年度
176	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-84D	貯蔵タンクドレンポット出口弁	分解点検	6Y	17年度
177	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-85A	液面発信器元弁(LX51-3A)	分解点検	6Y	17年度
178	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-85B	液面発信器元弁(LX51-3B)	分解点検	6Y	17年度
179	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-85C	液面発信器元弁(LX51-3C)	分解点検	6Y	17年度
180	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-85D	液面発信器元弁(LX51-3D)	分解点検	6Y	17年度
181	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-86A	液面発信器元弁(LX51-3A)	分解点検	6Y	17年度
182	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-86B	液面発信器元弁(LX51-3B)	分解点検	6Y	17年度
183	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-86C	液面発信器元弁(LX51-3C)	分解点検	6Y	17年度
184	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	V51-86D	液面発信器元弁(LX51-3D)	分解点検	6Y	17年度
185	希ガスホールドアップ系(RGH)	ノンクラス	V57-19A	dPIS57-3元弁(A)	分解点検	6Y	16年度

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
186	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-19B	dPIS57-3元弁(B)	分解点検	6Y	16年度
187	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-20A	dPIS57-3元弁(A)	分解点検	6Y	16年度
188	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-20B	dPIS57-3元弁(B)	分解点検	6Y	16年度
189	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-21A	dPIS57-4元弁	分解点検	6Y	16年度
190	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-21B	dPIS57-4元弁	分解点検	6Y	16年度
191	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-22	吸着塔入口ドレン弁	分解点検	6Y	16年度
192	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-23	吸着塔出口サンプリング元弁	分解点検	6Y	16年度
193	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-24A	dPIS57-5元弁	分解点検	6Y	16年度
194	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-24B	dPIS57-5元弁	分解点検	6Y	16年度
195	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-25	PIC57-2AB元弁	分解点検	6Y	16年度
196	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-26	PX57-2元弁	分解点検	6Y	16年度
197	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-27	PI57-3元弁	分解点検	6Y	16年度
198	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-29A	dPIS57-2A元弁	分解点検	6Y	16年度
199	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-29B	dPIS57-2B元弁	分解点検	6Y	16年度
200	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-2A	A-除湿冷却器入口弁	分解点検	6Y	16年度
201	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-2B	B-除湿冷却器入口弁	分解点検	6Y	16年度
202	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-301	テスト用(チャコールフィルタ入口)	分解点検	6Y	16年度
203	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-302	テスト用(チャコールフィルタ出口)	分解点検	6Y	16年度
204	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-30A	LS57-1A元弁	分解点検	6Y	16年度
205	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-30B	LS57-1B元弁	分解点検	6Y	16年度
206	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-31A	LS57-1A元弁	分解点検	6Y	16年度
207	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-31B	LS57-1B元弁	分解点検	6Y	16年度
208	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-32A	A-除湿冷却器ドレン弁	分解点検	6Y	16年度
209	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-32B	B-除湿冷却器ドレン弁	分解点検	6Y	16年度
210	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-33A	A-気水分離器ドレン弁	分解点検	6Y	16年度
211	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-33B	B-気水分離器ドレン弁	分解点検	6Y	16年度
212	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-38A	A-サンドフィルタドレン弁	分解点検	6Y	16年度
213	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-38B	B-サンドフィルタドレン弁	分解点検	6Y	16年度
214	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-40A	A-メッシュフィルタドレン弁	分解点検	6Y	16年度
215	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-40B	B-メッシュフィルタドレン弁	分解点検	6Y	16年度
216	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-44	吸着塔入口サブリング元弁	分解点検	6Y	16年度
217	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-46	サンプリング戻り弁	分解点検	6Y	19年度
218	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-47	A-吸着塔出口サンプリング元弁	分解点検	6Y	16年度
219	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-5A	A-メッシュフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
220	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-5B	B-メッシュフィルタ出口弁	分解点検	6Y	16年度
221	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-96A	MT57-1A元弁	分解点検	6Y	16年度
222	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-96B	MT57-1B元弁	分解点検	6Y	16年度
223	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	V57-98C	C-排ガスブロウ再循環弁	分解点検	6Y	16年度
224	所内蒸気系 (HS)	ノンクラス	V75-1009	制御室空調器出口ドレン弁	分解点検	6Y	20年度

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
225	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-114	RW/B OA処理ヒータ調節弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
226	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-276	RW/B空調器加湿調節弁前弁	分解点検	6Y	20年度
227	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-277	RW/B空調器加湿調節弁後弁	分解点検	6Y	20年度
228	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-278	RW/B空調器加湿調節弁バイパス弁	分解点検	6Y	20年度
229	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-145	ドレントラップバイパス弁	分解点検	6Y	20年度
230	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-157	蒸気ヘッドトラップバイパス弁	分解点検	6Y	20年度
231	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-175	RW/B1FLドレントラップバイパス弁	分解点検	6Y	16年度
232	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-207	C/B外気処理装置入口圧力計元弁	分解点検	6Y	16年度
233	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-259	オーパフロー水南床ドレンサンブ入口弁	分解点検	6Y	19年度
234	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-43	廃液濃縮器蒸気減圧弁バイパス弁	分解点検	6Y	18年度
235	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-46	濃縮廃液貯蔵タンク蒸気減圧弁バイパス弁	分解点検	6Y	16年度
236	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-501	所内蒸気ヘッドドレン弁	分解点検	6Y	16年度
237	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-82B	B空調器ヒータ調整弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
238	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-82C	C空調器ヒータ調整弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
239	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-85B	空調器ヒータドレントラップバイパス弁	分解点検	6Y	19年度
240	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-85C	空調器ヒータドレントラップバイパス弁	分解点検	6Y	19年度
241	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-88B	B空調器加湿調整弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
242	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-88C	C空調器加湿調整弁バypass弁	分解点検	6Y	19年度
243	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-89	空調器ヒータ調整弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
244	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-95	空調器加湿調整弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
245	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	V75-96-1	R/B外気処理ヒータ調節弁バイパス弁	分解点検	6Y	19年度
246	サイトバンカ設備プール水浄化系(SBE)	ノンクラス	作業員台車	圧縮空気装置	分解点検	6Y	18年度
247	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	エアドライヤー	炉底蓋シール空気用	分解点検	1Y	21年度
248	可燃性廃棄物焼却設備(RWI)	ノンクラス	空気圧縮機	炉底蓋シール空気用	分解点検	1Y	21年度
249	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	圧力計	現場指示計	機能確認, 校正試験	65M	26回定検
250	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	圧力計	現場指示計	機能確認, 校正試験	65M	25回定検
251	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	レベル指示計(70-トーフ式)	現場指示計	機能確認, 校正試験	1C	28回定検
252	原子炉再循環系(PLR)	ノンクラス	電子式記録計	ペン書式(HB)	センサ取替 キャリアッジモータ取替	91M 39M	27回定検
253	原子炉再循環系(PLR)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	23回定検
254	復水系(CW)	ノンクラス	電子器演算器	変換器および演算器	電解コンデンサ取替	8Y	23回定検
255	復水系(CW)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	ヒューズ取替	4Y	27回定検
256	復水系(CW)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	23回定検
257	復水系(CW)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	張糸取替	26M	27回定検 28回定検
258	復水系(CW)	ノンクラス	警報設定器	設定器	ヒューズ取替	4Y	27回定検
259	復水系(CW)	ノンクラス	警報設定器	設定器	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検
260	給水系(FW)	ノンクラス	電子変換器	変換器及び演算器	ヒューズ取替	4Y	-
261	給水系(FW)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	ガイドプーリ, サーボモータ取替 センサ取替	65M	26回定検
262	制御機駆動系(CRD)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	張糸取替 マークプリンタ, 印字ヘッド, リボン モータ, 送進モータ取替 チャート部駆動機構, ホルタ取替	26M 65M 65M	26回定検 27回定検 24回定検



【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは、平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
263	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	電子式積算計	積算計	電解コンデンサ取替	8Y	21回定検
264	燃料プール冷却系(FPC)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替	8Y	-
265	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	ノンクラス	電子式積算計	積算計	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	25回定検 -
266	固定子冷却系(SWC)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	張糸取替	26M	27回定検
267	タービン補機冷却系(TCW)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	張糸取替 ヒューズ取替	26M 39M	- 25回定検
268	タービン補機冷却系(TCW)	ノンクラス	体積式積算計	積算計	校正試験	13M	28回定検
269	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	電子式発信器(フロートトルク式)	LX51-3	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検
270	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検
271	排ガス処理系(OFG)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	キャリッジモータ取替 リボン送りギア3取替	39M 65M	26回定検 28回定検
272	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	超音波レベル計	特殊計器	抵抗測定	1C	28回定検
273	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検
274	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	25回定検 -
275	固体廃棄物処理系(RWS)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	ヒューズ取替	39M	26回定検
276	希ガスホールドアップ系(RGH)	ノンクラス	警報設定器	設定器	電解コンデンサ取替	8Y	26回定検
277	希ガスホールドアップ系(RGH)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検
278	復水輸送系(CWT)	ノンクラス	電子式演算器	変換器および演算器	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検
279	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	PH計	水分析計	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検
280	海水電解装置設備系(OTC)	ノンクラス	電子式変換器	変換器および演算器	電解コンデンサ取替	8Y	26回定検
281	プロセス放射線モニタ系(PRM)	ノンクラス	電子式記録計	打点式(HB)	張糸取替 ガイドプリー・サーボモータ取替 駆動機構・ホルダ取替 ヒューズ取替 センサ取替	26M 65M 65M 39M 65M	28回定検 25回定検 25回定検 26回定検 25回定検
282	原子炉再循環系(PLR)	ノンクラス	再循環ポンプ・モータ振動計	検出器	ヒューズ取替	52M	26回定検
283	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計	プロットモータ取替 レバー取替 ヒューズ取替 プリー取替	65M 65M 26M 39M	27回定検 27回定検 27回定検 26回定検
284	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	ノンクラス	CADラック	ラック	ヒューズ取替	65M	27回定検
285	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検
286	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ペン式(HB)	プロットモータ取替 レバー取替 モータベアリング1取替 モータベアリング2取替 ヒューズ取替	65M 65M 39M 39M 26M	27回定検 27回定検 26回定検 26回定検 27回定検
287	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計(ペン書式)	電解コンデンサ	8Y	27回定検
288	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計(ペン書式)	チャートモータ取替 ヒューズ取替	65M 52M	25回定検 28回定検
289	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計(ペン書式)	プリー取替	39M	26回定検
290	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計	サーボモータ及びペン機構取替 タイミングベルト取替 プリンタ取替 張糸・張糸ベアリング取替 サーボモータ取替	104M 104M 104M 104M 104M	22回定検
291	プロセス放射線モニタ(PRM)	ノンクラス	トリチウム捕集装置	トリチウム捕集装置	冷凍機取替 サンプリングポンプベアリング取替 膨張弁取替 ニードル弁取替 電磁弁の分解・部品取替 シーケンスコントローラ本体	10C 3C 10C 10C 5C 10C	27回定検 26回定検 27回定検 27回定検 26回定検 27回定検

【島根1号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 45までは, 平成22年3月30日報告分

No	系 統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
292	燃料プール冷却系 (FPC)	ノンクラス	FPCフィルタ出口流量用減圧弁	本体	減圧弁の一式取替 清掃・目視点検 増締め 漏えい検査 動作試験	104M 8C 8C 8C 8C	26回定検
293	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	対数係数率計	プラスチックシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替 可変抵抗器取替 コネクタ取替 ICソケット取替 フォトカプラ取替 スイッチ類取替 表示ランプ取替	8Y 130M 130M 130M 130M 130M 26M	25回定検 (対数係数率計一 式取替)
294	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	電子式記録計 (2ペン式)	プラスチックシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 52M	25回定検
295	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	電磁弁	ダストモニタサンプリング装置	分解	65M	25回定検
296	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	デジタル計数率計	ZnSシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替 可変抵抗器取替 コネクタ取替 スイッチ類取替 IC取替 ICソケット取替	8Y 130M 130M 130M 130M 130M	25回定検
297	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	高圧電源モジュール	ZnSシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替 可変抵抗器取替 コネクタ取替 トグルスイッチ取替 高圧電源ユニット	8Y 130M 130M 130M 130M	25回定検
298	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	低圧電源モジュール	ZnSシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検
299	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	電子式記録計 (インクジェット2 入力式)	ZnSシンチレーション型モニタ	パナソニックモータ取替 チャートモータ取替 記録機構取替 (ペン先)	26M 52M 1C	27回 25回 28回
300	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	前置増幅器	GM管型モニタ	電子部品及びコネクタ部のバックシ ン取替	39M	28回定検
301	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	電子式記録計 (インクジェット2 入力式)	GM管型モニタ	記録機構取替	13M	28回定検
302	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	検出器およびケーブル	NaIシンチレーション型モニタ	光電子増倍管取替	104M	25回定検
303	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	デジタル計数率計	NaIシンチレーション型モニタ	電解コンデンサ取替 バッテリー取替 可変抵抗器取替 コネクタ取替 スイッチ類取替 IC取替 ICソケット取替 表示ランプ取替	8Y 5Y 130M 130M 130M 130M 130M 26M	25回定検
304	エリア放射線モニタ系 (APM)	ノンクラス	盤	ダストモニタデータ処理装置	ヒューズ取替	52M	26回定検
305	液体廃棄物処理系 (RWL)	ノンクラス	廃液フィルタ流量調節弁	調節弁	パイロットリレー取替	52M	25回定検
306	液体廃棄物処理系 (RWL)	ノンクラス	床ドレンフィルタ流量調節弁	調節弁	パイロットリレー取替	52M	25回定検
307	固体廃棄物処理系 (RWS)	クラス3	スラッジ貯蔵タンクエゼクタ水 圧力調節弁	調節弁	パイロットリレー取替 ダイヤフラム取替, シール用Oリング 取替	52M	26回定検
308	原子炉建屋空気冷却系 (DHC)	ノンクラス	R/B空気冷却制御盤	その他電気機器	ヒューズ取替	78M	25回定検
309	所内用圧縮空気系 (HA)	ノンクラス	空気式調節器	本体 機能確認	ゴム管交換 ループ試験	8Y 1C	27回定検
310	所内蒸気系 (HS)	ノンクラス	電子式調節器 ドラム圧力	機能確認	ループ試験	2Y	20年度
311	所内蒸気系 (HS)	ノンクラス	コントロールモータ 重油流量	機能確認	ループ試験	2Y	20年度
312	所内蒸気系 (HS)	ノンクラス	制御盤 4号補助ボイラ制御盤	制御トランス その他電気機器 その他	絶縁抵抗測定 シーケンサメモリバッテリー取替 盤フィルタ取替	4Y 4Y 2Y	19年度
313	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	電磁弁	サンドフィルタ出口弁用電磁弁	電磁弁取替 絶縁抵抗測定 励磁電流測定 開閉試験	156M 6C 6C 3C	28回定検
314	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	電磁弁	中間用電磁弁	電磁弁取替 絶縁抵抗測定 励磁電流測定 開閉試験	156M 6C 6C 3C	28回定検

「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根2号機】 クラス1

(注) No.18までは、平成22年9月30日報告分

照合結果										
No	分類	系統	重要度分類	機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画表に記載されていた至近の実績(誤りがあった記載)	至近の点検/取替実績	備考
1	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	A-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマボルト、ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	
-	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	B-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマボルト、ナット取替	52M	14回定検	15回定検(取替)	至近の点検/取替実績を10回定検としていたが、15回定検の取替記録があり点検頻度内であることを確認できたもの
2	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	C-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマボルト、ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	
3	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	D-RCWポンプ	ダイヤフラムカップリング	リーマボルト、ナット取替	52M	14回定検	10回定検(取替)	
4	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738A(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
5	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738B(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
6	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738C(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
7	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738D(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
8	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738E(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
9	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738F(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
10	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738G(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
11	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738H(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	
12	弁	原子炉隔離時冷却系(RCIC)	クラス1	CV221-82(調整弁)	油圧調整弁	分解点検	78M	7回定検	-	
13	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス1	V280-151B(手動弁)	B-ディーゼル燃料ディタンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	
14	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	クラス1	V280-151H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料ディタンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	
15	電源盤	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用ローレントセンタ母線(2C-L/C)	母線支持がいし 導体 外箱	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	
16	電源盤	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンタ母線(2A-DG-C/C)	母線支持がいし 導体 外箱	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	
17	電源盤	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンタユニット一面(2A-DG-C/C)	盤他	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	
18	その他	原子炉隔離時冷却系(RCIC)	クラス1	入口管ドレンボット(T221-2)	ドレンボット	目視検査	78M	14回定検	-	
19	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気逃がし安全弁(RV202-1K)	シリンダ	分解点検	52M	15回定検	11回定検	
20	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気逃がし安全弁(RV202-1L)	シリンダ	分解点検	52M	15回定検	11回定検	

# 「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

## 【島根2号機】クラス1

(注)No. 18までは、平成22年9月30日報告分

No	分類	系統	重要度分類	照合結果				備考		
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度		「点検計画表」に記載されていた至近の実績(誤りがあった記載)	至近の点検/取替実績
21	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気逃がし安全弁 (RV202-1M)	シリンダ	分解点検	52M	15回定検	11回定検	
22	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用コントロールセンタ母線 (2C1-R/B-C/C)	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	
23	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用コントロールセンタ母線 (2C2-R/B-C/C)	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	
24	電源盤	所内電気設備系 (SES)	クラス1	非常用コントロールセンタ母線 (2C3-R/B-C/C)	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	

「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根2号機】 クラス2

(注)No. 6までは、平成22年3月30日報告分

No	分類	系統	重要度分類	機器名称	照合結果				備考	
					点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画表に記載されていた至近の実績(該当があった記載)		至近の点検/取替実績
1	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-1061A(手動弁)	A-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	
2	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-1061B(手動弁)	B-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	
3	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEC)	クラス2	V280-99A(手動弁)	A-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	4回定検	3回定検	
4	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEC)	クラス2	V280-99H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	3回定検	-	
5	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEC)	クラス2	V280-150B(手動弁)	B-ディーゼル燃料ディタンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	
6	弁	非常用ディーゼル発電機系(DEC)	クラス2	V280-150H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料ディタンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	
7	その他	可燃性ガス濃度制御系(格納容器雰囲気モニタ)	クラス2	事故時サンプリングポンプ、事故時サンプリング昇圧ポンプ(P229-104A,B) (P229-100A,B)	ポンプ、モーター部品取替	ベアリング取替	5Y	-	10回定検	

「点検計画表」と点検実績との整合性確認結果

【島根2号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 24までは、平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	怪りがあった 至近の実績
1	原子炉浄化系(CUW)	クラス3	AV213-1060B(空気作動弁)	B - デミネ樹脂出口弁	分解点検	130M	12回定検
2	残留熱除去系(RHR)	クラス3	RV222-1B(逃し弁)	B - RHR 注水配管逃し弁	分解点検	130M	8回定検
3	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-705(安全弁)	原子炉棟給気外側隔離弁(AV261-1)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	11回定検
4	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-713(安全弁)	原子炉棟給気内側隔離弁(AV261-2)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	15回定検
5	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-737(安全弁)	原子炉棟排気内側隔離弁(AV261-5)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	10回定検
6	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-745(安全弁)	原子炉棟排気外側隔離弁(AV261-6)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	15回定検
7	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-721(安全弁)	燃料取替階排気内側隔離弁(AV261-3)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	10回定検
8	原子炉棟空調換気系(HVR)	クラス3	RV261-729(安全弁)	燃料取替階排気外側隔離弁(AV261-4)用アキユムレータ安全弁	吹き出し試験	78M	11回定検
9	原子炉浄化系(CUW)	ノンクラス	V213-1003A(手動弁)	A-CUWフィルタ出口ストレーナブロー弁	分解点検	130M	11回定検
10	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	V214-3001A(手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交入口)	分解点検	130M	6回定検
11	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	V214-3001B(手動弁)	RCW ベント弁(B-FPC熱交入口)	分解点検	130M	6回定検
12	原子炉補機冷却系(RCW)	ノンクラス	V214-3002A(手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交出口)	分解点検	130M	6回定検
13	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-541A(手動弁)	A-ディーゼル燃料ディタンクドレン弁	分解点検	130M	4回定検
14	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-541B(手動弁)	B-ディーゼル燃料ディタンクドレン弁	分解点検	130M	3回定検
15	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-546B(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	分解点検	130M	3回定検
16	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-546H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	分解点検	130M	11回定検
17	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-547H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検
18	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-558(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	3回定検
19	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-560(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検
20	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-562(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検
21	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-564(手動弁)	ドレン弁(燃料移送ポンプ出口)	分解点検	130M	11回定検
22	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-611B(手動弁)	ドレン弁(潤滑油フィルタ出口)	分解点検	130M	15回定検
23	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-614B(手動弁)	ドレン弁(シリンダ油フィルタ出口)	分解点検	130M	15回定検
24	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	ノンクラス	V280-615B(手動弁)	ドレン弁(発電機軸受給油配管)	分解点検	130M	15回定検
25	原子炉浄化系(CUW)	クラス3	T213-1	原子炉浄化系サーージタンク	開放点検	130M	14回定検
26	所内蒸気系(HS)	クラス3	CV275-1009	HS T / B送風機出口温度調節弁減圧弁	分解点検	3Y	14年度
27	固体廃棄物処理系(RWS)	クラス3	CV253-520	RWA温水タンク入口所内蒸気減圧弁	分解点検	3Y	
28	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用ロードセンタ母線 (2A1-L/C)	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
29	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用ロードセンタ母線 (2A2-L/C)	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
30	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 固化設備 - C / C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
31	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2B2-R/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
32	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2B2-T/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
33	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A-R / B空調換気系 - C / C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
34	所内電気設備系(SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A1-R / B - C / C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検

【島根2号機】クラス3, ノンクラス

(注)No. 24までは、平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
35	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2-水-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
36	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A-T/B空調換気系-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
37	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A1-T/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
38	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2-復水デミネ-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
39	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2-復水フィルタ-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
40	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A2-R/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
41	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A2-T/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
42	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A-Rw/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
43	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタ母線 2A-開閉所-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
44	所内電気設備系 (SES)	クラス3	非常用コントロールセンタ母線 2S-R/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
45	所内電気設備系 (SES)	クラス3	非常用コントロールセンタ母線 2C-T/B-C/C	導体	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
46	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2-水-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
47	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A1-R/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
48	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A-R/B空調換気系-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
49	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A1-T/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
50	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A-T/B空調換気系-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
51	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2-復水デミネ-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
52	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2-復水フィルタ-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
53	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A2-R/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
54	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A2-T/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
55	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A-Rw/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
56	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2B1-R/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
57	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2B-T/B空調換気系-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
58	所内電気設備系 (SES)	クラス3	非常用コントロールセンタユニット 2S-T/B-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	12回定検
59	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2-取水-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
60	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用コントロールセンタユニット 2A-開閉所-C/C	総合	絶縁抵抗測定	4C	14回定検
61	復水系 (CW)	クラス3	警報設定器	設定器	ヒューズ取替	4Y	14回定検
62	原子炉補機冷却系 (RCW)	クラス3	電子式積算計	積算計	ヒューズ取替	4Y	14回定検
63	可燃性ガス濃度制御系 (格納容器雰囲気モニタ)	クラス3	通常時サンプポンプ 通常時サンプ昇圧ポンプ	モータ	モータベアリング取替	2Y	15回定検
64	プロセス放射線モニタ系 (PRM)	クラス3	エリア放射線モニタ	対数線量率計 直流電源ユニット	電解コンデンサ他取替	8Y	12回定検
65	給水系 (FW)	クラス3	給水流量調節弁	スプール弁	スプール弁取替	39M	14回定検
66	給水系 (FW)	クラス3	起動用給水流量調節弁	スプール弁	スプール弁取替	39M	14回定検
67	原子炉浄化系 (CUW)	クラス3	CUW-ろ過脱塩器出口流量調節弁	ポジション	パイロットリレー据付ガスケット取替	13M	15回定検
68	原子炉浄化系 (CUW)	クラス3	CUW-ろ過脱塩器出口流量調節弁	ポジション	パイロットリレー据付ガスケット取替	13M	15回定検
69	窒素ガス制御系 (NGC)	クラス3	計装用窒素ガス圧力調節弁	ポジション	パイロットリレー取替	52M	15回定検
70	給水系 (FW)	クラス3	給水流量制御装置盤	制御盤	ファン取替	4Y	15回定検
71	排ガス処理系 (OFG)	ノンクラス	CV251-933	排ガスブロワ加圧用空気圧力調節弁	分解点検	3Y	15年度

【鳥根2号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 24までは、平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
72	排ガス処理系 (OFG)	ノンクラス	CV251-951	再生ガスブロウ加圧用空気圧力調節弁	分解点検	3Y	15年度
73	液体廃棄物処理系 (RWL)	ノンクラス	V252-3130A	R / B北東コーナー室床ドレンサンポンプ出口逆止弁	分解点検	130M	11回定検
74	固体廃棄物処理系 (RWS)	ノンクラス	TK253-3A,3B	N2ガス製造装置A-B-吸着槽	開放点検	4Y	19年度
75	所内電気設備系 (SES)	ノンクラス	非常用ロードセンタ遮断器 (D-L/C) 2C - 母線連絡遮断器	機能確認	最小動作電圧測定 開閉時間測定	4C	14回定検
76	計装用圧縮空気系 (IA)	ノンクラス	計器弁 (PS277-21, PIS277-18, PI275-15)	その他	グラッドパッキン, O-リング取替	91M	13回定検
77	補給水系 (MUW)	ノンクラス	体積式精算計	精算計	ストレーナパッキン取替	1C	15回定検
78	原子炉再循環系 (PLR)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
79	原子炉再循環系 (PLR)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
80	復水系 (CW)	ノンクラス	電源箱	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	13回定検
81	復水系 (CW)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式VKP	モータベアリング1, 2取替 校正試験	39M 13M	13回定検 15回定検
82	復水系 (CW)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	13回定検
83	給水系 (FW)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
84	給水系 (FW)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
85	給水系 (FW)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
86	給水系 (FW)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
87	制御棒駆動系 (CRD)	ノンクラス	電子式記録計	HB打点式	チャート駆動機構・ホルダ取替 ヒューズ取替 ゼロ点検出センサ取替	65M 4Y 65M	14回定検
88	窒素ガス制御系 (NGC)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	13回定検
89	残留熱除去系 (RHR)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	14回定検
90	非常用ガス処理系 (SGT)	ノンクラス	警報設定器	設定器	電解コンデンサ取替	8Y	12回定検
91	タービン設備系 (TB)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式VKP	ヒューズ取替	26M	14回定検
92	タービン設備系 (TB)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	14回定検
93	タービン設備系 (TB)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式RM	ヒューズ取替	4Y	15回定検
94	補助蒸気系 (AUS)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	13回定検
95	補助蒸気系 (AUS)	ノンクラス	電子式変換器	指示計及び記録計	機能確認	130M	13回定検
96	排ガス処理系 (OFG)	ノンクラス	警報設定器	設定器	ヒューズ取替	4Y	15回定検
97	液体廃棄物処理系 (RWL)	ノンクラス	電子式記録計	HB打点式μR	張糸取替 ガイドフリー, サーモモータ, マークプリント, 印字ヘッド, リボンモータ, 誘導モータ, チャートモータ, 駆動機構, ホルダ, センサ取替	26M 65M	14回定検 15回定検
98	固体廃棄物処理系 (RWS)	ノンクラス	警報設定器	設定器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	13回定検
99	海水電解装置設備系 (OTC)	ノンクラス	パンプ管及びバージセット	その他	減圧弁取替	65M	14回定検
100	原子炉圧力容器系 (RVS)	ノンクラス	電子式記録計	HB打点式	チャートモータ, 駆動機構, ホルダ, センサ取替 ヒューズ取替	65M 4Y	14回定検
101	原子炉圧力容器系 (RVS)	ノンクラス	電子式記録計	HBペン式VKP	モータベアリング1, 2取替	39M	13回定検
102	固定式冷却系 (SWC)	ノンクラス	電子式記録計	ハイブリッド記録計 (ペン式)	張糸取替	26M	14回定検



【島根2号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 24までは、平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった至近の実績
103	サンプリング系(SAM)	ノンクラス	溶存酸素計	溶存酸素計	バッテリー取替	39M	14回定検
104	プロセス放射線モニタ系(PRM)	ノンクラス	盤関係	直流電源ユニット	ヒューズ取替	4Y	14回定検
105	プロセス放射線モニタ系(PRM)	ノンクラス	プロセスモニタサンプリングラック	サンプリング装置	真空ポンプヘッドリング, オリフ, オイルシール取替 電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	39M 8Y 4Y	15回定検 14回定検
106	プロセス放射線モニタ系(PRM)	ノンクラス	トリチウム捕集装置	トリチウム捕集装置	ヒューズ取替 電解コンデンサ取替	4Y 8Y	14回定検
107	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	ハイブリッド記録計(ペン書式)	チャート部 増幅部	チャートモータ, 駆動機構取替 電解コンデンサ取替	6Y 8Y	17年度 21年度
108	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	ハイブリッド記録計(ペン書式)	増幅部	ヒューズ取替	4Y	21年度
109	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	電子式調節器	電子部品	電解コンデンサ, 表示ユニット取替	8Y	21年度
110	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	電空変換器	変換機構	パイロットリレー取替	6Y	19年度
111	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	電源	電子部品	ヒューズ取替	4Y	21年度
112	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	レベルスイッチ	機能検査	動作試験, 校正試験	2Y	21年度
113	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	電子式変換器	機能検査	校正試験	2Y	21年度
114	所内蒸気系(HS)	ノンクラス	電子式変換器	電子部品 機能検査	電解コンデンサ取替 校正試験	8Y 2Y	17年度 21年度
115	復水系(CW)	ノンクラス	復水デミネ設備(群)空気作動弁駆動用電磁弁	電磁部 電磁部弁部 機能確認	絶縁抵抗測定 励磁電流測定 部品取替 開閉試験	6C 6C 78M 3C	15回定検
116	復水系(CW)	ノンクラス	復水デミネ設備(群)空気作動弁駆動用電磁弁	電磁部 電磁部弁部 機能確認	絶縁抵抗測定 励磁電流測定 部品取替 開閉試験	6C 6C 78M 3C	15回定検
117	復水系(CW)	ノンクラス	復水デミネ設備(群)空気作動弁駆動用電磁弁	電磁部 電磁部弁部 機能確認	絶縁抵抗測定 励磁電流測定 部品取替 開閉試験	6C 6C 78M 3C	15回定検
118	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	原子炉建物サンプリング箇所切替用電磁弁	本体 電磁部 機能確認	電磁弁一式取替 励磁電流測定 開閉試験	78M 6C 3C	12回定検
119	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	廃棄物処理建物サンプリング箇所(群)切替用電磁弁	電磁部 本体 電磁部	絶縁抵抗測定 電磁弁一式取替 励磁電流測定	6C 78M 6C	13回定検
120	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	タービン建物サンプリング箇所(群)切替用電磁弁	本体	電磁弁一式取替	78M	12回定検
121	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	タービン建物サンプリング箇所(群)切替用電磁弁	電磁部 本体 電磁部 機能確認	絶縁抵抗測定 電磁弁一式取替 励磁電流測定 開閉試験	6C 78M 6C 3C	12回定検
122	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	廃棄物処理建物サンプリング箇所(群)切替用電磁弁	本体 機能確認	電磁弁一式取替 開閉試験	78M 3C	13回定検
123	エリア放射線モニタ系(ARM)	ノンクラス	廃棄物処理建物サンプリング箇所(群)切替用電磁弁	本体	電磁弁一式取替	78M	13回定検
124	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	廃棄物処理建物床ドレン設備空気作動弁駆動用電磁弁	電磁部 本体 電磁部	絶縁抵抗測定 電磁弁一式取替 励磁電流測定	15C 195M 15C	15回定検
125	廃棄物処理建物制御室	ノンクラス	廃液フィルタ・デミネ制御盤	制御トランス	絶縁抵抗測定	1C	15回定検
126	ドライウェル冷却系(HVD)	ノンクラス	ハイブリッド記録計(打点式)	増幅部	ヒューズ取替	4Y	13回定検
127	燃料プール冷却系(FPC)	クラス3	電磁弁	燃料プール冷却用電磁弁	分解点検 絶縁抵抗測定 励磁電流測定	78M 6C 6C	11回定検
128	液体廃棄物処理系(RWL)	ノンクラス	電子式精算計	精算計	ヒューズ取替	4Y	14回定検
129	復水輸送系(CWT)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	14回定検

【島根2号機】 クラス3, ノンクラス

(注)No. 24までは, 平成22年3月30日報告分

No	系統	重要度分類	照合結果				
			機器番号	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績
130	循環水系 (CSW)	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替 電子部品清掃, 目視点検	8Y 4Y 10C	-
131	サンプリング系 (SAM)	ノンクラス	電磁弁	サンプリング用電磁弁	電磁弁一式取替 絶縁抵抗測定 励磁電流測定	195M 15C 15C	8回定検

## 中間報告からの増減

(1) 削減分

島根2号機

No.	系統	重要度分類	機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績	削除理由
28 (16/19)	所内電気設備系 (SES)	クラス3	常用メタクラ遮断器 (A - M / C) 2A・所内変圧器受電遮断器	機能確認	最小動作電圧測定 開閉時間測定	4C	14回定検	13回定検で実績有のため点検時期 超過なし
75 (18/19)	洗濯廃液処理設備	ノンクラス	D252-503	ランドリ・ドレン脱塩器	開放点検	4Y	18年度	不整合・超過作業項目(導電率測 定)について、定期事業検査記録 にて実績が確認できたため点検時 期超過なし

(2) 追加分

島根1号機

No.	系統名称	重要度分類	機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績	追加理由
313	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	電磁弁	サンドフィルタ出口弁用電磁弁	電磁弁取替 絶縁抵抗測定 絶縁電流測定 開閉試験	156M 6C 6C 3C	28回定検	機器数集約上の数え落とし
314	希ガスホールドアップ系 (RGH)	ノンクラス	電磁弁	中間用電磁弁	電磁弁取替 絶縁抵抗測定 絶縁電流測定 開閉試験	156M 6C 6C 3C	28回定検	機器数集約上の数え落とし

島根2号機

No.	系統名称	重要度分類	機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	誤りがあった 至近の実績	追加理由
127	燃料プール冷却系	クラス3	電磁弁	燃料プール冷却用電磁弁	分岐点検 絶縁抵抗測定 励磁電流測定	78M 6C 6C	11回定検	機器数集約上の数え落とし
128	液体廃棄物処理系	ノンクラス	電子式積算計	積算計	ヒューズ取替	4Y	14回定検	機器数集約上の数え落とし
129	復水輸送系	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替	8Y 4Y	14回定検	機器数集約上の数え落とし
130	循環水系	ノンクラス	電子式変換器	変換器及び演算器	電解コンデンサ取替 ヒューズ取替 電子部品清掃、目視点検	8Y 4Y 10C	-	機器数集約上の数え落とし
131	サンプリング系	ノンクラス	電磁弁	サンプリング用電磁弁	電磁弁一式取替 絶縁抵抗測定 励磁電流測定	195M 15C 15C	8回定検	機器数集約上の数え落とし

## 定期事業者検査と「点検計画表」との整合性確認結果(島根1号機)

	系統	機器名称	点検箇所	定期事業者検査対象
1	原子炉浄化系(CUW)	RV13-3(逃し弁)	CUW循環ポンプ入口逃し弁	安全弁検査
2	原子炉浄化系(CUW)	RV13-5(逃し弁)	CV13-2出口逃し弁(CV13-2:CUWフィルタ流量調節弁)	安全弁検査
3	原子炉補機冷却系(RCW)	V14-81A(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	主要弁検査
4	原子炉補機冷却系(RCW)	V14-81C(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	主要弁検査
5	原子炉補機冷却系(RCW)	V14-81B(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	主要弁検査
6	原子炉補機冷却系(RCW)	V14-81D(手動弁)	RCWポンプ入口圧力計元弁(仮設圧力計元弁 片側閉止栓あり)	主要弁検査
7	原子炉補機海水系(RSW)	V15-32A(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	主要弁検査
8	原子炉補機海水系(RSW)	V15-32B(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	主要弁検査
9	原子炉補機海水系(RSW)	V15-89A(手動弁)	冷却水熱交換器入口配管ブロー弁(RCW熱交換器入口のドレン弁)	主要弁検査
10	炉心スプレイ系(RCS)	V23-105A(手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
11	炉心スプレイ系(RCS)	V23-105B(手動弁)	RCSポンプ潤滑水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
12	炉心スプレイ系(RCS)	V23-112A(手動弁)	メカシールフラッシング水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
13	炉心スプレイ系(RCS)	V23-112B(手動弁)	メカシールフラッシング水元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
14	炉心スプレイ系(RCS)	V23-113A(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
15	炉心スプレイ系(RCS)	V23-113B(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ラインの弁)	主要弁検査
16	炉心スプレイ系(RCS)	V23-114B(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	主要弁検査
17	炉心スプレイ系(RCS)	V23-115A(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	主要弁検査
18	炉心スプレイ系(RCS)	V23-115B(手動弁)	潤滑水圧力計元弁(RCSポンプ廻りの軸受潤滑水ライン圧力計元弁)	主要弁検査
19	非常用ガス処理系(SGT)	AV26-1A(空気作動弁)	SGT連絡弁(R/B連絡弁)	主要弁検査
20	非常用ガス処理系(SGT)	AV26-2A(空気作動弁)	SGT処理装置(ファン)入口弁	主要弁検査
21	非常用ガス処理系(SGT)	AV26-3A(空気作動弁)	SGT処理装置(ファン)出口弁	主要弁検査
22	非常用ガス処理系(SGT)	V26-4B(手動弁)	DOP第1注入弁	主要弁検査
23	非常用ガス処理系(SGT)	V26-7A(手動弁)	DOP第2注入弁	主要弁検査
24	非常用ガス処理系(SGT)	V26-8A(手動弁)	DOP第2上流採取弁	主要弁検査
25	非常用ガス処理系(SGT)	V26-9A(手動弁)	DOP第2下流採取弁	主要弁検査
26	非常用ガス処理系(SGT)	V26-9B(手動弁)	DOP第2下流採取弁	主要弁検査
27	非常用ガス処理系(SGT)	V26-11B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	主要弁検査
28	非常用ガス処理系(SGT)	V26-12B(手動弁)	SGTフィルタユニット差圧発信器元弁	主要弁検査
29	非常用ガス処理系(SGT)	V26-13A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	主要弁検査
30	非常用ガス処理系(SGT)	V26-14A(手動弁)	デミスタ差圧計元弁	主要弁検査
31	非常用ガス処理系(SGT)	V26-17B(手動弁)	前置高性能フィルタ差圧計元弁	主要弁検査
32	非常用ガス処理系(SGT)	V26-18A(手動弁)	活性炭フィルタ差圧計元弁	主要弁検査
33	非常用ガス処理系(SGT)	V26-23A(手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	主要弁検査
34	非常用ガス処理系(SGT)	V26-23B(手動弁)	SGTファン出口ガス流量計元弁	主要弁検査
35	非常用ガス処理系(SGT)	V26-24(手動弁)	ドレン弁	主要弁検査
36	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V80-8A(手動弁)	一次水空気抜弁(DEG一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	主要弁検査
37	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V80-8B(手動弁)	一次水空気抜弁(DEG一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	主要弁検査
38	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V80-308B(手動弁)	自動始動系手動始動系連絡弁(自動始動用空気槽からの手動始動弁)	主要弁検査
39	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V80-1004B(手動弁)	一次水冷却器出口ドレン弁	主要弁検査
40	復水系(CW)	MV03-7(電動弁)	低圧ヒータバイパス弁	主要弁検査
41	復水系(CW)	V03-96A(手動弁)	第2Aヒータ水室ベント弁	主要弁検査
42	タービンヒータドレン系(THD)	V44-46A(手動弁)	第2Aヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査
43	タービンヒータドレン系(THD)	V44-46B(手動弁)	第2Bヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査
44	タービンヒータドレン系(THD)	V44-48B(手動弁)	第1Bヒータ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査
45	排ガス処理系(OFG)	V51-22(手動弁)	DOPサンプリング弁	主要弁検査

定期事業者検査と「点検計画表」との整合性確認結果(島根1号機)

	系統	機器名称	点検箇所	定期事業者検査対象
46	復水系(CW)	RV03-1902(安全弁)	デミネ混合用空気槽安全弁	安全弁検査
47	タービン-タードレン系(THD)	V44-45A(手動弁)	第3Aヒ-タ常用水位調節弁後ドレン弁	主要弁検査
48	タービン-タードレン系(THD)	V44-45B(手動弁)	第3Bヒ-タ常用水位調節弁後ドレン弁	主要弁検査
49	燃料プ-ル冷却系(FPC)	V16-1052(手動弁)	フィルタ出口サブリング元弁	主要弁検査
50	非常用ガス処理系(SGT)	V26-1A(手動弁)	デミストレ弁A	主要弁検査
51	非常用ガス処理系(SGT)	V26-3A(手動弁)	フレコ注入弁A	主要弁検査
52	非常用ガス処理系(SGT)	V26-4A(手動弁)	DOP第1注入弁A	主要弁検査
53	非常用ガス処理系(SGT)	V26-5A(手動弁)	DOP第1上流採取弁A	主要弁検査
54	非常用ガス処理系(SGT)	V26-6A(手動弁)	DOP第1下流採取弁A	主要弁検査
55	非常用ガス処理系(SGT)	V26-11A(手動弁)	差圧発信器(dpx26-1A)元弁	主要弁検査
56	非常用ガス処理系(SGT)	V26-12A(手動弁)	差圧発信器(dpx26-1A)元弁	主要弁検査
57	非常用ガス処理系(SGT)	V26-16A(手動弁)	差圧計(dpl26-2A)元弁	主要弁検査
58	非常用ガス処理系(SGT)	V26-17A(手動弁)	差圧計(dpl26-3A)元弁	主要弁検査
59	非常用ガス処理系(SGT)	V26-21A(手動弁)	差圧計(dpl26-5A)元弁	主要弁検査
60	非常用ガス処理系(SGT)	V26-22A(手動弁)	差圧計(dpl26-5A)元弁	主要弁検査
61	排ガス処理系(OFG)	V51-14A(手動弁)	A-排ガスフィルタ出口弁	主要弁検査
62	排ガス処理系(OFG)	V51-14B(手動弁)	B-排ガスフィルタ出口弁	主要弁検査
63	排ガス処理系(OFG)	V51-23A(手動弁)	A-排ガスフィルタ入口弁	主要弁検査
64	排ガス処理系(OFG)	V51-23B(手動弁)	B-排ガスフィルタ入口弁	主要弁検査
65	排ガス処理系(OFG)	V51-84A(手動弁)	貯蔵タンクドレンボット出口弁	主要弁検査
66	排ガス処理系(OFG)	V51-84B(手動弁)	貯蔵タンクドレンボット出口弁	主要弁検査
67	排ガス処理系(OFG)	V51-84C(手動弁)	貯蔵タンクドレンボット出口弁	主要弁検査
68	排ガス処理系(OFG)	V51-84D(手動弁)	貯蔵タンクドレンボット出口弁	主要弁検査
69	排ガス処理系(OFG)	V51-85A(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3A)	主要弁検査
70	排ガス処理系(OFG)	V51-85B(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3B)	主要弁検査
71	排ガス処理系(OFG)	V51-85C(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3C)	主要弁検査
72	排ガス処理系(OFG)	V51-85D(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3D)	主要弁検査
73	排ガス処理系(OFG)	V51-86A(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3A)	主要弁検査
74	排ガス処理系(OFG)	V51-86B(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3B)	主要弁検査
75	排ガス処理系(OFG)	V51-86C(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3C)	主要弁検査
76	排ガス処理系(OFG)	V51-86D(手動弁)	液面発信器元弁(LX51-3D)	主要弁検査
77	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-2A(手動弁)	A-除湿冷却器入口弁	主要弁検査
78	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-2B(手動弁)	B-除湿冷却器入口弁	主要弁検査
79	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-5A(手動弁)	A-メッシュフィルタ出口弁	主要弁検査
80	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-5B(手動弁)	B-メッシュフィルタ出口弁	主要弁検査
81	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-6(手動弁)	吸着塔入口弁	主要弁検査
82	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-7A(手動弁)	A-プロフィルタ入口弁	主要弁検査
83	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-7B(手動弁)	B-プロフィルタ入口弁	主要弁検査
84	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-8A(手動弁)	A-プロフィルタ出口弁	主要弁検査
85	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-8B(手動弁)	B-プロフィルタ出口弁	主要弁検査
86	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-9A(手動弁)	A-排ガスブロワ入口弁	主要弁検査
87	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-9B(手動弁)	B-排ガスブロワ入口弁	主要弁検査
88	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-12(手動弁)	吸着塔出口弁	主要弁検査
89	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-19A(手動弁)	dPIS57-3元弁(A)	主要弁検査
90	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-19B(手動弁)	dPIS57-3元弁(B)	主要弁検査

定期事業者検査と「点検計画表」との整合性確認結果(島根1号機)

	系統	機器名称	点検箇所	定期事業者検査対象
91	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-20A(手動弁)	dPIS57-3元弁(A)	主要弁検査
92	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-20B(手動弁)	dPIS57-3元弁(B)	主要弁検査
93	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-21A(手動弁)	dPIS57-4元弁	主要弁検査
94	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-21B(手動弁)	dPIS57-4元弁	主要弁検査
95	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-22(手動弁)	吸着塔入口ドレン弁	主要弁検査
96	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-23(手動弁)	吸着塔出口サブリング元弁	主要弁検査
97	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-24A(手動弁)	dPIS57-5元弁	主要弁検査
98	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-24B(手動弁)	dPIS57-5元弁	主要弁検査
99	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-25(手動弁)	PI57-2AB元弁	主要弁検査
100	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-26(手動弁)	PX57-2元弁	主要弁検査
101	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-27(手動弁)	PI57-3元弁	主要弁検査
102	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-29A(手動弁)	dPIS57-2A元弁	主要弁検査
103	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-29B(手動弁)	dPIS57-2B元弁	主要弁検査
104	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-30A(手動弁)	LS57-1A元弁	主要弁検査
105	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-30B(手動弁)	LS57-1B元弁	主要弁検査
106	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-31A(手動弁)	LS57-1A元弁	主要弁検査
107	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-31B(手動弁)	LS57-1B元弁	主要弁検査
108	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-32A(手動弁)	A-除湿冷却器ドレン弁	主要弁検査
109	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-32B(手動弁)	B-除湿冷却器ドレン弁	主要弁検査
110	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-33A(手動弁)	A-気水分離器ドレン弁	主要弁検査
111	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-33B(手動弁)	B-気水分離器ドレン弁	主要弁検査
112	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-38A(手動弁)	A-サンドフィルドレン弁	主要弁検査
113	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-38B(手動弁)	B-サンドフィルドレン弁	主要弁検査
114	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-40A(手動弁)	A-メッシュフィルドレン弁	主要弁検査
115	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-40B(手動弁)	B-メッシュフィルドレン弁	主要弁検査
116	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-44(手動弁)	吸着塔入口サブリング元弁	主要弁検査
117	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-46(手動弁)	サブリング戻り弁	主要弁検査
118	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-47(手動弁)	A-吸着塔出口サブリング元弁	主要弁検査
119	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-96A(手動弁)	MT57-1A元弁	主要弁検査
120	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-96B(手動弁)	MT57-1B元弁	主要弁検査
121	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-98C(手動弁)	C-排ガスローリ再循環弁	主要弁検査
122	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-301(手動弁)	テスト用(チヤコ-ルフィルタ入口)	主要弁検査
123	希ガスホールドアップ系(RGH)	V57-302(手動弁)	テスト用(チヤコ-ルフィルタ出口)	主要弁検査
124	所内蒸気系(HS)	V75-2B(手動弁)	B所内蒸気ヘッド入口減圧弁後弁	主要弁検査
125	所内蒸気系(HS)	V75-155(手動弁)	蒸気ヘッドトラップ入口弁	主要弁検査
126	所内蒸気系(HS)	V75-157(手動弁)	蒸気ヘッドトラップバイパス弁	主要弁検査
127	所内蒸気系(HS)	V75-501(手動弁)	所内蒸気ヘッドドレン弁	主要弁検査
128	排ガス処理系(OFG)	AV51-8A(空気作動弁)	A-排ガス貯蔵タンク入口弁	主要弁検査
129	排ガス処理系(OFG)	AV51-8B(空気作動弁)	B-排ガス貯蔵タンク入口弁	主要弁検査
130	排ガス処理系(OFG)	AV51-8D(空気作動弁)	D-排ガス貯蔵タンク入口弁	主要弁検査
131	排ガス処理系(OFG)	AV51-14A(空気作動弁)	A-排ガス貯蔵タンク出口弁	主要弁検査
132	排ガス処理系(OFG)	AV51-14B(空気作動弁)	B-排ガス貯蔵タンク出口弁	主要弁検査

定期事業者検査と「点検計画表」との整合性確認結果(島根2号機)

	系統	機器名称	点検箇所	定期事業者検査対象
1	原子炉浄化系(CUW)	V213-1003A(手動弁)	A-CUWフィルタ出口ストレーナブロー弁	主要弁検査
2	原子炉浄化系(CUW)	AV213-1060B(空気作動弁)	B-デミネ樹脂出口弁	主要弁検査
3	原子炉浄化系(CUW)	V213-1061A(手動弁)	A-脱塩器出口弁	主要弁検査
4	原子炉浄化系(CUW)	V213-1061B(手動弁)	B-脱塩器出口弁	主要弁検査
5	原子炉補機冷却系(RCW)	V214-3001A(手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交入口)	主要弁検査
6	原子炉補機冷却系(RCW)	V214-3001B(手動弁)	RCW ベント弁(B-FPC熱交入口)	主要弁検査
7	原子炉補機冷却系(RCW)	V214-3002A(手動弁)	RCW ベント弁(A-FPC熱交出口)	主要弁検査
8	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738A(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
9	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738B(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
10	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738C(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
11	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738D(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
12	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738E(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
13	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738F(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
14	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738G(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
15	窒素ガス制御系(NGC)	AV217-738H(空気作動弁)	原子炉格納容器 真空破壊弁	原子炉格納容器真空破壊弁検査
16	残留熱除去系(RHR)	RV222-1B(逃し弁)	B-RHR 注水配管逃し弁	安全弁検査
17	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-151B(手動弁)	B-ディーゼル燃料ディタンク出口弁	主要弁検査
18	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-151H(手動弁)	HPCS-ディーゼル燃料ディタンク出口弁	主要弁検査
19	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-541A(手動弁)	A-ディーゼル燃料ディタンクドレン弁	主要弁検査
20	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-541B(手動弁)	B-ディーゼル燃料ディタンクドレン弁	主要弁検査
21	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-546B(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	主要弁検査
22	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-546H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ入口)	主要弁検査
23	非常用ディーゼル発電機系(DEG)	V280-547H(手動弁)	ドレン弁(燃料供給ポンプ出口)	主要弁検査
24	制御棒駆動系(CRD)	V212-46(手動弁)	CRD CST戻り弁バイパス弁	主要弁検査

中間報告からの削減機器(1号機のみ)

	系統	機器名称	点検箇所	定期事業者検査対象	削除理由
42	復水系(CW)	V03-97A(手動弁)	第2A区-タ出口復水管へント弁	主要弁検査	現時点で点検時期を超過している機器ではない。
43	抽気系(ES)	V41-9A(手動弁)	第1A区-タ胴体圧力発信器元弁(PX41-9A)	主要弁検査	
44	抽気系(ES)	V41-9B(手動弁)	第1B区-タ胴体圧力発信器元弁(PX41-9B)	主要弁検査	
45	タービンヒータードレン系(THD)	V44-4A(手動弁)	第2A区-タ胴体ドレン弁	主要弁検査	
46	タービンヒータードレン系(THD)	V44-4B(手動弁)	第2B区-タ胴体ドレン弁	主要弁検査	
47	タービンヒータードレン系(THD)	V44-9A(手動弁)	第2A区-タ胴体ドレン弁	主要弁検査	
48	タービンヒータードレン系(THD)	V44-9B(手動弁)	第2B区-タ胴体ドレン弁	主要弁検査	
54	復水系(CW)	V03-96A(手動弁)	第2A区-タ水室へント弁	主要弁検査	中間報告書添付 - 12 No.41と重複記載
57	タービンヒータードレン系(THD)	V44-46A(手動弁)	第2A区-タ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査	中間報告書添付 - 12 No.49と重複記載
58	タービンヒータードレン系(THD)	V44-46B(手動弁)	第2B区-タ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査	中間報告書添付 - 12 No.50と重複記載
59	タービンヒータードレン系(THD)	V44-48B(手動弁)	第1B区-タ常用水位調節弁前ドレン弁	主要弁検査	中間報告書添付 - 12 No.51と重複記載



### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (a) 保守管理の実施方針及び保守管理目標
点検内容	保守管理の実施方針及び保守管理目標に基づいて業務が実施されていることを確認する。 (平成20年度～21年度)
点検の流れ	<ul style="list-style-type: none"><li>・保守管理の実施方針及び保守管理目標が設定されていることを確認する。</li><li>・設定された保守管理目標を達成するための具体的方策が、保守管理課、電気保守課及び機械保守課の業務実施計画に反映されていることを確認する。</li></ul>
点検結果 まとめ	(点検結果) <ul style="list-style-type: none"><li>・保守管理の実施方針及び保守管理目標が設定され、保守管理目標を達成するための方策が保守部門の業務実施計画に反映されていることを確認した。</li></ul>

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (b)保全プログラムの策定
点検内容	保全対象範囲 (Sheet1) , 系統機能及び系統の保全重要度決定表 (Sheet2) ( 系統機能色塗り図を含む ) 及び機器影響度決定表 (Sheet3) が , 「保守管理要領」に基づいて適切に策定されていることを確認する。
点検の流れ	保全対象範囲 (Sheet1) , 系統機能及び系統の保全重要度決定表 (Sheet2) ( 系統機能色塗り図を含む ) 及び機器影響度決定表 (Sheet3) の策定過程の資料(委託報告書等)を確認し , 適切に策定されていることを確認する。
点検結果 まとめ	( 点検結果 ) ・ 保全対象範囲(Sheet1) , 系統機能及び系統の保全重要度決定表 (Sheet2) ( 系統機能色塗り図を含む ) 及び機器影響度決定表 (Sheet3) が「保守管理要領」に基づいて適切に策定されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (c)保全計画の策定
点検内容	1. 「点検計画」が適切に策定・変更されていることを確認する。 2. 「点検計画表」が「点検計画」に基づいて適切に作成されていることを確認する。(「点検計画表」の機器ごとに確認する。) (平成16年度以降)
点検の流れ	1. 「点検計画」が、定められた手続きに基づいて策定・変更されていることを確認する。  2. 機器ごとの点検・試験項目, 実施頻度について, 「点検計画」と「点検計画表」の整合性を確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) 1. 「点検計画」の策定・変更にあたって, 以下の3事例を確認した。  ・所長の承認は受けているが保安運営委員会での審議が行われていない事例; 2件 ・課長承認のみで, 所長承認, 保安運営委員会での審議が行われていない事例; 1件  2. 機器ごとの点検・試験項目, 実施頻度について, 「点検計画」と「点検計画表」との間に, 不整合と認められるものはなかった。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (d)保全活動管理指標の監視および設定
点検内容	1. 保全活動管理指標が適切に設定されていることを確認する。 2. 保全活動管理指標が適切に監視されていることを確認する。
点検の流れ	1. 系統レベルの保全活動管理指標が、保全活動管理指標設定に係る文書（設定根拠図書）に基づいて設定されていることを確認する。  2. 保全活動管理指標監視結果が、監視結果の記録として四半期毎に取りまとめられていることを確認する。
点検結果 まとめ	（点検結果） ・ 保全活動管理指標が適切に設定され、また、監視されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (e)保全計画書の作成 (1号機第28 保全サイクル保全計画書, 2号機第16 保全サイクル保全計画書)
点検内容	1号機第28 保全サイクル及び2号機第16 保全サイクルについて, 保全計画書が「点検計画」及び「点検計画表」に基づいて, 適切に作成されていることを確認する。
点検の流れ	保全計画書の「点検計画」に記載されている「保全重要度」, 「点検及び試験・検査の項目」, 「保全方式又は頻度」, 「今回の実施計画」, 「前回実施時期」について, 「点検計画」・「点検計画表」との整合性を確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) ・1号機第28 保全サイクル保全計画書の参考資料で9件, 2号機第16 保全サイクル保全計画書の参考資料で4件, 当該定検の実施計画に関する誤記を確認した。(次紙参照)

島根原子力発電所 1号機第 28 保全サイクル保全計画（参考資料）記載不備

機器又は 系統名	実施数 (機器名)	点検及 び試 験・検査 の項目	保全方式 又は頻度	今回の 実施計 画	前回実 施時期	備考
クラス3機器 (タービン 建物)	クラス3機 器一式	漏えい 試験	ISI10年 計画によ る		26回	「今回の実施計画」が 「 」となっているが、 タービン建物のクラス 3機器供用期間中検査 対象機器のうち漏えい 試験対象の機器はない ため、保全計画書の誤記 である。
クラス3機器 (廃棄物処 理建物)	クラス3機 器一式	非破壊 試験	ISI10年 計画によ る		27回	「今回の実施計画」が 「 」となっているが、 廃棄物処理建物にはク ラス3機器供用期間中 検査対象機器はなく、保 全計画書の誤記である。
	クラス3機 器一式	漏えい 試験	ISI10年 計画によ る		27回	
所内電気設 備系	M / C 盤 真空しゃ断 器一式	外観点 検	10C		-	「今回の実施計画」が 「 」となっているが、 計画なしで保全計画書 の誤記である。
タービン補 機海水系	B-タービン 補機海水ポ ンプ用電動 機 MO47-1B	外観点 検	1C	-	27回	「今回の実施計画」が 「 - 」となっているが、 計画ありで保全計画書 の誤記である。(点検は 実施済)
		特性試 験(絶縁 抵抗測 定)	1C	-	27回	
	C-タービン 補機海水ポ ンプ用電動 機 MO47-1C	外観点 検	1C	-	27回	
		特性試 験(絶縁 抵抗測 定)	1C	-	27回	
サイトバン カ設備プー ル水浄化系	貯蔵プー ル TK58-1	外観点 検	2Y	-	2008年 度	

島根原子力発電所 2号機第 16 保全サイクル保全計画（参考資料）記載不備

機器又は 系統名	実施数 (機器名)	点検及 び試 験・検査 の項目	保全方 式又は 頻度	今回の 実施計 画	前回実 施時期	備考
原子炉再循 環系	原子炉再循 環系配管支 持構造物一 式	分 解 点 検	130M	-	15 回	「今回の実施計画」が 「-」となっているが、 計画ありで保全計画書の 誤記である。(第 16 回定 検で点検を実施)
給水系	給水系配管 支持構造物 一式	分 解 点 検	130M	-	15 回	
廃棄物処理 建物空調換 気系	A-放射化学 分析室フー ド排風機 M263-3A	機能・性 能試験	6C		13C 回 (先行 定検)	「今回の実施計画」が 「 」となっているが、 計画なしで保全計画書の 誤記である。
非常用ディ ーゼル発電 機系	B-ディーゼ ル発電設備 INT280-B	機能・性 能試験	4C	-	13 回	「今回の実施計画」が 「-」となっているが、 計画ありで保全計画書の 誤記である。(第 16 回定 検で点検を実施)

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (f)保全の実施
点検内容	1. 「点検計画表」の点検項目等が工事仕様書に適切に反映されていることを確認する。 2. 点検用部品の調達が適切に行われていることを確認する。 (1号機第28回定期検査, 2号機第15回定期検査)
点検の流れ	1. 点検項目・点検内容等について, 「点検計画表」と工事仕様書との整合性を確認する。  2. 点検用部品が, 定められた手続きに基づいて調達されていることを, 工事仕様書, 購入仕様書, 発注伝票及び受け入れ検査記録で確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) 1. 「点検計画表」に定めた点検項目等が, 工事仕様書に反映されていない事例を確認した。このため, 「点検計画表」で計画された点検の一部が実施されなかった。本プロセスが原因で点検時期を超過したものは, 511 機器に含まれており, これらの機器については点検により健全性を確認することとしている。  2. 受入検査に係る記録である「物品検収報告書」および「納品書兼請求書」に関する不備を21件確認した。(次紙参照)



1号機第28回定期検査 受入検査記録に関する不備(12件)

工事件名	事例
タンク・サブ等点検工事	「納品書兼請求書」への受入検査用押印が漏れていた。
制御棒駆動水圧ユニット点検工事	
発電機関係点検工事	
海水電解装置点検(2件)	
主蒸気逃し弁・安全弁点検工事	「物品検収報告書」を確認できなかった。
冷凍機点検工事(2件)	
空気作動弁点検工事	
空気作動弁点検工事(2件)	「納品書兼請求書」を確認できなかった。
空調換気設備一般弁点検工事	

2号機第15回定期検査点検部品発注 受入検査記録に関する不備(9件)

工事件名	事例
制御棒駆動水圧ユニット点検工事	「納品書兼請求書」への受入検査用押印が漏れていた。
主要弁点検	
主要弁点検	
発電機関係点検工事	
発電機関係点検工事	
タンク・サブ等点検工事	「物品検収報告書」を確認できなかった。
原子炉設備熱交換器点検工事	
原子炉開放および閉鎖工事	
非常用ディーゼル機関点検	

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (h)点検・補修等の不適合管理，是正処置及び予防処置
点検内容	1号機及び2号機の保守管理に係る不適合管理，是正処置及び予防処置が，定められた手順に基づいて適切に行われていることを確認する。 (平成20年度以降)
点検の流れ	1.不適合管理手順に従った不適合管理の適切性確認 2.不適合処置の適切性確認 3.是正処置の適切性確認 (1)是正処置の要否判断の適切性確認 (2)是正処置結果の適切性確認
点検結果 まとめ	(点検結果) ・不適合管理，是正処置及び予防処置について，適切に実施されていることを確認した。  (改善要望項目) ・不適合処置として「特別採用」の内容となっているものが，不適合報告書の特別採用の欄に記載されておらず，不適合報告書上，「特別採用」の手続きになっていない事例があったが，その後の不適合管理手順書の改定により，特別採用の運用が改善されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (i)保全の有効性評価
点検内容	保全の有効性評価が、保守管理要領に基づいて検討、実施されていることを確認する。 (1号機第27回定期検査, 2号機第15回定期検査)
点検の流れ	定期検査毎に保全の有効性評価が検討、実施されていることを記録により確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) ・保全の有効性評価の実施状況について確認した結果、適切に実施されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (j)保守管理の有効性評価
点検内容	保守管理の有効性評価が保守管理要領に基づいて検討，実施されていることを確認する。 (平成21年度)
点検の流れ	年度の保守管理の有効性評価が検討，実施されていることを記録により確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) ・保守管理の有効性評価の実施状況について確認した結果，適切に実施されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	a . 1号機及び2号機 (k)保守管理記録
点検内容	保守管理に定める品質文書・記録一覧表の記録が適切に保管管理されていることを確認する。 (1号機第28回定期検査, 2号機第15回定期検査)
点検の流れ	保守管理にかかる品質文書・記録が, 定められた手続きに従って保管管理されていることを確認する。
点検結果 まとめ	(点検結果) ・保守管理記録の保管状況を確認した結果, 適切に保管されていることを確認した。

### 保守管理の実施状況に係る点検結果

点検項目	b . 3 号機 保全計画運用要領に定めるプロセスに従った保守管理の点検
点検内容	1. 「保全計画運用要領」に基づく保管管理の実施状況を確認する。 2. 「保全計画運用要領」に基づく巡視・点検の実施状況を確認する。
点検の流れ	1. 3 号機の事業用電気工作物について，保管管理が必要な設備の調達にあたり，調達先に対し適切な保管管理要求が実施されているかを記録等により確認する。  2. 水による耐圧漏えい検査を終了した機器等について，巡視・点検が計画どおり実施されていることを記録等により確認する。
点検結果 まとめ	( 点検結果 ) 1. 保管管理が必要な設備の調達内容を確認した結果，すべての調達において調達先に対し適切な保管管理要求が実施されていることを確認した。 2. 巡視・点検記録を確認した結果，巡視・点検が計画どおり実施されていることを確認した。

点検保守管理関係要領類の点検（人的エラー要因抽出）結果

【1, 2号機】

名 称	点検結果	
	人的エラーによる保守管理への悪影響が容易に想像できる事項	人的エラーの防止のため業務プロセスの改善について検討が必要な事項
保守管理要領	なし	なし
作業票取扱手順書	なし	なし
工事施工管理手順書	なし	「施工用図書の確認」において、作業要領書から必要な点検項目が漏れると、必要な工事が実施されない可能性がある。 作業要領書から必要な点検項目が漏れないような仕組みについて検討が必要と考えられる。
工事における安全管理手順書	なし	なし
点検計画作成・運用手順書	なし 〔点検済の機器の状況を把握するルールがなく、未点検の機器が点検済として扱われる事があった。〕 〔運用変更済〕	「保全内容決定表(Sheet4)の新規作成」において、設備主管課が作成方法を正確に把握していなかったり、誤った技術情報をもとに判断すると、間違った決定表となる可能性がある。 保守管理課(新検査対応)と設備主管課がよく連携し、保全内容決定表の信頼性を確保する仕組みについて検討が必要と考えられる。
プラント停止時工程管理手順書	なし	なし
本設測定機器管理手順書	なし	なし
試験・検査用測定機器管理手順書	なし	なし
土木建築関係設備点検手順書	なし	なし
設備診断手順書	なし	なし
保守部門巡視点検手順書	なし	なし
保全活動管理指標設定および監視手順書	なし	なし

名 称	点検結果	
	人的エラーによる保守管理への悪影響が容易に想像できる事項	人的エラーの防止のため業務プロセスの改善について検討が必要な事項
保全の有効性評価手順書	なし	「インプット情報入手」「保全の有効性評価記録の作成」において、次回定検に先立って初めて実施されることから必要な情報がインプットされなかったり、不十分な評価記録となる可能性がある。 設備主管課が確実に対応できるよう要求事項を明確にするとともに、設備主管課は作成体制を整備し役割分担を明確にして対応することが必要と考えられる。
工事業務管理手順書	なし	「調達要求事項の明確化」において工事仕様書から点検項目が漏れ、必要な工事が実施されない可能性がある。また、「調達実績の確認」において工事報告書に「点検計画表」と対応した点検実績が記載されず適切に工事がなされたか確認できない可能性がある。 工事仕様書から必要な点検項目が漏れないとともに、工事報告書で必要な点検実績が確実に確認できるような仕組みについて検討が必要と考えられる。
配管肉厚管理手引書	なし	なし
点検手入れ前状態データ採取・評価手引書	なし	なし

【3号機】

名 称	点検結果	
	人的エラーによる保守管理への悪影響が容易に想像できる事項	人的エラーの防止のため業務プロセスの改善について検討が必要な事項
保全計画運用要領	なし	なし
巡視・点検手順書	なし	なし
機能確認手順書	なし	なし
工事業務管理手順書	なし	なし



### 511機器の点検評価状況 (5月末現在)

号機	クラス	機器数	点検完了機器数
1号機	クラス1	28	11
	クラス2	7	1
	クラス3 ノンクラス	314	41
2号機	クラス1	24	6
	クラス2	7	5
	クラス3 ノンクラス	131	49
合 計		511	113

:漏えい確認未完機器を含む

上記以外の機器については、代替点検により異常のないことを確認

511機器の点検評価状況  
(島根1号機) クラス1

No	分類	系統	重要度分類	照合結果				点検計画書に記載されている点検項目(訂正があった記載)				点検計画書に記載された点検				備考 (特記事項)
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画書に記載されている点検項目(訂正があった記載)	点検内容	点検頻度	点検日	点検内容	点検頻度	点検開始日	点検終了日	
1	弁	原子炉補給水水系(RSW)	クラス1	V15-20A(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第23回定検(取替)	分解点検	26M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
2	弁	原子炉補給水水系(RSW)	クラス1	V15-20B(手動弁)	ディーゼル燃料弁冷却器二次水出口弁(冷却油冷却器冷却水(海水)出口弁)	分解点検	26M	27回定検	第23回定検	分解点検	26M	H22.4.9 H22.4.22	分解点検	良		
3	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-105A(手動弁)	RCSポンプ清浄水弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (灌入1確認)	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
4	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-105B(手動弁)	RCSポンプ清浄水弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (灌入1確認)	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
5	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-112A(手動弁)	メカシーバルプラグ水弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
6	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-112B(手動弁)	メカシーバルプラグ水弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
7	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-113A(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (灌入1確認)	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
8	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-113B(手動弁)	潤滑水調整弁(RCSポンプ廻りの熱交換器水ラインの弁)	分解点検	130M	28回定検	28回定検 (灌入1確認)	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
9	弁	高圧注水系(HPCI)	クラス1	V04-108(手動弁)	潤滑油弁	分解点検	130M	22回定検	-	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
10	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	A126-1A(空気作動弁)	SGT連絡弁(R/B連絡弁)	分解点検	6Y	12年度 (28回定検)	-	分解点検	6Y	H22.4.13 H22.4.19	分解点検	良		
11	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	A126-2A(空気作動弁)	SGT処理装置(777)入口弁	分解点検	6Y	12年度 (28回定検)	-	分解点検	6Y	H22.4.13 H22.4.19	分解点検	良		
12	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	A126-3A(空気作動弁)	SGT処理装置(777)出口弁	分解点検	6Y	12年度 (28回定検)	-	分解点検	6Y	H22.4.13 H22.4.19	分解点検	良		
13	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	V26-20A(手動弁)	SGT777出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度 (28回定検)	-	分解点検	6Y	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
14	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	V26-20B(手動弁)	SGT777出口ガス流量計元弁	分解点検	6Y	16年度 (28回定検)	-	分解点検	6Y	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
15	弁	制御建物空調換気系(HVC)	クラス1	V64-3(手動弁)	C-冷凍機冷却水入口弁	分解点検	10Y	15年度	-	分解点検	10Y	H22.4.10 H22.4.22	分解点検	良	弁取替実施	
16	弁	制御建物空調換気系(HVC)	クラス1	V64-4(手動弁)	C-冷凍機冷却水出口弁	分解点検	10Y	15年度	-	分解点検	10Y	H22.4.10 H22.4.22	分解点検	良	弁取替実施	
17	弁	制御建物空調換気系(HVC)	クラス1	V64-20(手動弁)	B-冷凍機補給水弁	分解点検	10Y	15年度	-	分解点検	10Y	H22.4.10 H22.4.22	分解点検	良	弁取替実施	
18	弁	制御建物空調換気系(HVC)	クラス1	V64-21(手動弁)	C-冷凍機補給水弁	分解点検	10Y	15年度	-	分解点検	10Y	H22.4.10 H22.4.22	分解点検	良	弁取替実施	
19	弁	非常用ディーゼル発電機系(DES)	クラス1	V80-8A(手動弁)	一次水空気を排気(DES-一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	分解点検	130M	22回定検	13回定検	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
20	弁	非常用ディーゼル発電機系(DES)	クラス1	V80-8B(手動弁)	一次水空気を排気(DES-一次水の一次水膨張タンクへの戻り弁)	分解点検	130M	22回定検	15回定検(取替)	分解点検	130M	H22.4.7 H22.4.22	分解点検	良		
21	弁	非常用ディーゼル発電機系(DES)	クラス1	V80-308B(手動弁)	自動起動系手動始動系連絡弁(自動始動用空管から5の自動始動弁)	分解点検	130M	22回定検	17回定検(取替)	分解点検	130M	H22.4.7	分解点検	良		
22	弁	高圧注水系(HPCI)	クラス1	MV24-2M(電動弁)	HPCI蒸気弁開閉弁用電動機	駆動用電動機の分解点検	130M	28回定検	16回定検	駆動用電動機の分解点検(取替)	130M	H22.4.16	駆動用電動機の分解点検(取替)	良		
23	電源盤	中性計装系(NMS)	クラス1	中間制御計測装置	盤(RM)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	ヒューズ取替 簡易校正	52M	H22.4.26 H22.4.27	ヒューズ取替 簡易校正	良		
24	電源盤	中性計装系(NMS)	クラス1	出力制御計測装置	盤(APRM, RBM, FLOW)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	ヒューズ取替 簡易校正	52M	H22.4.26 H22.4.27	ヒューズ取替 簡易校正	良		
25	計器類	プロセス放射線モニタ系(PRM)	クラス1	電離室型モニタ(主蒸気モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	27回定検	23回定検	ヒューズ取替	4C	H22.4.23	ヒューズ取替	良		
26	計器類	プロセス放射線モニタ系(PRM)	クラス1	電離室型モニタ(原子炉建物流出モニタ)	対数線量率計	ヒューズ取替	4C	28回定検	24回定検	ヒューズ取替	4C	H22.4.23	ヒューズ取替	良		
27	電源盤	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用ロードセンタ母線	母線	絶縁抵抗測定	2C	28回定検	26回定検	絶縁抵抗測定	2C	H22.4.11	絶縁抵抗測定	良		
28	電源盤	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用ロードセンタ母線	母線	絶縁抵抗測定	2C	27回定検	26回定検	絶縁抵抗測定	2C	H22.4.11	絶縁抵抗測定	良		

【島根1号機】クラス2

No	分類	系統	重要度分類	照合結果				点検計画書に記載されている点検項目(訂正があった記載)				点検計画書に記載された点検				備考 (特記事項)
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画書に記載されている点検項目(訂正があった記載)	点検内容	点検頻度	点検日	点検内容	点検頻度	点検開始日	点検終了日	
1	ポンプ	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	原子炉浄化補助ポンプ(P13-2)	メカニカルシール冷却器	清掃、目視検査 パッキン取替 空圧試験	52M	25回定検	22回定検 (冷却機交換)	外観点検	52M	H22.4.14	清掃、目視検査 パッキン取替 空圧試験	良		
2	電源盤	中性計装系(NMS)	クラス2	中性子源領域計測装置	盤(SRM)	ヒューズ取替	52M	27回定検	23回定検	ヒューズ取替 簡易校正	52M	H22.4.26 H22.4.27	ヒューズ取替 簡易校正	良		
3	その他	燃料プール冷却系(FPC)	クラス2	使用済燃料貯蔵プール(TK16-3)プールゲート	ゲート	パッキン取替	3C	28回定検	25回定検(取替)	外観点検	3C	H22.4.23	パッキン取替	良		
4	計器類	燃料貯蔵系(RFH)	クラス2	電源ユニット	電源ユニット	ヒューズ取替	30M	25回定検	22回定検	特性確認	30M	H22.4.28	ヒューズ取替	良		
5	計器類	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	クラス2	電源ユニット	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	25回定検	19回定検	特性確認	8Y	H22.4.28	電解コンデンサ取替	良		
6	計器類	原子炉圧力制御系(RVS)	クラス2	電源ユニット	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検	18回定検	特性確認	8Y	H22.4.28	電解コンデンサ取替	良		
7	計器類	可燃性ガス濃度制御系(CAD)	クラス2	電源ユニット	電源ユニット	電解コンデンサ取替	8Y	24回定検	19回定検	簡易校正	8Y	H22.4.12	電解コンデンサ取替	良		

511機器の点検評価状況  
 (島根2号機) クラス1

添付 - 2.2  
 (3/3)

No	分類	系統	重要度分類	照合結果			点検計画			代検点検			備考 (特記事項)		
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画に記載されている点検頻度(取りあてた点検)	至近の点検/取替実施	点検内容	確認日	良否		点検開始日	点検終了日
1	ポンプ	原子炉補給冷却系(RCW)	クラス1	A-RCVポンプ	ダイヤフラムカムブリッジ	リーマボルト、ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	外観点検	H24.25	良	リーマボルト、ナット取替		
-	ポンプ	原子炉補給冷却系(RCW)	クラス1	B-RCVポンプ	ダイヤフラムカムブリッジ	リーマボルト、ナット取替	52M	14回定検	15回定検(取替)	リーマボルト、ナット取替		良	リーマボルト、ナット取替		至近の点検/取替実施を10回遅延していたが、15回定検の取替実施が本年計画内であることを確認できた
2	ポンプ	原子炉補給冷却系(RCW)	クラス1	C-RCVポンプ	ダイヤフラムカムブリッジ	リーマボルト、ナット取替	52M	13回定検	9回定検(取替)	外観点検	H24.25	良	リーマボルト、ナット取替		
3	ポンプ	原子炉補給冷却系(RCW)	クラス1	D-RCVポンプ	ダイヤフラムカムブリッジ	リーマボルト、ナット取替	52M	14回定検	10回定検(取替)	外観点検	H24.15	良	リーマボルト、ナット取替		
4	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738A(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.20	良	分解点検	H22.20	
5	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738B(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
6	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738C(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
7	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738D(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
8	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738E(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
9	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738F(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
10	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738G(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
11	弁	窒素ガス制御系(NGC)	クラス1	AV217-738H(空気作動弁)	原子炉排熱容器 真空破壊弁	分解点検	65M	11回定検	8回定検	外観点検 閉閉確認	H24.16	良	分解点検	H22.20	
12	弁	原子炉補給冷却系(NIC)	クラス1	CV221-82(調整弁)	油圧調整弁	分解点検	78M	7回定検	-	外観点検	H24.16	良	分解点検		
13	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス1	V230-151B(手動弁)	B-ディーゼル燃料タンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	外観点検 閉閉確認	H22.4.6 H22.4.28 H22.4.29	良	分解点検	H22.4.26	
14	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス1	V230-151H(手動弁)	HFCS-ディーゼル燃料タンク出口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検(一部取替)	外観点検 閉閉確認	H22.4.6 H22.4.28 H22.4.29	良	分解点検	H22.4.26	
15	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用ローテータ母線(2C-L/C)	母線支持がいし	母線支持がいし	4C	14回定検	11回定検	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	H24.11	良	外観・目視点検 絶縁抵抗測定		
16	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンター母線(2A-105-C/C)	母線支持がいし	母線支持がいし	4C	14回定検	11回定検	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	H24.11	良	外観・目視点検 絶縁抵抗測定		
17	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンター母線(2A-105-C/C)	母線支持がいし	母線支持がいし	4C	14回定検	11回定検	外観・目視点検 絶縁抵抗測定	H24.11	良	外観・目視点検 絶縁抵抗測定		
18	その他	原子炉補給冷却系(NIC)	クラス1	入口管フランジボルト(T221-2)	フランジボルト	目視検査	78M	14回定検	-	外観点検 目視確認	H24.13	良	外観点検 目視確認		
19	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気減圧安全弁(RV202-K)	シリンダ	シリンダ	52M	15回定検	11回定検	目視検査	H24.16	良	目視検査		
20	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気減圧安全弁(RV202-L)	シリンダ	シリンダ	52M	15回定検	11回定検	目視検査	-	-	目視検査		
21	その他	主蒸気系(MS)	クラス1	主蒸気減圧安全弁(RV202-M)	シリンダ	シリンダ	52M	15回定検	11回定検	目視検査	-	-	目視検査		
22	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンター母線(2C1-R/B-C/C)	母線	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	特性確認	H24.11	良	絶縁抵抗測定		
23	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンター母線(2C2-R/B-C/C)	母線	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	特性確認	H24.11	良	絶縁抵抗測定		
24	電源線	所内電気設備系(SES)	クラス1	非常用コントロールセンター母線(2C3-R/B-C/C)	母線	絶縁抵抗測定	4C	14回定検	11回定検	特性確認	H24.11	良	絶縁抵抗測定		

【島根2号機】クラス2

No	分類	系統	重要度分類	照合結果			点検計画			代検点検			備考 (特記事項)		
				機器名称	点検箇所	点検内容	点検頻度	点検計画に記載されている点検頻度(取りあてた点検)	至近の点検/取替実施	点検内容	確認日	良否		点検開始日	点検終了日
1	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-105(A)(手動弁)	A-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	外観点検	H24.16	良	分解点検	H22.4.22	
2	弁	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	V213-105(B)(手動弁)	B-脱塩器出口弁	分解点検	78M	11回定検	-	外観点検	H24.16	良	分解点検	H22.4.22	
3	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス2	V230-99A(手動弁)	A-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	4回定検	3回定検	外観点検	H24.16	良	分解点検	H22.4.27	
4	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス2	V230-99H(手動弁)	HFCS-ディーゼル燃料貯蔵タンク出口逆止弁	分解点検	130M	3回定検	-	外観点検	H24.16	良	分解点検	H22.5.10	
5	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス2	V230-150(B)(手動弁)	B-ディーゼル燃料タンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検	外観点検 閉閉確認	H22.4.6 H22.4.22	良	分解点検	H22.4.27	
6	弁	非常用ディーゼル発電機系(DSG)	クラス2	V230-150(H)(手動弁)	HFCS-ディーゼル燃料タンク入口弁	分解点検	130M	3回定検	3回定検	外観点検 閉閉確認	H22.4.6 H22.4.22	良	分解点検	H22.4.27	
7	その他	可燃性ガス濃度検出系(格納容器頭蓋モニタ)	クラス2	警戒時タンクレベル検出装置(P225-100A/B) 格納容器頭蓋モニタ(P225-100A/B)	ポンプ・モータ部品取替	動作確認	5Y	-	10回定検	動作確認	H22.4.10	良	ベアリング取替	H22.5.20	